

添付資料－3 大飯発電所 第3号機 第17保全サイクル 保全計画

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等について、「大飯発電所 第3号機 第17保全サイクル 保全計画」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

大 飯 発 電 所

第 3 号 機

第 1 7 保全サイクル

保 全 計 画

## 目 次

1. 保守管理の実施に関する計画の始期（施設定期検査の開始する日をいう。）及び期間	1
2. 発電用原子炉施設の保安のための点検、検査（定期事業者検査を含む。）及び補修等の方法、実施頻度及び時期	1
3. 発電用原子炉施設の保安のための点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置	2
4. 特別な保全計画	2
5. 保全に関する実施体制	2

## 別紙：点検計画（第17保全サイクル）

#### 別図：施設定期検査時の安全管理の計画

#### 参考資料－1：計画期間中における点検の実施状況等

## 参考資料－2：保全に関する実施体制

## 1. 保守管理の実施に関する計画の始期（施設定期検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第17回施設定期検査開始日から第18回施設定期検査開始日の前日までの期間（第17回施設定期検査終了日以降13ヶ月までの間（※））とし、以後、この期間を第17保全サイクルという。

ただし、この期間内に第18回施設定期検査を開始した場合には、その前日までの期間とする。

※：第17回施設定期検査終了日以降13ヶ月までの間を『実運転期間』という。

## 2. 発電用原子炉施設の保安のための点検、検査（定期事業者検査を含む。）及び補修等の方法、実施頻度及び時期

### （1）点検計画

施設定期検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「大飯発電所 保修業務所則（平成15大原保所則 第1号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「大飯発電所 土木建築業務所則（平成19大原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」等に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

### （2）補修、取替え及び改造計画

#### a. 計装用電源装置改造工事：工事計画認可申請

##### ○工事概要

計装用電源については、装置を構成する主要部品が製造中止となっており、設備の機能維持の観点から、保守性の向上を考慮し取り替える。

##### ○予定期

第17回施設定期検査期間中

b. 高エネルギーアーク損傷対策工事および大飯幹線・新綾部線系統変更工事

：工事計画認可申請

○工事概要

その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備において、高エネルギーのアーク放電による電気盤の損壊の拡大を防止するために必要な措置を講じる。

また、その他発電用原子炉の附属施設のうち常用電源設備において、大飯発電所に接続する 500 kV 送電線の系統構成が一部変更となることから、要求事項に対する適合性を示す。

○予定時期

非常用電源設備：第 17 回施設定期検査期間中

常用電源設備：西暦 2019 年 6 月～西暦 2020 年 1 月

3. 発電用原子炉施設の保安のための点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

施設定期検査停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特にない。

4. 特別な保全計画

なし

5. 保全に関する実施体制

第 17 保全サイクルにおける保全については、大飯発電所原子炉施設保安規定第 4 条（保安に関する組織）、第 5 条（保安に関する職務）に基づく事業者管理体制により実施する。

また、第 17 保全サイクルの保全の実施にあたり、協力会社に役務を調達する場合には、当該点検及び工事に関する作業経験等の技術的要件（力量）も考慮の上、第 125 条（保守管理計画）に基づき調達要求等を定める「原子力部門における調達管理通達（平成 27 調原通達 第 1 号）」の規定に従い調達する。

なお、第 17 保全サイクルにおいて、協力会社に役務を調達する予定の主要な点検工事等を以下に示す。

- ・原子炉容器他主要設備定期点検工事
- ・発電機他主要電気設備定期点検工事
- ・蒸気発生器細管検査他付帯工事
- ・タービン主機他一般設備定期点検工事
- ・1 次系大型モータ他定期点検工事
- ・計装用電源装置改造工事
- ・高エネルギーアーク損傷対策工事および大飯幹線・新綾部線系統変更工事

別紙

## 点 檢 計 画

(第 1 7 保全サイクル)

## 点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

### (1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14第1項に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、工事計画書に記載が要求されている設備

なお、工事計画書において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防護具、現地操作時に用いる工具類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

②保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a. 安全機能の重要度が高い設備

b. 供給信頼性重要度が高い設備

c. リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

### (2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

・ 定期事業者検査に係る点検

・ 施設定期検査の都度性能維持のための措置を伴う点検

・ 施設定期検査対象機器に係る点検のうち、定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検

・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備<sup>※1</sup>の点検等）については、「大飯発電所 保修業務所則（平成15大原保所則 第1号）」に基づき策定した

「保全指針」及び「大飯発電所 土木建築業務所則（平成19大原土所則 第1号）」

に定めている。

※ 1 : 附帯設備の例

(潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス  
レジューサ、フローグラス 等)

(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達（平成18原品証通達第2号）」等の考え方従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・ 事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間（総合負荷性能検査～解列）に対応した値を示している。  
また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
- ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」<sup>※2</sup>と表記している。なお、回転機器（ポンプ、ファン等）等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
- ・ これ以外で性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」<sup>※2</sup>により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該

点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。

- ・このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
- ・機能・性能試験の結果等を踏まえて適宜実施する点検については、「X」により表記している。

※2：「B」、「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント施設定期検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

#### (6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“施設定期検査起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、施設定期検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（施設定期検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備は備考欄に明記し、区別する。

#### (7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化的有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡回点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。
- ・状態監視技術のうち振動診断の頻度については、年度におけるデータ採取回数を「M」表示となるよう平均し記載している。

なお、第17保全サイクル中に点検を計画するものについては、参考資料1「点検計画」に「○」<sup>※3</sup>を記載している。

また、参考資料1「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）<sup>※4</sup>も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、最新実績を記載している。

点検計画 目次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/51
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/51
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	4/51
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[原子炉補機冷却設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
[蒸気タービンの附属設備]	
計測制御系統施設	20/51
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	23/51
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	
放射線管理施設	27/51
[放射線管理用計測装置]	
[換気設備]	
[生体遮蔽装置]	
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
原子炉格納施設	35/51
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	41/51
[その他設備]	
原子力設備・タービン設備	41/51
[その他設備]	
蒸気タービン	42/51
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
その他発電用原子炉の附属施設	47/51
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
[常用電源設備]	
[火災防護設備]	
[浸水防護施設]	
[補機駆動用燃料設備]	
[非常用取水設備]	
土木建築設備	51/51
プラント総合	51/51
全般機器	51/51

## • 点検計画

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考
原子炉本体 〔炉心〕	照射済燃料集合体 照射済燃料集合体 (取出燃料) 燃料集合体 193体	※ 1式 1.外観点検 1.外観点検 1.外観点検 (炉内配置)	高 高 高	1F 1F 1F	燃料集合体外観検査 燃料集合体炉内配置検査	※：炉心設計による 設備診断技術による ※：炉心設計による
内挿物 ・制御棒クラスター ・バーナブルボイズン ・シンブルフラークアセンブリ ・2次中性子源 原子炉本体のうち炉心	※ 1式 1.外観点検 (炉内配置)	1.外観点検 (炉内配置)	高	1F	燃料集合体炉内配置検査	※：炉心設計による
原子炉容器 〔原子炉容器〕	原子炉容器 (制御棒クラスター案内管支持ビン) 116箇所 水立計 支持管用支持ビン 燃料移送装置	116箇所 1台	1.機能・性能試験 2.機能・性能試験 1.外観点検	高 高 高	原子炉停止余裕検査 炉物理検査 構造健全性検査	施設定検起動後
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	1台	1.機能・性能試験 (リフティング・フレーム) 2.機能・性能試験 3.簡易点検 (潤滑油給油)	高 高 26M	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インシターロック試験等)	
燃料取替クレーン	1台	1.機能・性能試験 2.機能・性能試験 3.簡易点検 (潤滑油給油)	高 高 26M	1F 1F 1F	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インシターロック試験等)	
使用済燃料ビッグトレーン	1台	1.機能・性能試験 2.機能・性能試験 3.簡易点検 (潤滑油給油)	高 高 26M	1F 1F 1F	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インシターロック試験等)	先行実施
新燃料エレベータ	1台	1.機能・性能試験 2.機能・性能試験 3.簡易点検 (潤滑油給油)	高 高 26M	1F 1F 1F	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インシターロック試験等)	先行実施
補助建屋クレーン	1台	1.機能・性能試験 2.機能・性能試験 3.簡易点検 (点検手入れ)	高 高 1Y	1F 1F 1Y	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査 (動作・インシターロック試験等)	年次点検 プラント運転中又は施設定 検停止中
新燃料取扱工具	1台	1.外観点検	低	1F	燃料取扱設備検査 (動作・インシターロック試験等)	先行実施
使用済燃料取扱工具	1台	1.外観点検	低	1F	燃料取扱設備検査 (動作・インシターロック試験等)	先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	1台	1.外観点検 1.分解点検他	高 高	1F 13M～130M	燃料取扱設備検査(動作・ シナリオシック試験等)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵設備〕	1式					
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	その他機器					
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	使用済燃料ビット温度 使用済燃料ビット水位 可搬式使用済燃料ビット水位 使用済燃料ビット温度 (AM用) 使用済燃料ビット水位 (AM用) 使用済燃料ビット水位 (AM用)	3台 1台 3台 2台 2台 2台	1.特性試験 1.特性試験 1.特性試験 1.特性試験 1.特性試験 1.特性試験	高 高 高 高 高 高	13M 13M 13M 13M 13M 13M	計測制御系監視機能検査 計測制御系監視機能検査 計測制御系監視機能検査 ブランク状態監視設備機能 検査 ブランク状態監視設備機能 検査
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵冷却净化装置〕	2台	1.機能・性能試験 1.機能・性能試験	高 高	1F 1F	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	16回施設定検時に設置
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵冷却净化装置〕	2台	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機等含む)	高	1F	使用済燃料貯蔵槽冷却净化 系機能検査	16回施設定検時に設置
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料ビットポンプ・電動機 用〕		1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (潤滑油入替)	高 78M 26M			(振動診断 : 6M) 先行実施
B 使用済燃料ビットポンプ・電動機		1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (潤滑油入替)	高 78M 26M			(振動診断 : 6M) 先行実施
送水車	3台	1.機能・性能試験 2.外観点検	高 高	1Y 1Y	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	プラント運転中又は施設定 検停止中 16回施設定検時に設置
A 使用済燃料ビットフイルダ B 使用済燃料ビットフイルダ A 使用済燃料ビット冷却器	3台	1.機能・性能試験 2.分解点検 1.開放点検 1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高 高 高 高 195M 195M	1Y 10Y 130M 130M 195M 195M	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	プラント運転中又は施設定 検停止中 16回施設定検時に設置
B 使用済燃料ビット冷却器		1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高 195M 195M	195M 195M	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査	先行実施 有効性評価 No. 1 の反映
C 使用済燃料ビット冷却器		1.開放点検 2.漏えい試験	高 130M	130M	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査	先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 「使用済燃料貯蔵槽冷却却淨化設備」 その他の弁	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 1式 「使用済燃料貯蔵槽冷却却淨化設備」	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (グランドハッキン取替)	高・低 10.0M~13.0M 13.0M	B 1次系弁検査	一部先行実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 その他の機器	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 1式 「使用済燃料貯蔵槽冷却却淨化設備」	1.分解点検地	高・低 7.8M		
A.燃料取替用水ポンプ・電動機 〔燃料取替用水設備〕		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高 13.0M 5.2M 2.6M	B* 1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6 M)
B.燃料取替用水ポンプ・電動機 〔燃料取替用水設備〕		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高 13.0M 5.2M 2.6M	B* 1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6 M)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 「燃料取替用水設備」 その他の弁	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 1式 「燃料取替用水設備」	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高 13.0M 5.2M 2.6M	B 1次系弁検査	一部先行実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 その他の機器	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 1式 「燃料取替用水設備」	1.分解点検地	高 13.0M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
A 蒸気発生器 [一次冷却系純処設 置の循環設備]	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	蒸気発生器伝熱管体積検査	
	1次側	1. 開放点検	高	13M	1次系熱交換器検査	
	2次側	1. 開放点検 2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M		
	マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M		
B 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	蒸気発生器伝熱管体積検査	
	1次側	1. 開放点検	高	13M	1次系熱交換器検査	
	2次側	1. 開放点検 2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M		
	マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M		
C 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	蒸気発生器伝熱管体積検査	
	1次側	1. 開放点検	高	13M	1次系熱交換器検査	
	2次側	1. 開放点検 2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M		
	マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M		
D 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	蒸気発生器伝熱管体積検査	
	1次側	1. 開放点検	高	13M	1次系熱交換器検査	
	2次側	1. 開放点検 2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M		
	マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M		
加圧器		1. 開放点検	高	13M		
加圧器安全弁	3個 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	1. 機能・性能試験 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	1F B 13M	加圧器安全弁機能検査 加圧器安全弁漏えい検査 加圧器安全弁分解検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	3PCV-452A 加工器逃がし弁	1. 機能・性能試験 2. 駆動部(含む) 2. 漏えい試験	高	1F	加工器逃がし弁機能検査	
		3. 分解点検		1F	加工器逃がし弁漏えい検査	
加工器逃がし弁駆動部		1. 分解点検 2. 簡易点検	高	26M	加工器逃がし弁分解検査	
加工器逃がし弁	3PCV-452B	1. 機能・性能試験 2. 駆動部(含む) 2. 漏えい試験	高	13M		
		3. 分解点検		1F	加工器逃がし弁機能検査	
		1. 分解点検 2. 簡易点検	高	26M	加工器逃がし弁漏えい検査	
加工器逃がし弁駆動部		1. 分解点検 2. 簡易点検	高	13M	加工器逃がし弁分解検査	
加工器逃がし弁前弁	2個 3V-RC-054A 3V-RC-054B	1. 機能・性能試験 2. 駆動部(含む) 1. 分解点検 1. 分解点検	高	1F	加工器逃がし弁元弁機能検査	
加工器逃がし弁前弁駆動部		2. 簡易点検 (特性点検)	高	130M		
A 1 次冷却材ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)	高	1F 13M	1次冷却材ポンプ機能検査 1次冷却材ポンプ点検起動後	一部施設設定検起動後
		4. 分解点検 (ライドイール) 5. 分解点検 軸受分解 (電動機)	10AM	13M	1次冷却材ポンプマニホールドシール分解検査	一部先行実施
		6. 分解点検 (金分解) (電動機)	52M			
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	10AM 26M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	B 1 次冷却材ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ボンブ) 3.分解点検 (メカニカルシール) 4.分解点検 (ライホイール) (電動機) 5.分解点検 (軸受分解) (電動機) 6.分解点検 (全分解) (電動機) 7.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	1F 130M 13M 10AM 52M 10AM 26M	1次冷却材ポンプ機能検査 一部施設検起動後 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査 一部先行実施 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査 一部先行実施 1次冷却材ポンプ機能検査 一部施設検起動後	
	C 1 次冷却材ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ボンブ) 3.分解点検 (メカニカルシール) 4.分解点検 (ライホイール) (電動機) 5.分解点検 (軸受分解) (電動機) 6.分解点検 (全分解) (電動機) 7.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	1F 130M 13M 10AM 52M 10AM 26M	1次冷却材ポンプ機能検査 一部施設検起動後 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査 一部先行実施 1次冷却材ポンプ機能検査 一部施設検起動後	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備(診断技術)
原子炉冷却系系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	D 1 次冷却材ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ボンブ) 3.分解点検 (メカニカルシール) 4.分解点検 (ライホイール) (電動機) 5.分解点検 (軸受分解) (電動機) 6.分解点検 (全分解) (電動機) 7.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高 130M 13M 10AM 52M 10AM 26M	1F 1次冷却材ポンプ機能検査 一部施設定期起動後 1次冷却材ポンプ分解検査 一部先行実施 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査 一部先行実施	1次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定期起動後
原子炉冷却系系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕 その他の弁	I式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (グランドドッキン取替)	高・低 高 低 高・低	52M～260M 78M～130M 39M～130M	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	一部BMあり
原子炉冷却系系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕 その他の弁駆動部	I式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 特性点検	高・低 26M～65M 13M～65M	B	1次系弁検査	
原子炉冷却系系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕 その他機器	I式	1.分解点検他 2.分解点検他	高 低	13M～10AM 13M～65M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考( )内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	主蒸気安全弁 20個	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	1F 26M	主蒸気安全弁機能検査 主蒸気安全弁漏えい検査	
	B, D系 3V-MS-526B 3V-MS-527B 3V-MS-528B 3V-MS-529B 3V-MS-530B 3V-MS-526D 3V-MS-527D 3V-MS-528D 3V-MS-529D 3V-MS-530D					
	A, C系 3V-MS-526A 3V-MS-527A 3V-MS-528A 3V-MS-529A 3V-MS-530A 3V-MS-526C 3V-MS-527C 3V-MS-528C 3V-MS-529C 3V-MS-530C	1.漏えい試験 2.分解点検	高	B	主蒸気安全弁漏えい検査	
	3PCV-3610 3PCV-3620 3PCV-3630 3PCV-3640	2.分解点検	26M			
主蒸気逃がし弁 4個		1.機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシンク熱輸送設備動作動検査は、16回施設定期検査から設定	
		1.漏えい試験	高	B	主蒸気逃がし弁漏えい検査	
	3PCV-3610 3PCV-3620 3PCV-3630 3PCV-3640	2.分解点検	13M			
主蒸気逃がし弁駆動部 1個		1.分解点検 2.簡易点検 特性点検	高	52M		
		2.簡易点検 特性点検	13M			
主蒸気隔離弁 4個		1.機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	主蒸気隔離弁機能検査	
	3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C 3V-MS-533D	1.分解点検	39M	2次系弁検査		
		1.分解点検	39M	2次系弁検査		
		1.分解点検	39M	2次系弁検査		
主蒸気隔離弁駆動部 1個		1.分解点検 2.簡易点検 特性点検	高	39M		
		2.簡易点検 特性点検	13M			
タービンハイパス弁 15個		1.機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	タービンハイパス弁機能検査	
タービンハイパス弁駆動部		2.分解点検	26M			
		1.分解点検 特性点検	52M			
		2.簡易点検 特性点検	13M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	原子炉冷却系系統施設「主蒸気・主給水設 備」 その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (グランドハッキン取 替)	高・低	B 26M～260M 52M～130M	2次系弁検査 2次系弁検査	
原子炉冷却系系統施設「主蒸気・主給水設 備」 その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (特性点検)	高・低	B 26M～182M 13M～182M	2次系弁検査 2次系弁検査	
原子炉冷却系系統施設「主蒸気・主給水設 備」 その他機器	1式	1.分解点検地 2.分解点検地	高 低	13M～104M 13M～104M		
原子炉冷却系系統施設 〔余熱除去ポンプ・電動機〕	A余熱除去ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ)	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定檢 から設定
		3.分解点検 (電動機)		78M	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	
		4.簡易点検 (メカニカルシール取 替)		91M		
		5.簡易点検 (ポンプ)		78M		有効性評価 No. 21 の反映
		6.簡易点検 (潤滑油入替)		26M		
		(電動機)		26M		
B余熱除去ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定檢 から設定
		2.分解点検 (ポンプ)		78M	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	
		3.分解点検 (電動機)		91M		
		4.簡易点検 (メカニカルシール取 替)		78M		有効性評価 No. 21 の反映
		5.簡易点検 (ポンプ)		26M		
		6.簡易点検 (潤滑油入替)		26M		
		(電動機)				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の頻度 又は重要度	保全方式	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系施設 〔余熱除去設備〕	低圧注入系主要弁 3V-RH-050A	1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設検定
	3V-RH-050B	1. 分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設検定
	3V-RH-050C	1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査
	3V-RH-050D	1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査
	3V-RH-051A	1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査
	3V-RH-051B	1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査
A 余熱除去冷却器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 濾えい試験	高	130M	1 次系熱交換器検査		
B 余熱除去冷却器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 濾えい試験	高	130M	1 次系熱交換器検査		
原子炉冷却系施設 〔余熱除去設備〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検 4. 簡易点検 (グランドハッキン取 替)	高・低	B 52M～260M 130M 65M～130M	1 次系弁検査 1 次系安全弁検査 1 次系弁検査 1 次系弁検査	一部IBMあり
原子炉冷却系施設 〔余熱除去設備〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高・低	B 52M～182M 13M～182M	1 次系弁検査	
原子炉冷却系施設 〔余熱除去設備〕 その他の機器	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高	13M～91M 65M～130M		
その他AM(代替雨露環) 横梁	1式	1. 分解点検他	高	130M～182M	1次系弁検査	

機器又は系統名 〔非常用炉心冷却設備〕	実施数 (機器名) 高压及び低压注入系 (余熱除去設備 (低压注入機能) を含む)	点検及び試験の項目 1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、 弁駆動部等含む) 2.機能・性能試験 (ポンプ、電動機、状態 監視等含む)	保全の重要度 高	保全方式 又は頻度 1F	検査名 非常用炉心冷却系機能検査	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
その他原子炉注水系		1.機能・性能試験 2.機能・性能試験 (ポンプ)	高	1F	運転中の主要機器機能検査 (状態監視含む)	プラント運転中 〔対象設備〕 ・A, B高压注入ポンプ ・A, B余熱除去ポンプ 〔対象設備〕 ・A, B低压注入系 ・A, B高压注入系 ・B高压注入系(電動機海水 冷却) ・A, B, C充てん系 ・B充てん系(電動機自己冷 却)
A高压注入ポンプ・電動機		1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (メカニカルシール取 替) 4.簡易点検 (潤滑油入替)	高 130M 91M 130M 26M	130M 非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 130M 26M	16回施設定検から設定 (振動診断 : 3M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定檢 から設定	
B高压注入ポンプ・電動機		1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (メカニカルシール取 替) 4.簡易点検 (潤滑油入替)	高 130M 91M 130M 26M	130M 非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 130M 26M	16回施設定検から設定 (振動診断 : 3M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定檢 から設定	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全的方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
恒設代替低圧注水ボンブ・電動機 〔非常用炉心冷却設備〕	恒設代替低圧注水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)  2. 分解点検 (ポンプ)  3. 分解点検 (電動機)	高	1F	その他原子炉注水系機能検査 原子炉格納容器安全系機能検査	16回施設定檢時に設置
可搬式代替低圧注水ボンブ・電動機	3台	1. 機能・性能試験  2. 分解点検 (ポンプ)  3. 分解点検 (電動機)	高	1F 130M 130M	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	16回施設定檢時に設置
高圧注入系主要弁	3V-SI-082A 3V-SI-082B 3V-SI-082C 3V-SI-082D 3V-SI-072A 3V-SI-072B 3V-SI-072C 3V-SI-072D 3V-SI-079A 3V-SI-079B 3V-SI-079C 3V-SI-079D	1. 分解点検  1. 分解点検	高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高	1Y 10Y 130M 260M 130M 130M 260M 260M 260M 260M 260M 260M	可搬型重大事故等対処設備 機能検査  非常用炉心冷却系主要弁分 解検査  非常用炉心冷却系主要弁分 解検査  非常用炉心冷却系主要弁分 解検査  非常用炉心冷却系主要弁分 解検査  非常用炉心冷却系主要弁分 解検査  非常用炉心冷却系主要弁分 解検査  非常用炉心冷却系主要弁分 解検査  非常用炉心冷却系主要弁分 解検査  非常用炉心冷却系主要弁分 解検査  非常用炉心冷却系主要弁分 解検査  非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	プラント運転中又は施設定 檢停止中 16回施設定檢時に設置

機器又は系統名 [非常用炉心冷却設備]	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系	1.機能・性能試験 (弁、弁駆動部を含む)	高	1F	非常用炉心冷却系機能検査	その他原子炉注水系機能検査は、16回施設定検
蓄圧注入系主要弁	3V-SI-132A	1.分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系は、16回施設定検から設定
3V-SI-132B	1.分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁分 解検査は、16回施設定検から設定	
3V-SI-132C	1.分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁分 解検査は、16回施設定検から設定	
3V-SI-132D	1.分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁分 解検査は、16回施設定検から設定	
3V-SI-134A	1.分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁分 解検査は、16回施設定検から設定	
3V-SI-134B	1.分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁分 解検査は、16回施設定検から設定	
3V-SI-134C	1.分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁分 解検査は、16回施設定検から設定	
3V-SI-134D	1.分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁分 解検査は、16回施設定検から設定	
3V-SI-136A	1.分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁分 解検査は、16回施設定検から設定	
3V-SI-136B	1.分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁分 解検査は、16回施設定検から設定	
3V-SI-136C	1.分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁分 解検査は、16回施設定検から設定	
3V-SI-136D	1.分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	その他原子炉注水系主要弁分 解検査は、16回施設定検から設定	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系主要弁駆動部	1. 分解点検 2. 簡易点検 特性点検)	高	182M 13M～182M		
A蓄圧タンク		1. 開放点検	高	130M		
B蓄圧タンク		1. 開放点検	高	130M		
C蓄圧タンク		1. 開放点検	高	130M		
D蓄圧タンク		1. 開放点検	高	130M		
燃料取替用水ピット		1. 開放点検	高	130M		
外観点検		1. 外観点検	高	1F		
A、B格納容器再循環サンプル		1. 外観点検 2. 外観点検	高	1F 10Y	原子炉格納容器再循環サン プルスクリーン検査	
A、B格納容器再循環サンプルスクリーン		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検	高・低 高 低	B 65M～260M 78M～260M	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
原子炉冷却系系統施設「非常用炉心冷却設 備」 その他の弁	1式	4. 簡易点検 (グランドハッキン取 替)	高・低	78M～130M		一部BMあり 有効性評価 No.20 の反映
原子炉冷却系系統施設「非常用炉心冷却設 備」 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 特性点検)	高・低	B 65M～182M 13M～182M	1次系弁検査 1次系弁検査	
原子炉冷却系系統施設「非常用炉心冷却設 備」 その他の機器	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M～91M 13M～130M		
充てんポンプ	3台	1. 機能・性能試験 (ポンプ)、電動機等含 む)	高	1F	充てんポンプ冷却材補給系 機機能検査	
A充てんポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (メカニカルシール取 替) (ポンプ)	高 91M	78M —	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 化学体積制御系充てんポン プ分解検査	(振動診断：6M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設検 定から設定
原子炉冷却系系統施設 [化学体積制御設備]		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ) 5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	26M 13M			



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	全剩抽出水冷却器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	130M 130M 130M		
原子炉冷却系統施設「化学体積制御設 備」 その他の弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.分解点検 4.簡易点検 (グランドハッシュキン取 替)	高・低	B 13M～260M 1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査 65M～130M	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設「化学体積制御設 備」 その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (特性点検)	高・低	52M～182M 13M～182M	1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設「化学体積制御設 備」 その他機器	1式	1.分解点検他 2.分解点検他	高	13M～130M 13M～130M		一部BMあり
原子炉冷却水ポンプ・電動機 〔原子炉補機冷却系(冷却水系)〕	A原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	原子炉補機冷却系機能検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6M)
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	B原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) 5.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	B* 52M 91M 26M 26M	1次系ポンプ機能検査 1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6M)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考
C原子炉補給冷却水ポンプ・電動機 [原子炉補給機冷却設備]		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ) 5.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施(振動診断 : 6M)
D原子炉補給冷却水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ) 5.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施(振動診断 : 6M)
大容量ポンプ	3台					
格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	2台	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	1Y 10Y	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は施設定期停止中
原子炉補機冷却水サービスタンク		1.開放点検	高	130M	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回施設定期検査時に設置
原子炉補機冷却水サービスタンク真空逃がし弁		1.分解点検 1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	130M 13M 13M	1次系真空破壊弁検査 1次系熱交換器検査	16回施設定期検査時に設置
△原子炉補機冷却水冷却器		1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	13M 13M 13M	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査	有効性評価 No. 2 の反映
B原子炉補機冷却水冷却器		1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	26M 13M 13M	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	原子炉冷却系系統施設「原子炉補機冷却設備」1式 〔原〕 その他の弁 備	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (グランドハウツキン取替)	高・低	B 13M～260W 13M～195W	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査	
原子炉冷却系系統施設「原子炉補機冷却設備」1式 〔原〕 その他の弁駆動部		1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検	高・低	B 65M～182W 13M～182W	1次系弁検査	
原子炉冷却系系統施設「原子炉補機冷却設備」1式 〔原〕 その他機器		1.分解点検他 2.分解点検他	高	65M～130M 13M～65M		
原子炉冷却系系統施設「原子炉補機冷却却、格納容器自然対流冷却」機器 〔原〕		1.分解点検他	高	13M～130M		
A海水ポンプ・電動機 原子炉補機冷却系(海水系)		1.機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	原子炉補機冷却却系機能検査	
B海水ポンプ・電動機 原子炉冷却系施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (グランドハウツキン取替) (ポンプ)	高	B* 52M 104M 13M	2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査 先行実施 有効性評価 No.3 の反映	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施 有効性評価 No.3 の反映
C海水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (グランドハウツキン取替) (ポンプ)	高	B* 52M 104M 13M	2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査 先行実施 有効性評価 No.3 の反映	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施 有効性評価 No.3 の反映

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	保全の 重要度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉冷却却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	13M～65M	2次系弁検査	
原子炉冷却却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉冷却却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高	B 78M	2次系弁検査	
原子炉冷却却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉冷却却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の機器	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高	13M～65M		
原子炉冷却却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材 の漏えいを監視する装置〕	格納容器サシング水位上昇率測定装置及び 格納容器内過縮微量測定装置	伝送器 2個 設定器 5個	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	低	13M	格納容器サシング水位上昇率 測定装置及び格納容器内過 縮微量測定装置漏えい検出 器機能検査
A 電動補助給水ポンプ・電動機 〔蒸気タービンの附属設備〕	炉内計装用シンブル配管室ドレンシビット 漏えい検出装置	検出器 2個	1. 機能・性能試験	高	1F	格納容器サシング水位上昇率 測定装置及び格納容器内過 縮微量測定装置漏えい検出 器機能検査
原原子炉冷却却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕	補助給水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、原動 機、弁、弁駆動部等含 む)	高	1F	補助給水系機能検査	16回施設設定検時に改造
A 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	52M	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断 : 3M)	
	3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		78M			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)		26M			
B 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	52M	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断 : 3M)	
	3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		78M			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)		26M			
タービン動補助給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン) 2. 分解点検 (ストレーナ清掃)	高	B 52M	2次系ポンプ機能検査 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断 : 3M)	
	3. 簡易点検 (ストレーナ清掃)		26M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕	3復水ピット	1.外観点検	高	1F		
原子炉冷却系系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕 その他の弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (グランドバッキン取替)	高 78M～260M 130M	B 2次系弁検査 2次系弁検査		
原子炉冷却系系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕 その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (特性点検)	高	78M～182M 13M～182M		
原子炉冷却系系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕 その他機器	1式	1.分解点検地	高	13M～130M		
計測制御系統施設 〔制御材〕	※ 1式	1.外観点検	高	1F	制御棒クラスター検査	※ : 炉心設計による
バーナブルボイズン	※ 1式	1.外観点検	高	1F	制御棒クラスター検査	※ : 炉心設計による
2次中性子源	※ 1式	1.外観点検	高	1F	制御棒クラスター検査	※ : 炉心設計による
シンブルブルアセシブリ	※ 1式	1.外観点検	高	1F	制御棒クラスター検査	※ : 炉心設計による
計測制御系統施設 〔制御棒駆動装置〕	53本	1.機能・性能試験 2.機能・性能試験	高 1F	制御棒駆動系機能検査 制御棒クラスター動作検査		
A制御棒駆動装置MGセット		1.分解点検 2.簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)	高 26M	52M		(振動診断: 3M)
B制御棒駆動装置MGセット		1.分解点検 2.簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)	高 26M	52M		(振動診断: 3M)
計測制御系統施設「制御棒駆動装置」 その他機器	1式	1.分解点検地	高・低	13M～39M		
A!ほう酸ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (ポンプ) (潤滑油入替)	高	B*	ほう酸ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 3M)
B!ほう酸ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (ポンプ) (潤滑油入替)	高 78M 52M 26M	B* 78M 52M 26M	ほう酸ポンプ分解検査 ほう酸ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 3M)

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
計測制御系統施設 〔ほう酸注入機能を有する設備〕	3 4 A 1 次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低	B*	1 次系ポンプ機能検査 195M 78M 26M	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3 M) 先行実施
	3 4 B 1 次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低	B*	1 次系ポンプ機能検査 195M 78M 26M	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3 M) 先行実施
	A 1 ほう酸タンク	1. 開放点検	高	130M		
	A 1 ほう酸タンク 真空逃がし弁	1. 分解点検	高	130M	1 次系真空破壊弁検査	
	B 1 ほう酸タンク	1. 開放点検	高	130M		
	B 1 ほう酸タンク 真空逃がし弁	1. 分解点検	高	130M	1 次系真空破壊弁検査	
	3 4 A 1 次系純水タンク	1. 開放点検	高	130M		先行実施
	3 4 A 1 次系純水タンクバキュームリリーフ弁	1. 分解検査	高	130M	1 次系真空破壊弁検査	先行実施
	3 4 A 1 次系純水タンクアトモス弁	1. 分解検査	高	130M	1 次系真空破壊弁検査	先行実施
	3 4 B 1 次系純水タンク	1. 開放点検	高	130M		先行実施
	3 4 B 1 次系純水タンクバキュームリリーフ弁	1. 分解検査	高	130M	1 次系真空破壊弁検査	先行実施
	3 4 B 1 次系純水タンクアトモス弁	1. 分解検査	高	130M	1 次系真空破壊弁検査	先行実施
	ほう酸フィルタ	1. 開放点検	高	130M		
	計測制御系統施設〔ほう酸注入機能を有する設備〕	1式	1. 特性試験 2. 分解点検	高・低 B	130M	1 次系真空破壊弁検査 先行実施
	その他の方 〔工学的安全施設等の作動信号〕					
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕	制御用空気圧縮機	2台	1. 機能・性能試験 (空気圧縮機等 含む) 2. 分解点検 (電動機)	高	1F	制御用空気圧縮系機能検査 16回施設定檢時に設置
	A 制御用空気圧縮機・電動機		1. 分解点検 (圧縮機) 2. 分解点検 (電動機)	高	13M	
	B 制御用空気圧縮機・電動機		1. 分解点検 (圧縮機) 2. 分解点検 (電動機)	高	13M	(電動機 振動診断 : 6 M) (電動機 振動診断 : 6 M)

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術) 設置
計測制御系統施設 「制御用空気設備」	代替制御用空気供給設備 計測制御系統施設「制御用空気設備」	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランドハッシュキン取替)	高・低 13M~195M 130M	1F B 1次系弁検査 1次系弁検査	16回施設定檢時に設置
計測制御系統施設「制御用空気設備」 その他の弁		1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高 13M~182M 13M~182M	B 1次系弁検査 1次系弁検査	有効性評価 No. 4 の反映
計測制御系統施設「制御用空気設備」 その他機器		1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 13M~78M		
計測制御系統施設 「その他機器」	・原子炉保護系ロジック回路 ・安全防護系ロジック回路 ・バニーミッシュプロロジック回路	28回路 25回路 6回路	1. 機能・性能試験	高	1F	安全保護系機能検査
原子炉トリップ装置、工学的安全施設の始動、すべての伝送器、設定器及び保護遮電器 ・保護遮電器、容器隔離等を行ったための ・1次冷却材等計測装置 伝送器 設定器 ・核計測装置 設定器 重要な指示計器 ・1次冷却材等計測装置 指示計 ・核計測装置 指示計	6個 76個 117個 20個 31個 8個	1. 特性試験	高・低	13M	安全保護系設定値確認検査	
事故時監視計器 ・圧力監視計器 ・水位監視計器 ・流量監視計器 ・温度監視計器	2個 16個 8個 10個	1. 特性試験	高	13M	プラント状態監視設備機能 検査	
事故時試料採取設備 格納容器零気ガス試料採取設備 ・制御棒制御系 ・加圧器水位制御系 ・加圧器圧力制御系 ・蒸気発生器水位制御系	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	プラント状態監視設備機能 検査	
1次系及び2次系計測制御装置 炉外核計測装置 ・中性子源領域検出器 ・中間領域検出器 ・出力領域検出器 炉内核計測装置 制御棒位置指示装置	1式 2個 2個 8個 4台	1. 特性試験 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 1. 特性試験	高・低 高 1F 13M	13M 13M 13M 13M	計測制御系監視機能検査 接計装設備検査 核計装設備検査 制御棒位置指示装置設定値 検査	一部施設定檢起動後 一部施設定檢起動後



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
放射性廃棄物の処理施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理 設備〕	2基	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低	1F 13M～19.5M	液体廃棄物処理系機器検査	先行実施
廃液蒸発装置	2基	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低	1F 13M～19.5M	液体廃棄物処理系機器検査	先行実施
膜分離活性汚泥処理装置	1基	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低	1F 13M～13.0M	液体廃棄物処理系機器検査	先行実施
3.4 A) 除湿塔冷却送風機・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (送風機) 3. 分解点検 (電動機)	低	B* 260M 52M	気体廃棄物処理系設備検査	B* : 送風機または電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施
3.4 B) 除湿塔冷却送風機・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (送風機) 3. 分解点検 (電動機)	低	B* 260M 52M	気体廃棄物処理系設備検査	B* : 送風機または電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施
3.4 C) 除湿塔冷却送風機・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (送風機) 3. 分解点検 (電動機)	低	B* 260M 52M	気体廃棄物処理系設備検査	B* : 送風機または電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施
A) 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低	B* 26M 52M 26M	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施
B) 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低	B* 26M 52M 26M	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備技術)
放射性廃棄物の陸運輸設置 〔気体、液体又は固体廃棄物処理 設備〕	3 4 A 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1 2 M) 先行実施
	3 4 B 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1 2 M) 先行実施
	3 4 A 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1 2 M) 先行実施
	3 4 B 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1 2 M) 先行実施
A 格納容器サンプポンプ	サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 水中ポンプ
B 格納容器サンプポンプ	サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 水中ポンプ

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
放射性廃棄物の陸上処理施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理 設備〕	3 4 A ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1.2M) 先行実施
	3 4 B ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1.2M) 先行実施
A 原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施
B 原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施
3 4 A 洗浄排水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1.2 M) 先行実施
3 4 B 洗浄排水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1.2 M) 先行実施
3 4 強酸ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 キャンドポンプ

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備 診断技術)
放射性廃棄物の処理施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理 設備〕	液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の構成 いに係る警報機能	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	低	13M 設備の警報機能検査	液体廃棄物貯蔵設備・処理 設備の警報機能検査	先行実施
	液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置 及び警報装置機能 (最終の流入サン プ)	1式	1. 機能・性能試験	低	1F 液体状の放射性廃棄物の漏 えいの検出装置及び警報裝 置機能検査 (最終の流入サ ンプ)	先行実施
難固体焼却設備	1台	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低	1F 固体廃棄物処理系焼却炉機 能検査	固体廃棄物処理系焼却炉機 能検査	先行実施
乾燥造粒装置	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低	1F 13M～156M 乾燥造粒装置・セメントガ ラス固化装置機能検査	乾燥造粒装置・セメントガ ラス固化装置機能検査	有効性評価 No. 23 の反映 先行実施
セメントガラス固化装置	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低	1F 13M～195M 乾燥造粒装置・セメントガ ラス固化装置機能検査	乾燥造粒装置・セメントガ ラス固化装置機能検査	有効性評価 No. 22 の反映 先行実施
放射性廃棄物の処理施設 〔気体、液体又 は固体廃棄物処理設備〕 その他の方	放射性廃棄物の処理施設 〔気体、液体又 は固体廃棄物処理設備〕 その他の方	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検 4. 簡易点検 (グランドハッキン取 替)	低	B 65M～130M 1次系安全弁検査 10.3M～130M 1次系逆止弁検査 130M	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系逆止弁検査	一部BMあり 一部BMあり 一部BMあり
放射性廃棄物の処理施設 〔気体、液体又 は固体廃棄物処理設備〕 その他の方運動部	放射性廃棄物の処理施設 〔気体、液体又 は固体廃棄物処理設備〕 その他機器	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 4. 特性点検	高・低	65M～130M 13M～130M		一部先行実施 一部先行実施
放射性廃棄物の処理施設 〔気体、液体又 は液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置 及び警報装置〕 の検出装置又は自動警報装置	1式	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	低	13M～130M 13M	液体状の放射性廃棄物の漏 えいの検出装置及び警報裝 置機能検査	先行実施
放射線管理施設 〔放射線用計測装置〕	A格納容器内高レンジエリアモニタ (低 レンジ) A格納容器内高レンジエリアモニタ (高 レンジ) B格納容器内高レンジエリアモニタ (低 レンジ) B格納容器内高レンジエリアモニタ (高 レンジ) A排気筒ガスマニタ B排気筒ガスマニタ	1. 特性試験 1. 特性試験 1. 特性試験 1. 特性試験 1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高 高 高 高 1F 1F	13M 13M 13M 13M 13M	エリアモニタ機能検査 エリアモニタ機能検査 エリアモニタ機能検査 エリアモニタ機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	先行実施 先行実施 先行実施 先行実施 一部先行実施 一部先行実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕						
廃棄物処理設備排水モニタ	34R-35	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 放射線監視装置機能検査		
格納容器じんあいモニタ	3R-40	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
格納容器ガスモニタ	3R-41	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
復水器空気抽出器ガスマニタ	3R-43	1.機能・性能試験 2.特性試験	高	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
建屋内漏えい検知ガスマニタ	34R-50	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
蒸気発生器プロダウン水モニタ	3R-55	1.機能・性能試験 2.特性試験	高	1F 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
原子炉補機冷却水モニタ	3R-56	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
補助蒸気復水モニタ	34R-57	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
タービン建屋床ドレン集水モニタ	3R-58	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
A高感度型主蒸気管モニタ	3R-65	1.特性試験	高	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
B高感度型主蒸気管モニタ	3R-66	1.特性試験	高	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
C高感度型主蒸気管モニタ	3R-67	1.特性試験	高	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
D高感度型主蒸気管モニタ	3R-68	1.特性試験	高	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
冷却材連続モニタ	3R-70	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
ほう酸蒸留水モニタ	34R-71	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
廃棄物処理設備排水モニタ	34R-72	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
雑固体焼却灰排水ガスマニタ	34R-73	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	3R-80A	1.特性試験	高	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
A主蒸気管モニタ	3R-87	1.特性試験	高	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
B主蒸気管モニタ	3R-88	1.特性試験	高	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
C主蒸気管モニタ	3R-89	1.特性試験	高	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
D主蒸気管モニタ	3R-90	1.特性試験	高	1.3M 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
放水口水モニタ	34R-99	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
中央制御室エリアモニタ	34R-1	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 中央制御室非常用循環系機能検査		
格納容器エアロック区域エリアモニタ	3R-2	1.特性試験	低	1.3M 放射線監視装置機能検査		
放射化学室エリアモニタ	34R-3	1.特性試験	低	1.3M 放射線監視装置機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	A充てんポンプ室エリアモニタ B充てんポンプ室エリアモニタ C充てんポンプ室エリアモニタ 使用済燃料ピット区域エリアモニタ 試料採取室エリアモニタ 炉内計装区域エリアモニタ ドラム詰室エリアモニタ 1次系補機操作室エリアモニタ 堆積体粗化処理工アモニタ 緊急時対策別外可搬型エリアモニタ	3R-4A 3R-4B 3R-4C 3R-5 3AP-6 3R-7 3R-8 3R-11 3R-12 2台 3台	1.特性能試験 1.特性能試験 1.特性能試験 1.特性能試験 1.特性能試験 1.特性能試験 1.特性能試験 1.特性能試験 1.特性能試験 1.特性能試験	低 低 高 高 低 低 低 低 低 低	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	
可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ モニタリングステーション モニタリングボスト 可搬式モニタリングボスト	3台 1式 5台 17台	1.特性能試験 1.特性能試験 1.特性能試験 1.特性能試験	高 低 低 高	13M 13M 13M 1Y	放射線監視装置機能検査 野外モニタ機能検査 野外モニタ機能検査 プラント運転中又は施設設定検停止中	16回施設定檢時に設置 1号機設備 1号機設備 1号機設備
放射線管理施設「放射線管理用計測装置」 その他機器 中央制御室非常用循環系	1式	1.分解点検 2.分解点検 1.機能・性能試験 (ファン、電動機、ダンパー、ダンバ駆動部等含む) 1.分解点検 2.分解点検	高 低 高 高 高	13M 13M 1F 1F 78M	放射線監視装置機能検査 中央制御室非常用循環系機能検査 (振動診断 : 3M)	16回施設定檢時に設置 1号機設備 1号機設備 1号機設備
中央制御室非常用循環ファン・電動機 中央制御室非常用循環フィルタユニット1系列		1.分解点検 (ファン) 2.分解点検 (電動機) 1.機能・性能試験 (よう素フィルタ) 2.開放点検 (フィルタ取替) 3.機能・性能試験 (差圧確認) 4.開放点検	高 高 高 X*	91M 91M 78M 1F 1F	(振動診断 : 3M)	X* : 機能・性能試験結果により適宜実施
				260M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考( )内は適用する設備診断技術)
放熱線管理施設 [換気設備]	A 格納容器給気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F B	1次系換気空調設備検査 電動機分解時に分解点検を実施	先行実施
	B 格納容器給気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	130M 130M 130M	電動機振動診断 : 1 2 M 先行実施 有効性評価 No.5 の反映	先行実施
	A 格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F B	1次系換気空調設備検査 電動機分解時に分解点検を実施	先行実施
	B 格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	130M 130M 130M	電動機振動診断 : 1 2 M 先行実施 有効性評価 No.5 の反映	先行実施
	A 格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F B	1次系換気空調設備検査 電動機分解時に分解点検を実施	先行実施
	B 格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	130M 130M 130M	電動機振動診断 : 1 2 M 先行実施 有効性評価 No.5 の反映	先行実施
	C 格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	65M 65M 65M	1次系換気空調設備検査 電動機分解時に分解点検を実施	先行実施
	D 格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F B	1次系換気空調設備検査 電動機分解時に分解点検を実施	先行実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器空気淨化ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 130M	1次系換気空調設備検査	( )内は適用する 設備診断技術
	B 格納容器空気淨化ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 130M	1次系換気空調設備検査	
	A 中央制御室循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 78M	1次系換気空調設備検査	
	B 中央制御室循環ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 78M	1次系換気空調設備検査	
	A 中央制御室空調ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 91M	1次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断 : 6 M) (電動機 振動診断 : 2 M)
	B 中央制御室空調ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 91M	1次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断 : 6 M) (電動機 振動診断 : 2 M)
	3.4 A 放射線管理室給気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 130M	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No.5 の反映 (振動診断 : 1.2 M) 先行実施
	3.4 B 放射線管理室給気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 130M	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1.2 M) 先行実施
				130M		有効性評価 No.5 の反映
				130M		有効性評価 No.5 の反映

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考( )内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	3 4 A 放射線管理室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 130M 130M	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1.2M) 先行実施
	3 4 B 放射線管理室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 130M 130M	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No.5 の反映 (振動診断: 1.2M) 先行実施
	A補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 130M 130M	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No.5 の反映 (振動診断: 1.2M) 先行実施
	B補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 130M 130M	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No.5 の反映 (振動診断: 1.2M) 先行実施
	C補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 130M 130M	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No.5 の反映 (振動診断: 1.2M) 先行実施
	A補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 130M 130M	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No.5 の反映 (振動診断: 1.2M) 先行実施
	B補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 130M 130M	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No.5 の反映 (振動診断: 1.2M) 先行実施
	C補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 130M 130M	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No.5 の反映 (振動診断: 1.2M) 先行実施
	3 4 ベイラ排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F 104M 104M	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No.5 の反映 先行実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考( )内は適用する設備診断技術)
放熱線管理施設 [換気設備]	3.4 ホット工作室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	低	1F B 156M	1次系換気空調設備検査 電動機分解時に分解点検を実施	先行実施
A 安全補機室冷却ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 104M 10AM	1次系換気空調設備検査 (電動機 振動診断: 3M)	
B 安全補機室冷却ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 10AM 10AM	1次系換気空調設備検査 (電動機 振動診断: 3M)	
A1 ほう酸ボンブ室空調ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 78M	1次系換気空調設備検査 (電動機 振動診断: 3M)	
B1 ほう酸ボンブ室空調ファン・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン) 3.分解点検 (電動機)	高	1F 78M	1次系換気空調設備検査 (電動機 振動診断: 3M)	
緊急時対策所可搬型空気浄化ファンニット	4台	1.機能・性能試験 素フィルタ性能検査	高	1F 78M	可搬型換気空調設備検査 16回施設定検時に設置	
A 格納容器排気フィルタユニット		1.機能・性能試験 (差圧確認) 2.開放点検	高	1F BM	可搬型換気空調設備検査 16回施設定検時に設置	
B 格納容器排気フィルタユニット		1.機能・性能試験 (差圧確認) 2.開放点検	低	1F BM	1次系換気空調設備検査 先行実施	
格納容器空気浄化フィルタユニット		1.機能・性能試験 (差圧確認) 2.開放点検	低	1F BM	1次系換気空調設備検査 先行実施	
3.4 出入管理室排気フィルタユニット		1.機能・性能試験 (差圧確認) 2.開放点検	低	1F BM	1次系換気空調設備検査 先行実施	
A補助建屋排気フィルタユニット		1.機能・性能試験 (差圧確認) 2.開放点検	高	1F 52M	1次系換気空調設備検査 先行実施	
B補助建屋排気フィルタユニット		1.機能・性能試験 (差圧確認) 2.開放点検	高	1F 52M	1次系換気空調設備検査 先行実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	3.4 ベイラ排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検 (差圧確認)	低	1F BM	1次系換気空調設備検査 1次系換気空調設備検査	先行実施
3.4 ホット工作室排気フィルタユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検 (差圧確認)	低	1F BM	1次系換気空調設備検査	先行実施
3.4 試料採取室排気フィルタユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検 (差圧確認)	低	1F BM	1次系換気空調設備検査	先行実施
A 格納容器給気ユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検 (差圧確認)	低	1F BM		先行実施
B 格納容器給気ユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検 (差圧確認)	低	1F 52M		先行実施
A 中央制御室空調ユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検 (差圧確認)	高	1F 52M		先行実施
B 中央制御室空調ユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検 (差圧確認)	高	1F 52M		先行実施
3.4 放射線管管理室給気ユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検 (差圧確認)	高	1F 52M		先行実施
A補助建屋給気ユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検 (差圧確認)	高	1F 52M		先行実施
B補助建屋給気ユニット		1.機能・性能試験 2.開放点検 (差圧確認)	高	1F 52M		先行実施
A安全補機室冷却ユニット		1.開放点検	高	52M		
B安全補機室冷却ユニット		1.開放点検	高	52M		
A格納容器冷却ユニット		1.開放点検	高	52M		
B格納容器冷却ユニット		1.開放点検	高	52M		
自動ダンパー	1式	1.機能・性能試験 2.運動部を含む)	高・低	1F	1次系換気空調設備検査	一部先行実施
自動ダンパー駆動部	1式	1.分解点検 2.簡易点検 (特性点検)	高・低 52M～156M 13M～65M	65M 52M～156M 13M～65M		一部先行実施 有効性評価 No.10, 11 の反映

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	1式 その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (グランドハッキン取替)	高・低	B 130M 130M	1次系安全弁検査 1次系弁検査	一部先行実施
放射線管理施設「換気設備」 その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (特性点検)	高・低	52M～182M 13M～182M	1次系弁検査	一部先行実施 有効性評価 No. 12 の反映
放射線管理施設「換気設備」 その他機器	1式	1.分解点検地 2.分解点検地 3.簡易点検 (潤滑油入替)	高 低 高・低	13M～130M 13M～10M 13M	1次系弁検査	一部先行実施 有効性評価 No. 6, 7, 8, 9, 13 の反映
放射線管理施設 [生体遮蔽装置]	中央制御室 緊急時対策所	1.漏えい試験 1.機能・性能試験 1.特性試験	高 高 高	6Y 1F 1Y	中央制御室の居住性確認検査 緊急時対策所の居住性確認検査	
放射線管理施設 [その他設備]	可搬型気象観測装置 気象観測装置	1.特性試験 1.特性試験	高 高	1Y 1Y	計測制御系監視機能検査	プラント運転中又は施設定檢停止中 16回施設定檢時に設置
原子炉格納容器 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器	1.漏えい率試験 1.漏えい率試験	高 高	3F 3F	原子炉格納容器全体漏えい率検査	プラント運転中又は施設定檢停止中 1号機設備 10年に1回は設計圧力にて実施
プレストレストコンクリート格納容器	通常用 1個	1.機能・性能試験 2.外観点検	高	5Y 5Y	プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査 プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査	
エアロック	非常用 1個	1.漏えい率試験 2.分解点検 3.簡易点検 (潤滑油補給地)	高	2/3F 52M 26M	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
機器搬入口	1個	1.漏えい率試験 2.開放点検 3.非破壊試験	高	2/3F 52M 26M 13M 10Y	原子炉格納容器局部漏えい率検査 原子炉格納容器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [参考資料 1別紙-6]

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目		保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
		1. 漏えい率試験	2. 開放点検				
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	配管貫通部(貫通配管閉止フランジ部) 6個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい、 率検査		
電線貫通部	41個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい、 率検査		
原子炉格納容器隔離弁	45個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい、 率検査		
原子炉格納容器隔離(T・V信号及びT +UV信号)にて隔壁された弁	62個	1. 機能・性能試験 駆動部等含む)	高	1F	原子炉格納容器隔離弁機能 検査		
原子炉格納容器隔離(P・V信号)により 隔壁される弁	16個	1. 機能・性能試験 駆動部等含む)	高	1F	原子炉格納容器隔離弁機能 検査		
原子炉格納容器隔離弁	3V-CS-004A	1. 分解点検	高	52M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-CS-004B	1. 分解点検	高	52M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-CS-004C	1. 分解点検	高	52M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-WL-012	1. 分解点検	高	13M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-WL-013	1. 分解点検	高	10AM	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-WL-143	1. 分解点検	高	10AM	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-WL-144	1. 分解点検	高	10AM	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-DP-001A	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-DP-001B	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-DP-002A	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-DP-002B	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-CS-007	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-CS-310	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-CS-312	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は注頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	原子炉格納容器隔離弁	3V-CC-342	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
	3V-CC-365	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
	3V-CC-401	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
	3V-CC-403	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
	3V-CC-427	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
	3V-CC-429	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
	3V-IA-508A	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
	3V-IA-508B	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
原子炉格納容器隔離弁駆動部 その他の弁	1式	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	52M～182M 13M～182M		
原子炉格納施設「原子炉格納容器」 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検 4. 簡易点検 (グランドハシキン取 替)	高・低	B 78M～260M 26/39M*	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	*原子炉格納容器局部漏え い率検査の実施時期にあわ せて実施
原子炉格納施設「原子炉格納容器」 その他の弁駆動部	1式					
原子炉格納施設「原子炉格納容器」 その他機器	1式					

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	原子炉格納容器スプレイ系	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、 弁駆動部等含む) 2.機能・性能試験 3.機能・性能試験 監視等含む)	高	1F	原子炉格納容器安全系機能 検査	
		1.F その他原子炉注水系機能検 査	1F		〔対象設備〕 ・A格納容器スプレイポン プによる代替炉心注入系 16回施設定検から設定	
		6M 運動中の主要機器機能検査	6M		〔対象設備〕 ・A, B格納容器スプレイ ポンプ	プラント運転中 (振動診断: 3M)
	A格納容器スプレイポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (メカニカルシール取 替) 4.簡易点検 (潤滑油入替) 5.簡易点検 (潤滑油入替)	高	130M	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 原子炉格納容器安全系ポン プ分解検査	前回は、格納容器スプレイ 系ポンプ分解検査として実 施 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定檢 から設定
		91M			有効性評価 No. 21 の反映	
		130M				
		26M				
		26M				
	B格納容器スプレイポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (メカニカルシール取 替) 4.簡易点検 (潤滑油入替) 5.簡易点検 (潤滑油入替)	高	130M	原子炉格納容器安全系ポン プ分解検査	〔振動診断: 3M〕 前回は、格納容器スプレイ 系ポンプ分解検査として実 施
		91M			有効性評価 No. 21 の反映	
		130M				
		26M				
		26M				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	A 格納容器アブレイ冷却器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M	1次系熱交換器検査	
	B 格納容器アブレイ冷却器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M	1次系熱交換器検査	
		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M	1次系熱交換器検査	
原子炉格納容器アブレイ系主要弁 3V-CP-024A	3V-CP-024B	1. 分解点検	高	78M	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	前回は、原子炉格納容器アブレイ系主要弁分解検査として実施
	3V-CP-054A	1. 分解点検	高	78M	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	前回は、原子炉格納容器アブレイ系主要弁分解検査として実施
	3V-CP-054B	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	前回は、原子炉格納容器アブレイ系主要弁分解検査として実施
原子炉格納容器アブレイ系主要弁駆動部 1式	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	182M	13M～182M		
	1. 開放点検	高	130M			
	1. 分解点検 1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、ダンバ駆動部等含む)	高	130M	1次系真空破壊弁検査		
よう素除去薬品タンク よう素除去薬品タンク真空逃げ弁 2台	1. 分解点検	高	1F	アニユラス循環排気系機能検査		
アニユラス空気浄化系	1. 分解点検 (ファン) 2. 分解点検 (電動機)	高	B			
				130M		
A アニユラス空気浄化ファン・電動機	1. 分解点検 (ファン) 2. 分解点検 (電動機)	高	B			
				130M		
B アニユラス空気浄化フィルタユニット A, B アニユラス空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ) 2. 開放点検 (フィルタ取替)	高	1F	アニユラス循環排気系フィルター性能検査	(電動機 振動診断 : 1M) 有効性評価 No. 5 の反映	
			X*			
A アニユラス空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 差圧計測 2. 開放点検	高	1F	1次系換気空調設備検査	(電動機 振動診断 : 1M) A 系、B 系交互に実施	
				260M		
B アニユラス空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 差圧計測 2. 開放点検	高	1F	1次系換気空調設備検査	X* : 機能・性能試験結果により適宜実施	
				260M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	可燃性ガス濃度制御系主要弁 3V-VS-102A 3V-VS-102B	1. 分解点検	高	65M 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査は、16回施設定 検から設定
	3V-VS-103A 3V-VS-103B	1. 分解点検	高	65M 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査は、16回施設定 検から設定
静的触模式水素再結合装置	5個	1. 機能・性能試験 2. 外観点検 (触媒ブレーブ) 3. 外観点検 (本体)	高	5F 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査は、16回施設定 検から設定
原子炉格納容器水素燃焼装置	14個	1. 外観点検 2. 絶縁抵抗測定 3. 抵抗測定 4. 機能・性能試験 (シーケンス試験)	高	1F 1F 1F 1F	原子炉格納容器水素再結合 装置機能検査	16回施設定検時に設置
静的触模式水素再結合装置 温度監視装置		1. 特性試験	高	13M	計測制御系監視機能検査	16回施設定検時に設置
原子炉格納容器水素燃焼装置 温度監視装置 〔その他〕 安全設備	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランドパッキン取替)	高・低	B 10M~130M 78M~130M	計測制御系監視機能検査 1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	16回施設定検時に設置
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高	B 182M 13M~182M	1次系弁検査	16回施設定検時に設置
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕 その他機器	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	高	10F 130M		
その他AN(格納容器器内注水) 機器		1. 分解点検他	高	130M	1次系逆止弁検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
原子力設備 [その他設備]	クラス 1 機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス 2 機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y 1F 查 查	クラス 1 機器供用期間中検査 クラス 1 機器供用期間中検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-1]
	クラス 2 機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス 2 機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y 10Y 查 查	クラス 2 機器供用期間中検査 クラス 2 機器供用期間中検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-2]
	クラス 3 機器 (供用期間中検査対象)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y 10Y 查 查	クラス 3 機器供用期間中検査 クラス 3 機器供用期間中検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-3]
クラス 1 機器 Ni 基合金使用部位 (重大事故等クラス 2 機器供用期間中検査対象含む)	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	5Y 供用期間中特別検査のうち クラス 1 機器 Ni 基合金使用 部位特別検査	クラス 1 機器 Ni 基合金使用 部位特別検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-4]
クラス 2 管 (原子炉格納容器内) (重大事故等クラス 2 機器供用期間中検査対象含む)	1式	1. 非破壊試験	高	25%/10Y 供用期間中特別検査のうち クラス 2 管 (原子炉格納容器 内) 特別検査	クラス 2 管 (原子炉格納容器 内) 特別検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-5]
重大事故等クラス 2 機器	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	5~10Y 重大事故等クラス 2 機器供 用期間中検査	重大事故等クラス 2 機器供 用期間中検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-6]
重大事故等クラス 3 機器	1式	1. 漏えい試験	高	10Y 重大事故等クラス 3 機器供 用期間中検査	重大事故等クラス 3 機器供 用期間中検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-7]
クラス 3・クラス 4 の配管等	1式	1. 外観点検	高	100%/10Y 構造健全性検査	構造健全性検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-8]
R C P B のベント・ドレン弁シート部	1式	1. 漏えい試験	高	13M 1F レストレスント検査	レストレスント検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-9]
1 次冷却材管ホイップストレインント	84箇所	1. 外観点検	高	1F レストレスント検査	レストレスント検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-10]
主蒸気配管ホイップストレインント	4箇所	1. 外観点検	高	1F レストレスント検査	レストレスント検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-11]
主給水配管ホイップストレインント	10箇所	1. 外観点検	高	1F レストレスント検査	レストレスント検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-12]
原子力設備 「その他設備」 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランドハッキン取 替)	高・低	65M~260M 78M~130M 1 次系弁検査	1 次系弁検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-13]
原子力設備 「その他設備」 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高・低	B 65M~130M 13M~130M 1 次系弁検査	1 次系弁検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-14]
原子力設備 「その他設備」 その他の機器	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高	13M~130M 13M~130M 耐震健全性検査	耐震健全性検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-15]
原子力設備・タービン設備 [その他設備]	1式	1. 外観点検	高	100%/10Y 1 次系弁検査	1 次系弁検査	ISI プログラムによる。 [参考資料 1 別紙-16]

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目			保全の重要度 又は頻度	保全方式 蒸気タービン開放検査	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
		1.開放点検	2.組立状況点検	3.簡易点検			
蒸気タービン 〔車室、円板、隔板、噴口、翼、 車軸〕	高圧タービン	1.開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検		26M	蒸気タービン開放検査		
		3.簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M			
第1 低圧タービン		1.開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		2.外観点検		2F	蒸気タービン開放検査		
		3.簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M			
第2 低圧タービン		1.開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		2.外観点検		2F	蒸気タービン開放検査		
		3.簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M			
第3 低圧タービン		1.開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		2.外観点検		2F	蒸気タービン開放検査		
		3.簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M			
ロータライメント		1.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		2.外観点検	高	1F	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
調速装置および非常用調速装置	1 主蒸気止め弁 MSV-1	1.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
2 主蒸気止め弁	MSV-2	1.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
3 主蒸気止め弁	MSV-3	1.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
4 主蒸気止め弁	MSV-4	1.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
1 蒸気加減弁	GOV-1	1.開放点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
2 蒸気加減弁	GOV-2	1.開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
3 蒸気加減弁	GOV-3	1.開放点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
4 蒸気加減弁	GOV-4	1.開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
A 1 再熱蒸気止め弁	A1-RSV	1.開放点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
A 2 再熱蒸気止め弁	A2-RSV	1.開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
A 3 再熱蒸気止め弁	A3-RSV	1.開放点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
B 1 再熱蒸気止め弁	B1-RSV	1.開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
B 2 再熱蒸気止め弁	B2-RSV	1.開放点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
B 3 再熱蒸気止め弁	B3-RSV	1.開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		2.組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		1.開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔調速装置及び非常制御装置並びに調速装置で制御される主要弁〕	A 1 インターセブト弁 A 2 インターセブト弁 A 3 インターセブト弁 B 1 インターセブト弁 B 2 インターセブト弁 B 3 インターセブト弁	A1-ICV A2-ICV A3-ICV B1-ICV B2-ICV B3-ICV	1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検	高 高 高 高 高 高	26M 26M 26M 26M 26M 26M	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
蒸気タービン 〔復水器〕	復水・循環水系	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	蒸気タービン附属設備機能 検査	
復水器		1.開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査	
復水器 1 A		1.開放点検 (非破壊試験) 2.開放点検 (漏えい試験)	高	78M		
復水器 2 A		1.開放点検 (非破壊試験) 2.開放点検 (漏えい試験)	高	78M		
復水器 3 A		1.開放点検 (非破壊試験) 2.開放点検 (漏えい試験)	高	78M		
蒸気タービン 〔復水器〕	復水器 1 B					
復水器 2 B		1.開放点検 (非破壊試験) 2.開放点検 (漏えい試験)	高	78M		
復水器 3 B		1.開放点検 (非破壊試験) 2.開放点検 (漏えい試験)	高	78M		
△循環水ポンプ・電動機		1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易導入装置点検 (ポンプ)	高 65M 26M	52M 65M 26M		
B 循環水ポンプ・電動機		1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易導入装置点検 (ポンプ)	高	52M 65M 26M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備 (振動診断技術)
蒸気タービン 〔復水器〕	A 復水器真空ポンプ・電動機  B 復水器真空ポンプ・電動機  A 復水ポンプ・電動機  B 復水ポンプ・電動機  C 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)  1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)  1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)  1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)  1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)	高 高 高 高 高	52M 78M 52M 78M 39M		(振動診断 : 6M)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕	1式 その他機器 A 量分分離加熱器 (胴側) A 量分分離加熱器 B 湿分分離加熱器 (胴側) B 湿分分離加熱器	1. 分解点検他 2. 分解点検他 1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験 1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験 1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験 1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	低 高 高 高 高 高 高 高 高	13M～260M 13M～130M 26M 130M 130M 130M 130M 130M		一部BMあり
A 第 1 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M	蒸気タービン開放検査	
B 第 1 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M	蒸気タービン開放検査	
A 第 2 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M	2 次系熱交換器検査	
B 第 2 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M	2 次系熱交換器検査	
C 第 2 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M	2 次系熱交換器検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕	A第3低圧給水加熱器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	65M 130M	2次系熱交換器検査	
	B第3低圧給水加熱器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	65M 130M	2次系熱交換器検査	
	A第4低圧給水加熱器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	65M 130M	2次系熱交換器検査	
	B第4低圧給水加熱器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	65M 130M	2次系熱交換器検査	
	A第5低圧給水加熱器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	65M 130M	2次系熱交換器検査	
	B第5低圧給水加熱器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	65M 130M	2次系熱交換器検査	
	脱気器タンク	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	65M 130M	2次系熱交換器検査	
	A脱気器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	39M 39M	2次系容器検査	
	B脱気器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	39M 39M	2次系容器検査	
	A第7高圧給水加熱器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	39M 130M	2次系熱交換器検査	
	B第7高圧給水加熱器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	130M 130M	2次系熱交換器検査	
	グランド蒸気復水器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	65M 130M	2次系熱交換器検査	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水設備並びに給水処理 設備〕	給水、復水系	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F 65M	蒸気タービン附属設備機能 検査	
	Aタービン動主給水ポンプ・タービン	1.機能・性能試験 (タービン) 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (タービン) (ポンプ)	高	B 52M 52M	2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査	
	Aタービン動主給水ポンプアースタボンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (ポンプ)	高	52M 78M 13M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ボンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	B タービン動主給水ポンプ・タービン	1.機能・性能試験 (タービン) 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (タービン)	高	B 52M	2次系ポンプ機能検査 52M	
	B タービン動主給水ポンプースタポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (ポンプ)	高	52M 78M	2次系ポンプ分解検査 13M	
	電動主給水ポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機)	高	130M 52M	2次系ポンプ分解検査 78M	
	電動主給水ポンプースタポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (ポンプ)	高	78M	2次系ポンプ分解検査 78M	
	A 復水ブースタポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (ポンプ)	高	78M 13M	78M	
	B 復水ブースタポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (ポンプ)	高	78M 13M	78M	
	C 復水ブースタポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ) 2.分解点検 (電動機) 3.簡易点検 (ポンプ)	高	78M 78M	78M	
	3 A 復水ろ過器	1.開放点検 (ポンプ)	高	65M	2次系容器検査 65M	有効性評価 No.24 の反映
	3 B 復水ろ過器	1.開放点検	高	65M	2次系容器検査 130M	有効性評価 No.24 の反映
	3 A 復水脱盐塔	1.開放点検	高	130M	2次系容器検査 130M	
	3 B 復水脱盐塔	1.開放点検	高	130M	2次系容器検査 130M	
	3 C 復水脱盐塔	1.開放点検	高	130M	2次系容器検査 130M	
	3 D 復水脱盐塔	1.開放点検	高	130M	2次系容器検査 130M	
	3 E 復水脱盐塔	1.開放点検	高	130M	2次系容器検査 130M	
	3 F 復水脱盐塔	1.開放点検	高	130M	2次系容器検査 130M	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	蒸気タービン〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M～15M 13M～13M		一部BMあり
その他機器		1. 開放点検 2. 非破壊試験	高	13M 肉厚管理指針による	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
主な配管 (主蒸気系統・抽氣系統・ドレンシステム)	主な配管 (主蒸気系統・抽氣系統・ドレンシステム)	1. 外観点検＊ 2. 非破壊試験	高	10V 肉厚管理指針による	2次系配管検査 2次系配管検査	施設定檢起動後
2次系配管等＊ (上記「蒸気タービン主な配管」以外の主蒸気系統・給水系統・抽氣系統・ドレン系統・復水系統・その他の系統) ＊:配管のほか、タービン、ポンプ、熱交換器、弁等を含む	1式	1. 外観点検＊ 2. 非破壊試験	高・低	10V 肉厚管理指針による	2次系配管検査 2次系配管検査	施設定檢起動後
蒸気タービン 〔その他の設備〕	蒸気タービン〔その他の設備〕	1. 保安装置点検 2. 負荷点検	高 IF		蒸気タービン性能検査 総合負荷性能検査	一部施設定檢起動後
その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検 4. 簡易点検 (グランドハウツキン取替)	高・低 B 高 低	13M～26M 13M～26M 52M～13M	2次系安全弁検査	施設定檢起動後
蒸気タービン 〔その他の弁駆動部〕	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 4. 特性点検	高・低 IF IF IF	52M～182M 13M～182M		有効性評価 No. 15 の反映
蒸気タービン 〔その他の弁機器〕	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M～13M 12M～26M		有効性評価 No. 16 の反映
その他AM(格納容器内注水)機器	1式	1. 分解点検他	高	12M～182M	1次系弁検査	一部BMあり プラント運転中又は施設定停止中
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	2台	1. 機能・性能試験	IF	IF	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)
非常用炉心冷却設備作動信号及び原子炉ディーゼル発電機に電源を求める機器	46台	1. 機能・性能試験	高	IF	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)

機器又は系統名 〔非常用発電装置〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	Aディーゼル発電機	1. 分解点検他	高	13M～10M		
	Aディーゼル機関	1. 分解点検他	高	13M～15M		
	Aディーゼル機関のピストン、ビストン 連接棒、クラシク軸	No. 1, 9 No. 2, 10 No. 3, 11 No. 4, 12 No. 5, 13 No. 6, 14 No. 7, 15 No. 8, 16	1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検	高 高 高 高 高 高 高 高	13M 13M 13M 13M 13M 13M 13M 13M	非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査
	Aディーゼル機関のシリンダカバーハード	No. 1-4, 9-12 No. 5-8, 13-16	1. 分解点検 1. 分解点検	高 高	26M 26M	非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査
	Aディーゼル機関の吸気弁	No. 1-4, 9-12 No. 5-8, 13-16	1. 分解点検 1. 分解点検	高 高	26M 26M	非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査
	Aディーゼル機関の排気弁	No. 1-4, 9-12 No. 5-8, 13-16	1. 分解点検 1. 分解点検	高 高	26M 26M	非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査
	Aディーゼル機関の燃料噴射弁	No. 1-4, 9-12 No. 5-8, 13-16	1. 分解点検 1. 分解点検	高 高	26M 26M	非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査
Bディーゼル発電機		1. 分解点検他	高	13M～10M		
Bディーゼル機関		1. 分解点検他	高	13M～15M		
Bディーゼル機関のピストン、ビストン 連接棒、クラシク軸	No. 1, 9 No. 2, 10 No. 3, 11 No. 4, 12 No. 5, 13 No. 6, 14 No. 7, 15 No. 8, 16	1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検	高 高 高 高 高 高 高 高	13M 13M 13M 13M 13M 13M 13M 13M	非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査 非常用ディーゼル発電機分 分解査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	Bディーゼル機関のシリンダカバー	No. 1~4, 9~12 1. 分解点検	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	No. 5~8, 13~16 1. 分解点検	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
	No. 1~4, 9~12 1. 分解点検	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
	No. 5~8, 13~16 1. 分解点検	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
	No. 1~4, 9~12 1. 分解点検	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
	No. 5~8, 13~16 1. 分解点検	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
	No. 1~4, 9~12 1. 分解点検	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
	No. 5~8, 13~16 1. 分解点検	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
Bディーゼル機関の燃料噴射弁						
	1式	1. 外観点検 2. 分解点検 3. 開放点検 4. 非破壊試験 5. 漏えい試験 6. 機能・性能試験 7. 特性試験	高	1F 26M~130M 26M~130M 13M 13M 1F 13M	非常用予備発電機付属設備 検査 非常用予備発電機付属設備 検査 非常用予備発電機付属設備 検査 非常用予備発電機付属設備 検査 非常用予備発電機付属設備 検査	
空冷式非常用発電装置	2台	1. 機能・性能試験 2. 取替他	高	1F 120M	その他非常に発電装置の機能検査 その他非常に発電装置の付属設備検査 有効性評価 No. 17 の反映	
電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)	3台	1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査	16回施設定検時に設置
電源車 (緊急時対策所用)	3台	1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査	16回施設定検時に設置
電源車 (緊急時対策所用 (D B) )	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査	16回施設定検時に設置
電源車	3台	1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査	16回施設定検時に設置
重油タンク	2台	1. 開放点検	高	10Y		プラント運転中又は施設定 検停止中
タンクローリー	3台	1. 機能点検	高	1Y		16回施設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用 発電装置]	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低 26M~130M	B 13M~130M	非常用予備発電機付属設備 検査	16回施設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用 発電装置]		1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 13M~130M	低 13M~130M		
その他機器						

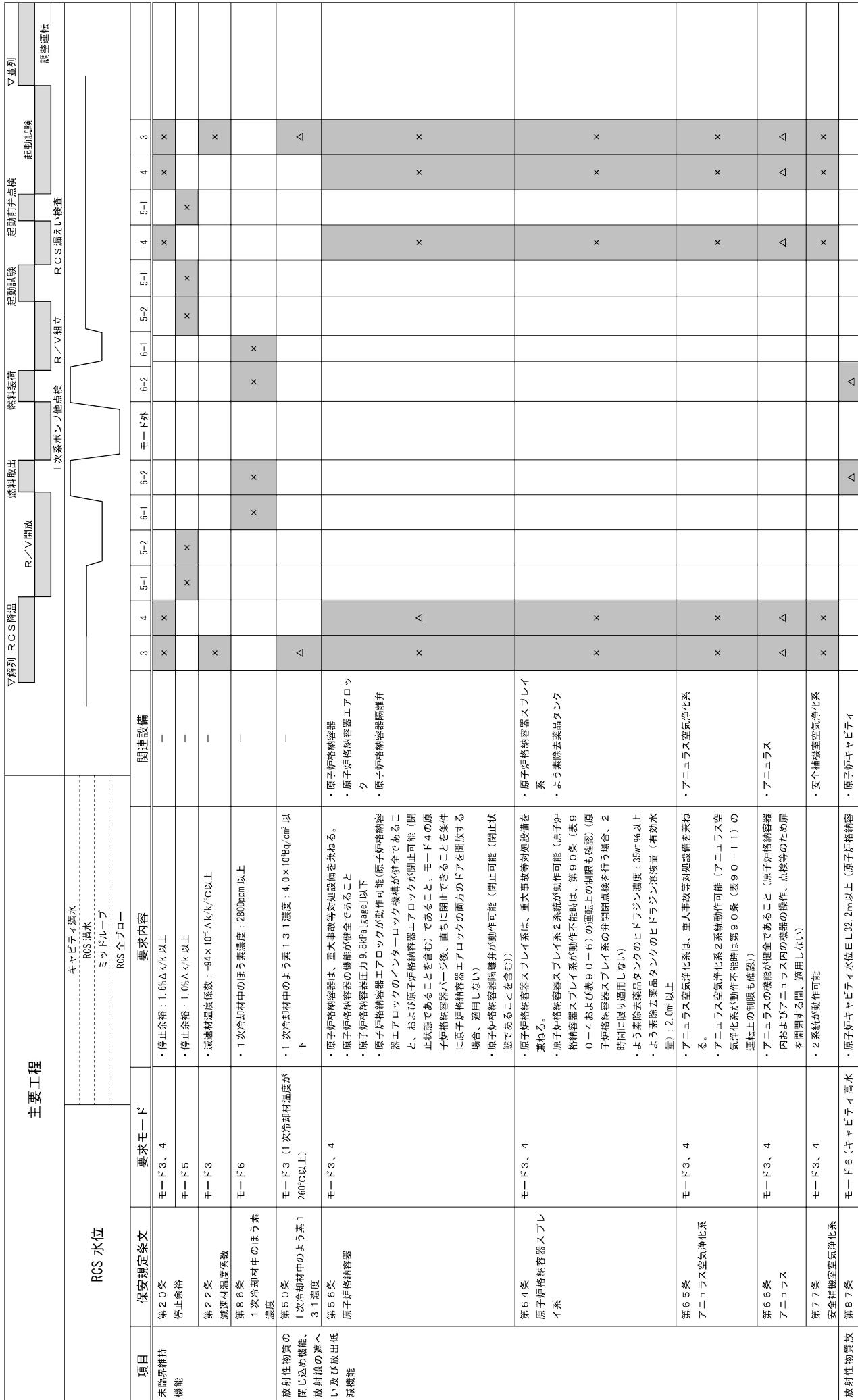
機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔その他の電源装置〕	直流電源装置蓄電池 2組 (60個／組) 4台	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験	高 高	1F 1F	直流電源系機能検査 直流電源系作動検査 インバータ機能検査	
可搬型整流器 1式	1. 分解点検 1. 外観点検	高 高	26M IF			
可搬型整流器 2個	2. 電圧測定 2. 電圧測定	IF IF				16回施設定検時に設置
可搬型バッテリ (加工器逃がし弁用) 2個	1. 外観点検 2. 電圧測定	高 IF				16回施設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設「その他 の電源装置」 その他機器 1式	1. 分解点検 2. 分解点検	高 低	13M～52M 13M～52M			
その他発電用原子炉の附属施設 〔常用電源設備〕 発電機設備 1式	1. 分解点検 1. 分解点検	高 高	13M～10M 13M～15M			
変圧器設備 1式	1. 分解点検 1. 分解点検	高・低 高・低	13M～15M 52M～216M			
しゃ断器 1式	1. 分解点検 2. 分解点検	IF IF	6M～15M			
その他発電用原子炉の附属施設 〔常用電源設備〕 その他機器 1台	1. 分解点検 2. 分解点検 (ボンブ)	高 高	13M～13M 1Y			
その他発電用原子炉の附属施設 〔常用電源設備〕 電動消火ポンプ・電動機 1台	3. 分解点検 (電動機)		10Y 6Y			
消防水ハックアップポンプ 2台	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ボンブ)	低	B*	火災防護設備検査 130M		B* : ボンブまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 16回施設定検時に設置
煙等流入防止装置 1式	3. 分解点検 (電動機)		130M			
その他発電用原子炉の附属施設 〔火災防護設備〕 その他機器 1式	1. 機能・性能試験 1. 分解点検 (ボンブ)	低	1Y～10Y IF			16回施設定検時に設置
浸水防止蓋 壩、浸水防止堰、伝播防止堰 1式	1. 外観点検 1. 外観点検	高 高	1F 10Y			16回施設定検時に設置
水密扉 1式	1. 外観点検	高	1Y			16回施設定検時に設置
潮位計 2台	1. 機能・性能試験	高	IF～4F	計測制御系監視機能検査 (1台)		16回施設定検時に設置 は、17回施設定検から実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	( ) 内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕	津波監視カメラ 2台 △湧水サンプルポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 取替	高 低	1F B*	浸水防護設備検査 5Y B*	16回施設定検時に設置 B*: 取替にあわせて実施 プラント運転中又は施設設定 検停止中 ポンプ・電動機一体型ポンプ 16回施設定検から設定
B湧水サンプルポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 取替	低	5Y B*	浸水防護設備検査 5Y B	16回施設定検時に設置 B*: 取替にあわせて実施 プラント運転中又は施設設定 検停止中 ポンプ・電動機一体型ポンプ 16回施設定検から設定	
その他送電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低 高・低	130M B	浸水防護設備検査 130M B	浸水防護設備検査には、 17回施設定検から設定
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低 高・低	182M B	浸水防護設備検査 182M B	浸水防護設備検査には、 17回施設定検から設定
その他送電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕 その他機器	1式	1. 外観点検 106個	高・低 高	1F～10F 6M	16回施設定検時に設置 16回施設定検時に設置 1. 外観点検	16回施設定検時に設置 16回施設定検時に設置 1. 外観点検
その他送電用原子炉の附属施設 〔輸機駆動用燃料設備〕	1式	1. 外観点検	高	2Y 2Y	1. 外観点検	1. 外観点検
その他送電用原子炉の附属施設 〔非常用取水設備〕	1式	1. 外観点検	高	1Y 1F	1. 外観点検	1. 外観点検
土木建築設備	原原子炉建屋 (格納容器内壁) 原原子炉建屋 (格納容器外壁、格納容器 外) 取水口設備	1. 外観点検 1. 外観点検 1. 外観点検	高 高 高	1F 1Y 1F	1. 総合性能試験 1. 総合性能試験	16回施設定検時に設置 16回施設定検時に設置 16回施設定検時に設置 1. 分解点検他
プラント総合	原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く)	1. 分解点検他	低	6M～168M	総合負荷性能検査	施設定検から起動後
全般機器	○					プラント運転中又は施設設定 検停止中

別図

## 施設定期検査時の安全管理の計画

## 施設定期検査時の安全管理の計画



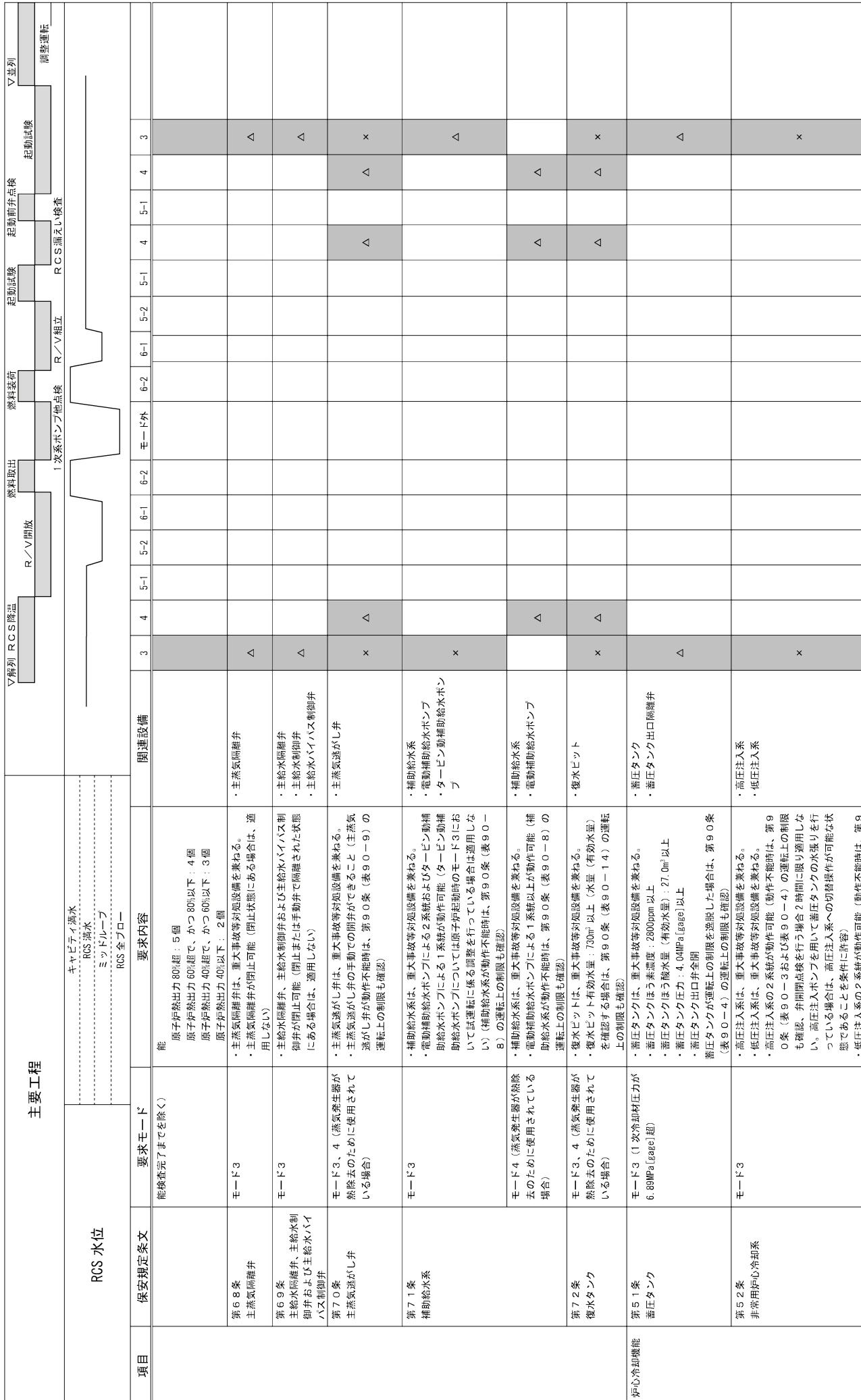
## 施設定期検査時の安全管理の計画

## 施設定期検査時の安全管理の計画

(3/25)

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備												起動試験	起動前弁点検	起動試験	起動試験	△並列
				3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	5-1	4	5-1	4					
RCS 水立	キヤビティ灌水 RCS 流水 ミッセルーブ RCS 全プロー	モード4	目的にモード4に加熱する場合は、蒸気発生器1基以上 の水位（液面）が計器パネルの5%以上であることを条件に全ての余熱除去系を隔離することを許容。 ・他の余熱除去が動作可能または運転中であるか、2基以上の蒸気発生器の水位（液面）が計器パネルの5%以上であることを（計画的にモード4に加熱する場合は、蒸気発生器1基以上の水位（液面）が計器パネルの5%以上であることを条件に全ての余熱除去系を隔離することを許容）																	
第40条 1次冷却系	モード5-2		・余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・余熱除去系（余熱除去系が動作不能時は、第90条（表9-0-4）の運転上の制限も含む）2系統が動作可能であり、そのうち1系統以下が運転中（1次冷却材ポンプによる1次冷却系空気抜きを行う場合は2時間に限り全ての余熱除去系を隔離することを許容）。 ・ポンプの切替を行う場合は、a.b.c の全てを満足させることを条件に15分に限り全ての余熱除去ポンプを停止することを許容。 a. 炉心出口温度が飽和温度より5.6°C以上下回るよう維持されていること。 b. 1次冷却材中のほう素濃度が低下する操作が行われていないこと。 c. 1次冷却系水量低下につながる操作が行われていないこと。																	
第41条 1次冷却系	モード6-2		・余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・余熱除去系が動作不能時は、第90条（表9-0-4）の運転上の制限も含む）1系統以上運転中（1次冷却材中のほう素濃度を低下させる操作を行わないことを条件に8時間あたり1時間に限り余熱除去ポンプを停止することを許容） ・1次冷却材温度 65°C以下																	
第42条 1次冷却系	モード6-1		・余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・余熱除去系（余熱除去系が動作不能時は、第90条（表9-0-4）の運転上の制限も含む）2系統動作可能であり、そのうち1系統以上運転中（キャビティ水張りおよび水抜きを行っている場合は余熱除去系への切替操作が可能であること、および他の1系統が運転中であることを条件に1系統を隔離することを許容）																	
第67条 主蒸気安全弁	モード3 (原子炉起動時のモード3から主蒸気安全弁機)		・主蒸気安全弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・主蒸気安全弁が蒸気発生器毎に下記の回数以上動作可																	△

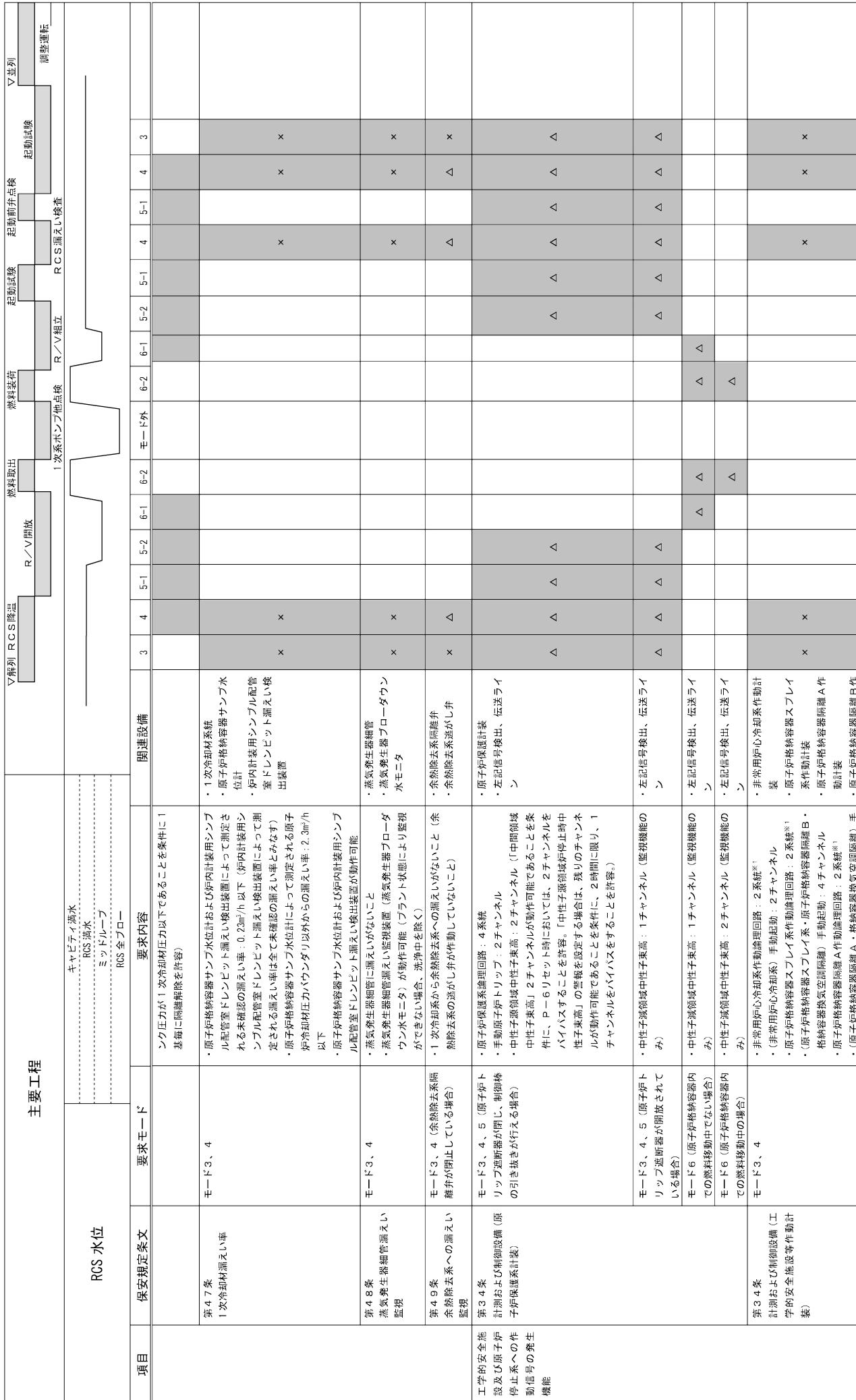
## 施設定期検査時の安全管理の計画



## 施設定期検査時の安全管理の計画

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備												燃料取扱		燃料取扱試験		起動前弁点検		起動試験		起動運転		△並列 △並列
				3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	モード外	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	△	△	△	△	△		
第5.3条 非常用原子炉冷却系	モード4	0条(表9.0-4)の運転上の制限も確認、弁開閉点検を行う場合(2時間に限り適用しない)	・高压注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・充てん系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・低压注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・高压注入系または充てん系、1系統以上が動作可能(動作不能時は、第9.0条(表9.0-3および表9.0-4)の運転上の制限も確認、弁開閉点検を行う場合2時間に限り適用しない)。 ・低压注入系、1系統以上が動作可能(動作不能時は、第9.0-4の運転上の制限も確認、弁開閉点検を行う場合2時間に限り適用しない。余然除去手段を用いて余熱除去運転を行っている場合は低压注入系への切替操作が可能であることを条件に許容)	・高压注入系 ・充てん系 ・低压注入系																						
第5.4条 燃料取替用水タンク	モード3、4	・燃料取替用水ピットは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・燃料取替用水ピット(通常水温:2800ppm以上)は、第9.0条(表9.0-1-4)の運転上の制限を逸脱した場合は、第9.0条(表9.0-1-4)の運転上の制限も確認	・燃料取替用水ピット(通常水温:1850ppm以上) ・燃料取替用水ピット(通常水温:1850ppm以下)																							
第3.6条 原子炉冷却材 圧力バランダ リ機能	モード3	通常の1次冷却系の加熱・冷却時(原子炉起動、原子炉停止(異常時を除く)、1次冷却材温度・圧力の変化率による)、1次冷却材温度・圧力の変化率(原子炉容器、原子炉容器、1次冷却材温度変化率、加熱時:55°C/h以下、1次冷却材温度変化率:110°C/h以下)から終了まで)	・1次冷却材温度・圧力が原子炉容器の非活性破壊防止のための1次冷却材温度・圧力の制限範囲内。 ・1次冷却材温度変化率(原子炉容器:55°C/h以下、1次冷却材温度変化率:110°C/h以下)																							
第4.3条 加圧器	モード3	・加圧器水位が計器スパンの94%以下 ・所内非常用母線から受電している加圧器ヒータ2系統が動作可能	・加圧器ヒータ ・加圧器ヒータ																							
第4.4条 加圧器安全弁	モード3、4 (1次冷却材温度130°C起)	・加圧器安全弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。	・加圧器安全弁	△																	△	△				
第4.5条 加圧器逃がし弁	モード3	・加圧器逃がし弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・加圧器逃がし弁が動作可能(動作不能時は、第9.0条(表9.0-3)の運転上の制限も確認)	・加圧器逃がし弁 ・加圧器逃がし弁元弁	×																						
第4.6条 低温過加圧防護	モード4 (1次冷却材温度130°C以下だし加圧器逃がし弁が低圧設定になるまでの間除く)、モード5、6(原子炉容器のふたが開められている場合)	・2台の加圧器逃がし弁が低圧設定で動作可能であり、2台の加圧器逃がし弁元弁が開放状態。または1台以上の加圧器安全弁が取り外されている。 ・動作可能な高圧注入ポンプが1台以下および ・蓄圧タンクが全基隔離されていること(1次冷却材の水張りを行う場合、1基毎に隔壁を解除することを許容。蓄圧タンク出口弁の開閉確認を行う場合、蓄圧タ	・加圧器逃がし弁 ・加圧器安全弁 ・蓄圧タンク出口隔壁弁	△	×	×	△													△	×	×	△	△		

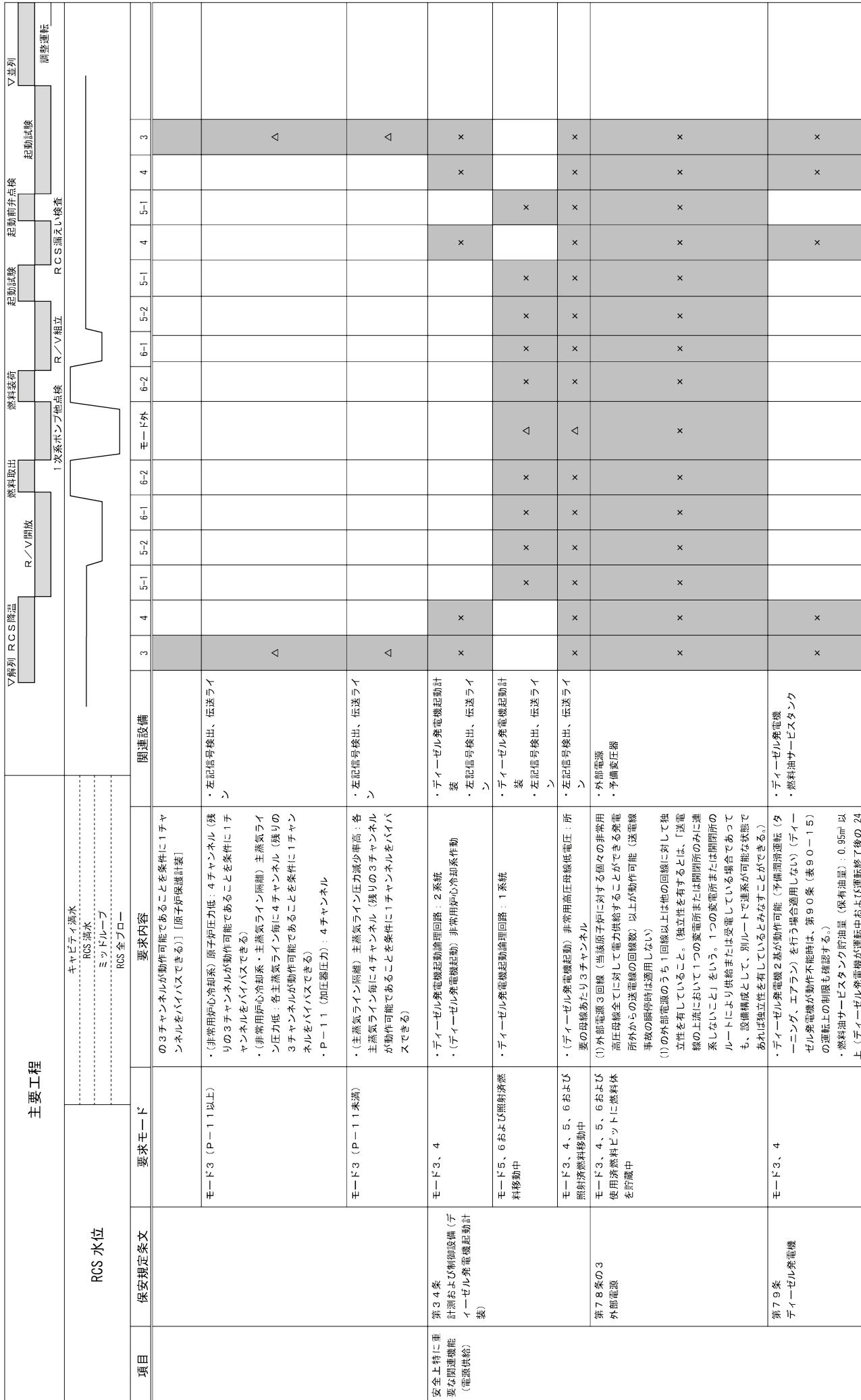
## 施設定期検査時の安全管理の計画



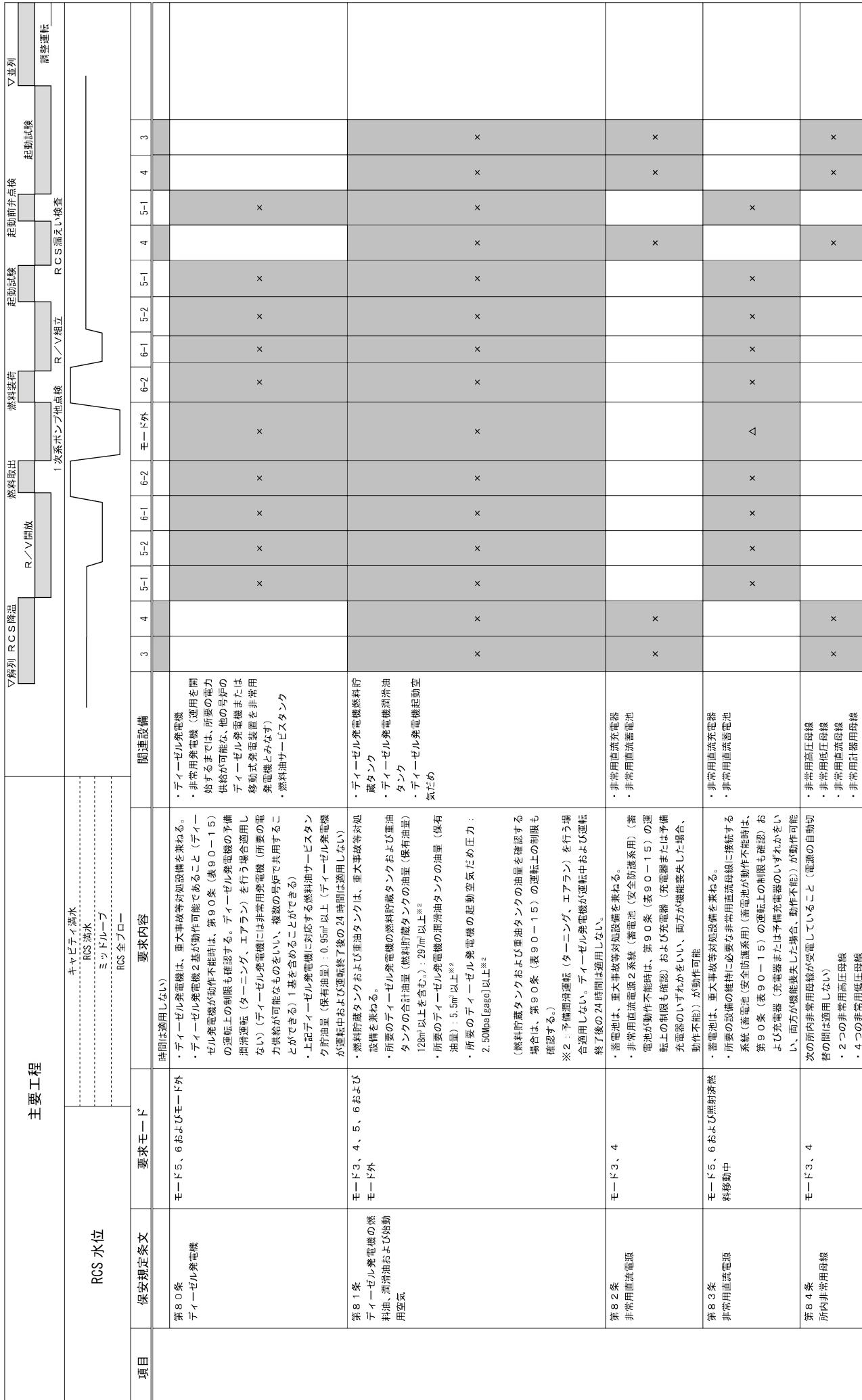
## 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程	項目	保安規定条文	要求モード	要求内容												関連設備	燃料取出	燃料装荷	起動前点検	起動試験	RCS漏えい検査	△並列 調整運転
				RCS降温	R/V開放	1次系ポンプ他点検	R/V組立	RCS漏えい検査	起動前点検	起動試験	RC漏えい検査	△並列 調整運転										
RCS水位		キャビティ漏水 RCS満水 ミッドループ RCS全フロー	動起動：2チャンネル 原子炉格納容器隔離A) 非常用炉心冷却系作動 原子炉格納容器隔離B)作動論理回路：2系統※： よる隔離動作動論理回路、2系統※： ・(原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号)に による隔離 Aと非常用高圧母線低電圧信号 による隔離) 原子炉格納容器隔離A ・(原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号 による隔離) 非常用高圧母線低電圧：1母線あたり3 チャンネル ・原子炉格納容器換気空調隔離動作動論理回路：2系統※： ・(原子炉格納容器換気空調隔離) 非常用炉心冷却系作 動 ※ 1：原子炉保護系論理回路の機能検査時において残り 1系統が動作可能であることを条件に2時間に限り1 系統ハイパスすることができる。(本表において同じ) チャンネル	動計装 ・原子炉格納容器隔離Aと 非常用高圧母線低電圧信号 による隔離動作動論理回路、2系統※： ・(原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号 による隔離) 原子炉格納容器隔離A ・(原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号 による隔離) 非常用高圧母線低電圧：1母線あたり3 チャンネル ・原子炉格納容器換気空調隔離動作動論理回路：2系統※： ・(原子炉格納容器換気空調隔離) 非常用炉心冷却系作 動 ※ 1：原子炉保護系論理回路の機能検査時において残り 1系統が動作可能であることを条件に2時間に限り1 系統ハイパスすることができる。(本表において同じ)	動計装 ・原子炉格納容器隔離Aと 非常用高圧母線低電圧信号 による隔離動作動論理回路、2系統※： ・(原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号 による隔離) 原子炉格納容器隔離A ・(原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号 による隔離) 非常用高圧母線低電圧：1母線あたり3 チャンネル ・原子炉格納容器換気空調隔離動作動論理回路：2系統※： ・(原子炉格納容器換気空調隔離) 非常用炉心冷却系作 動 ※ 1：原子炉保護系論理回路の機能検査時において残り 1系統が動作可能であることを条件に2時間に限り1 系統ハイパスすることができる。(本表において同じ)	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	動計装 ・左記信号検出、伝送ライ ン ×	△			
モード3		主蒸気隔離弁が閉じている場合は除く)	・(全主蒸気隔離弁が 閉じている場合は除く) ・主蒸気ライン隔離動作動論理回路：2系統※： ・主蒸気ライン隔離) 手動起動：2チャンネル ・(主蒸気ライン隔離) 原子炉格納容器隔離常高：4 チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であるこ とを条件に1チャンネルをハイパスできる) ・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力低：各主蒸 气ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネルが動作 可能であることを条件に1チャンネルをハイパスでき る) ・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力減少率高：各 主蒸気ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネル が動作可能であることを条件に1チャンネルをハイ パスできる)	主蒸気ライン隔離動作動論 理回路：2系統※： ・主蒸気ライン隔離) 原子炉格納容器隔離常高：4 チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であるこ とを条件に1チャンネルをハイパスできる) ・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力低：各主蒸 气ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネルが動作 可能であることを条件に1チャンネルをハイパスでき る) ・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力減少率高：各 主蒸気ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネル が動作可能であることを条件に1チャンネルをハイ パスできる)	主蒸気ライン隔離動作動論 理回路：2系統※： ・主蒸気ライン隔離) 原子炉格納容器隔離常高：4 チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であるこ とを条件に1チャンネルをハイパスできる) ・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力低：各主蒸 气ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネルが動作 可能であることを条件に1チャンネルをハイパスでき る) ・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力減少率高：各 主蒸気ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネル が動作可能であることを条件に1チャンネルをハイ パスできる)	主蒸気ライン隔離動作動論 理回路：2系統※： ・主蒸気ライン隔離) 原子炉格納容器隔離常高：4 チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であるこ とを条件に1チャンネルをハイパスできる) ・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力低：各主蒸 气ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネルが動作 可能であることを条件に1チャンネルをハイパスでき る) ・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力減少率高：各 主蒸気ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネル が動作可能であることを条件に1チャンネルをハイ パスできる)	主蒸気ライン隔離動作動論 理回路：2系統※： ・主蒸気ライン隔離) 原子炉格納容器隔離常高：4 チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であるこ とを条件に1チャンネルをハイパスできる) ・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力低：各主蒸 气ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネルが動作 可能であることを条件に1チャンネルをハイパスでき る) ・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力減少率高：各 主蒸気ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネル が動作可能であることを条件に1チャンネルをハイ パスできる)	主蒸気ライン隔離動作動論 理回路：2系統※： ・主蒸気ライン隔離) 原子炉格納容器隔離常高：4 チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であるこ とを条件に1チャンネルをハイパスできる) ・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力低：各主蒸 气ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネルが動作 可能であることを条件に1チャンネルをハイパスでき る) ・主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力減少率高：各 主蒸気ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネル が動作可能であることを条件に1チャンネルをハイ パスできる)	△													
モード3	(全主蒸気隔離弁が 閉じている場合は除く)	給水制御弁、主 給水制御弁、主給水バイパス 制御弁が閉止または隔離さ れている場合は除く)	・給水制御動作動論理回路：2系統※： ・給水隔離) 蒸発器水位異常高：1基あたり4チ ャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であるこ とを条件に1チャンネルをハイパスできる) ・給水隔離) 1次冷却剂平均温度低と原子炉トーチ の一致：1次冷却剂平均温度低と原子炉トーチ (給水隔離)	給水制御動作動論 理回路：2系統※： ・左記信号検出、伝送ライ ン △																		

## 施設定期検査時の安全管理の計画



## 施設定期検査時の安全管理の計画



## 施設定期検査時の安全管理の計画

(10/25)

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備				燃料取出				燃料技官				起動試験				起動前弁点検				起動試験				起動運転			
				3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	5	4	3	5	4	3	5	4	3	5	4	3	
RCS 水立	主要工程	モード5、6 および照射済燃 料移動中	・2つの非常用直流水線 ・4つの非常用計器用母線 所の設備に必要な次の所内非常用母線が受電 していること（電源の自動切替の間は適用しない） ・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流水線 ・非常用計器用母線																												
第 8.5 条 所内非常用母線	モード5、6 および照射済燃 料移動中	モード3、4	・原子炉補機冷却水系は、重大事故等対応設備を兼ねる。 ・原子炉補機冷却水系2系統が動作可能（原子炉補機冷却水系が動作不能時は、第90条（表90-7）の運転上の制限も確認）	・原子炉補機冷却水系 ・原子炉補機冷却水系2系統が動作可能（A原子炉補機冷却水系が動作不能時は第90条（表90-7）の運転上の制限も確認）																											
第 7.3 条 原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水系	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4		
安全上特に重 要な関連機能 （海水系炉地）	第 7.4 条 原子炉補機冷却海水系	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4		
安全上特に重 要な関連機能 （海水系炉地）	第 7.5 条 制御用空気系	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4		
安全上特に重 要な関連機能 （海水系炉地）	第 7.6 条 計測および制御設備（中 央制御室非常用循環系 計装）	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4		
安全上特に重 要な関連機能 （海水系炉地）	第 7.7 条 計測および制御設備（中 央制御室非常用循環系 計装）	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4		
安全上特に重 要な関連機能 （海水系炉地）	第 7.8 条 中央制御室非常用循環系	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4	モード3、4		
制御室外から の安全停止機 能	第 3.4 条 計測および制御設備（中 央制御室原子炉停止 装置）	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3		
制御室外から の安全停止機 能	第 3.4 条 計測および制御設備（中 央制御室原子炉停止 装置）	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3	モード3		

## 施設定期検査時の安全管理の計画

(11/25)

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	開連設備												
				3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	3
RCS 水立	キヤビティ灌水 RCS 流水 ミッヅルーブ RCS プロー	モード3 モード4	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器水位 (広域)</li> <li>主蒸気圧力</li> <li>中性子束 中性子源領域</li> <li>1次冷却材圧力 (広域)</li> <li>1次冷却材温度 (広域) (低温側)</li> <li>余熱除去ポンプ</li> </ul>												x	x
主要工程	△解列 RCS 降溫 R/V 開放 1次系ポンプ他点検 R/V組立 RCS 漏えい検査	モード3 モード4	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器水位 (広域)</li> <li>主蒸気圧力</li> <li>中性子束 中性子源領域</li> <li>1次冷却材圧力 (広域)</li> <li>1次冷却材温度 (広域) (低温側)</li> <li>余熱除去ポンプ</li> </ul>												x	x
事故時のプラント状況把握機能	第3.4条 計測および制御設備 (事故時監視計装)	モード3 モード4	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故時監視計装は、重大事故等対処設備を兼ねる。</li> <li>各計装が動作不能時は、第90条(表90-16)の運転上の制限も確認する。※</li> <li>1次冷却材圧力 (広域) : 2チャンネル</li> <li>1次冷却材温度 (広域) (高温側) : 4チャンネル</li> <li>1次冷却材温度 (広域) (低温側) : 4チャンネル</li> <li>加圧器水位 : 2チャンネル</li> <li>ほう酸タンク水位 : 2チャンネル</li> <li>主蒸気ライン圧力 : 2チャンネル (各ライン)</li> <li>復水ヒット水位 : 2チャンネル</li> <li>蒸気発生器水位 (広域) : 4チャンネル</li> <li>蒸気発生器水位 (狭域) : 2チャンネル (答SG)</li> <li>補助給水流量 : 4チャンネル</li> <li>燃料取替用ピット水位 : 2チャンネル</li> <li>格納容器再循環サンフ水位 (広域) : 2チャンネル</li> <li>格納容器再循環サンフ水位 (狭域) : 2チャンネル</li> <li>格納容器内圧力 : 2チャンネル</li> <li>格納容器内温度 : 2チャンネル</li> <li>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) : 2チャンネル</li> <li>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) : 2チャンネル</li> <li>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) : 2チャンネル</li> <li>原子炉冷却水サーチタンク水位 : 2チャンネル</li> <li>制御用空気圧力 : 2チャンネル (※は適用しない)</li> <li>高压安全注入流量 : 2チャンネル</li> <li>低压安全注入流量 : 2チャンネル</li> </ul>												x	x
重大事故等対応設備	第90条 (表90-3-1) 1次冷却系フィードブリード	モード3 モード4 モード3、4、5および6 モード3、4、5および6	<ul style="list-style-type: none"> <li>モード3および4 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)</li> <li>炉心注水 - 非常用ポンプ 冷却系 -</li> <li>モード3、4、5および6</li> </ul>												△	△
	第90条 (表90-4-1) 炉心注水 - 常圧注入系	モード3、4、5および6 モード3、4、5および6	<ul style="list-style-type: none"> <li>高圧注入系2系統以上動作可能 (ポンプ手動起動 (系統構成含む)) できること</li> <li>加圧器逃がし弁2台による1次冷却系の漏泄系が動作可能</li> <li>高圧注入系が1系統動作可能 (ポンプが手動起動 (系統構成含む)) できること、または運転中であること</li> <li>低圧注入系が1系統動作可能 (ポンプが手動起動 (系統構成含む)) できること、または運転中であること</li> <li>蓄圧ダクト (うちうず) 流量 (有効水量) : 270m<sup>3</sup>以上 (1基あたり)</li> <li>蓄圧タンク圧力 : 4.0 MPa (gage)以上 (モード3 (1次冷却))</li> </ul>												△	△

## 施設定期検査時の安全管理の計画

(12/25)

主要工程		△解列 R C S 降溫		燃料取出		燃料保管		起動試験		起動前弁点検		起動試験		△並列	
		R／V開放	R／V開放	1次系ポンプ他点検	R／V組立	RCS漏えい検査	調整運転								
RCS 水位		キヤビティ漏水 RCS漏水 ミッドレーブ RCS全ブロー													
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-1	6-2	5-1	4	3
			材圧力 6.8MPa [gage] を越える場合]) ・蓄圧ダクタ出口弁全開(手動での開弁および閉弁ができる こと) ・モード3(1次冷却材圧力 6.89MPa [gage] 以下の場合)、 4、5および6において圧力が 1.0MPa [gage] 以上であるこ と。 ・蓄圧タンク4基(モード3(1次冷却材圧力 6.89MPa [gage]) 以下の場合)、4、5および6においては3基) ・日充てんボンブ(自己冷却)による注入系が動作可能であること、または運 転中であるること)												
第90条 (表90-4-3) 代替炉心注水-B光てん ポンブ(自己冷却)による 代替炉心注水- 代替炉心注水-	モード3、4、5および6			・B充てんボンブ(自己冷却)1 台 ・燃料取替用ヒット ・復水ヒット ・全冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-4-4) 代替炉心注水-A光てん ポンブ(自己冷却)による 代替炉心注水- 代替炉心注水- [に本代替炉心注水- 第90条 (表90-4-5) 代替炉心注水-可搬式 代替低圧注水ポンブによる 代替炉心注水- 代替炉心注水- 代替再循環	モード3、4、5および6		・A格納容器スプレポンブ(RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注入系が動作可能(ポンプ手動起動)(系統 構成も)できること)	・可搬式代替低圧注水ポンブ(RH RS-CSS連絡ライン使用) 1台 ・燃料取替用ヒット	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
第90条 (表90-4-6) 代替再循環	モード3、4、5および6		・可搬式代替低圧注水ポンブによる代替炉心注入系系統 が動作可能	・可搬式代替低圧注水ポンブ (可搬式代替低圧注水ポン ブ用電源車含む)1台×2 ・送水車1台×2 ・仮設組立式水槽1台×2 ・軽油ドーム缶 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
			による代替炉心注入系が動作可能(ポンプ手動起動)(系統 構成も)できること) ・日高压注入ポンブ(海水冷却)による高压代再循環系が 動作可能(ポンプ手動起動)(系統構成も)できること)	・A格納容器スプレポンブ(RH RS-CSS連絡ライン使用) 1台 ・A格納容器スプレポンブ(海水 冷却器再循環ポンブ)2基 ・格納容器再循環ポンブ2基 リーン2基 ・日高压注入ポンブ(海水冷 却)1台 ・大容量ポンブ ・全冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

## 施設定期検査時の安全管理の計画

(13/25)

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備		燃料取出	燃料技術	起動試験	起動前弁点検	起動試験	起動運転	▽並列
				△解列 RCS 降圧	R/NV 開放							
RCS 水立	キヤビティ灌水 RCS 流水 ミッヅルーブ RCS 全プロー	モード3 (表90条 (表90-5-1) 加圧器逃がし弁による減 圧)	・要素ボンベ(代替替制御用空気供給用)または可搬式空気 圧縮機代替替制御用空気供給用を使用した加圧器逃がし 弁による1次冷却系の測定系が動作可能 ・可搬型バッテリ(加圧器逃がし弁用)を使用した加圧器逃 がし弁による1次冷却系の測定系が動作可能	・タンクローリー	・タンクローリー (代替替制御用空 気供給用10本(1セット10 本,A系統5本,B系統5本)) ・可搬式空気圧縮機(代替替 制御用空気供給用12台(1セッ ト2台(A系統1台、B系統1 台)) ・可搬型バッテリ(加圧器逃が し弁用)1個 ・空冷式非常用発電装置 ・可搬式整流器 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-6-1) 原子炉格納容器スプレイ	モード3、4、5および6	モード3 (表90-6-1) 原子炉格納容器スプレイ	・原子炉格納容器スプレイ系(ようう素除去薬品タンク除くの 1系統以上が動作可能ボンブ手動起動(系統構成含む)) できること)	・格納容器スプレイボンブ1台 ・燃料取替用水ピット	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-6-2) 代替原子炉格納容器ス プレイ-恒設代替低圧注水ボンブによる代替原子炉格納容器ス プレイ	モード3、4、5および6	モード3 (表90-6-2) 代替原子炉格納容器ス プレイ-恒設代替低圧注 水ボンブによる代替原 子炉格納容器スプレイ	・恒設代替低圧注水ボンブ 系が動作可能	・恒設代替低圧注水ボンブ1 台 ・空冷式非常用発電装置 ・燃料取替用水ピット ・復水ヒット ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-6-3) 代替原子炉格納容器ス プレイ-可搬式代替低圧 注水ボンブによる代替原 子炉格納容器スプレイ	モード3、4、5および6	モード3 (表90-6-3) 代替原子炉格納容器ス プレイ-可搬式代替低圧 注水ボンブによる代替原 子炉格納容器スプレイ	・可搬式代替低圧注水ボンブ スプレイ系2系統が動作可能	・可搬式代替低圧注水ボンブ (可搬式代替低圧注水ボンブ 用電源車含む)1台×2 ・送水車1台×2 ・仮設組立式水槽1台×2 ・軽曲コーム缶 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-7-1) 原子炉補機冷却水系に よる原子炉格納容器内 自然対流冷却	モード3、4、5および6	モード3 (表90-7-1) 原子炉補機冷却水系に よる原子炉格納容器内 自然対流冷却	・原子炉補機冷却水系による原子炉格納容器内自然対流 冷却系が動作可能(ボンブ手動起動(系統構成含む))でき ること、または運転中であること)	・A、D格納容器再循環ユニッ ト2基 ・A、B原子炉補機冷却水ボン ブ2台 ・A原子炉補機冷却水冷却器 1基 ・原子炉補機冷却水サージタ ンク1基 ・要素ボンベ(原子炉補機冷 却水サーナーク加圧用)2 本 ・海水ポンプ1台	×	×	×	×	×	×	×	×

## 施設定期検査時の安全管理の計画

(14/25)

主要工程		要求内容										要求内容									
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容									要求内容									
第90条 (表90-7-2) 大容量ボンブによる原子 炉格納容器内自然対流 冷却および代替補機冷 却	モード3、4、5および6	モード3、4、5および6	・大容量ボンブによる海水供給系(大容量ボンブから海水 管接続口まで)2系統が動作可能	・可搬型温度計測装置(格納 容器再循環ユニット入口溫 度／出口溫度(SA)用) ・大容量ボンブ1台×2(3号 炉および4号炉の合計) ・A、D格納容器再循環ユニッ ト ・燃料油貯藏タンク ・重油タンク ・タクローリー	・可搬型温度計測装置(格納 容器再循環ユニット入口溫 度／出口溫度(SA)用) ・A、D格納容器再循環ユニッ ト ・燃料油貯藏タンク ・重油タンク ・タクローリー	・可搬型温度計測装置(格納 容器再循環ユニット入口溫 度／出口溫度(SA)用) ・B高压注入ポンプ(海水冷 却) ・空冷式非常用発電装置	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
第90条 (表90-8-1) 蒸気発生器2次側による 炉心冷却(注水)	モード3および4(蒸気発生器 が熱除去のために使用されて いる場合)	モード3および4(蒸気発生器 が熱除去のために使用されて いる場合)	・復水ヒットを水源とした動捕助給水ポンプ(2台で1系統 (本表に記載する)による蒸気発生器への給水系(系構成せず)が動作 可能(ポンプ手動起動(系構成せず)できること、または 運転中であること)	・復水ヒットを水源としたターピン動捕助給水ポンプによる蒸 気発生器への給水系1系統が動作可能(ポンプ手動起動 (系構成せず)できること、または運転中であること、原 子炉起動時のモード3において試運転に係る調整を行なっ ている場合)と運転上の制限は適用しない、現場手動によ る起動を含む)	・復水ヒットを水源とした動捕助給水ポンプ1台 ・ターピン動捕助給水ポンプ1台 ・動弁(現場手動操作)1台 ・復水ヒット ・蒸気発生器4基 ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯藏タンク ・重油タンク ・タクローリー	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△				
第90条 (表90-9-1) 蒸気発生器2次側による 炉心冷却(蒸気放出)	モード3および4(蒸気発生器 が熱除去のために使用されて いる場合)	モード3、4、5および6	・主蒸気逃がし弁が手動での開弁ができること(現場手動 含む)	・主蒸気逃がし弁4回	×	△															
第90条 (表90-10-1) 水素濃度低減	モード3、4、5および6	モード3、4、5および6	・静的触媒式水素再結合装置の所要数が動作可能 ・静的触媒式水素再結合装置の所要数が動作可能 ・原子炉格納容器水素燃焼装置の所要数が動作可能 ・原子炉格納容器水素燃焼装置の所要数が2系統の電源 から受電可能 ・原子炉格納容器水素燃焼装置の所要数が 動作可能	・静的触媒式水素再結合装置 5基 ・静的触媒式水素再結合装置 温湿度監査装置5箇 ・原子炉格納容器水素燃焼装置 温湿度監査装置13箇 ・燃料油貯藏タンク ・空冷式非常用発電装置 ・タクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
第90条 (表90-10-2) 水素濃度監視	モード3、4、5および6	モード3、4、5および6	・可搬型格納容器水素ガス濃度監視 系1系統(可搬型格納容器水素ガス濃度計1個、格納容器 水素ガス調節冷却器用可搬型冷却水ポンプ1台、格納容器水素ガス 格納容器水素ガス試料圧縮装置1台、格納容器水素ガス 試料冷却器、燃料容器水素ガス燃料容器水素ガス分離器 台	・可搬型格納容器水素ガス濃 度計1箇 ・格納容器水素ガス試料冷却 器用可搬型冷却水ポンプ1 台	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

## 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程			要求内容	関連設備	起動試験	起動前弁点検	起動試験	△並列
項目	保安規定条文	要求モード	1個ならびに窒素ポンベ(代替制御用空気供給用)1セット または可燃式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)1セット が動作可能	RCS 隔離	R/NV 開放	燃料装置	RCS 漏えい検査	調整運転
				1次系ポンプ他点検	R/NV組立	RCS漏えい検査	RCS漏えい検査	
第90条 (表90-11-1) 水素排出	モード3、4、5および6	・アニュラス空気浄化系の1系統が動作可能(ファン動軸 駆動(系統構成含む)できると、または運転中であること) ・代替空気系統、動作可能なアニュラス空気浄化系に接続 可能な窒素ポンベ(代替制御用空気供給用)1セットまた は可燃式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)1セット が動作可能	・アニュラス空気浄化ファン1 台 ・アニュラス空気浄化フィルタ ユニット1基 ・窒素ポンベ(代替制御用空 気供給用)10本(1セット10 本(A系統5本、B系統5本)) ・可燃式空気圧縮機(代替制 御用空気供給用)2台(1セッ ト2台(A系統1台、B系統1 台)) ・大容量ポンプ ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タクローリー					
第90条 (表90-11-1) 水素排出	モード3、4、5および6	・アニュラス空気浄化系の1系統が動作可能(ファン動軸 駆動(系統構成含む)できると、または運転中であること) ・代替空気系統、動作可能なアニュラス空気浄化系に接続 可能な窒素ポンベ(代替制御用空気供給用)1セットまた は可燃式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)1セット が動作可能	・アニュラス空気浄化ファン1 台 ・アニュラス空気浄化フィルタ ユニット1基 ・窒素ポンベ(代替制御用空 気供給用)15本(1セット15本 (A系統5本またはB系統5 本)、可燃式空気圧縮機(代 替制御用空気供給用)1セッ ト(1セット1台(A系統1台 またはB系統1台)) ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タクローリー					
第90条 (表90-12-1) 海水から使用済燃料ビッ トへの注水	使用済燃料ビットに燃料体を 貯蔵している期間	・送水車による海水から使用済燃料ビットへの主水系2系 統動作可能	・送水車1台×2 ・軽油ドラム缶					
第90条 (表90-12-2) 使用済燃料ビットへのス フレイ	使用済燃料ビットに燃料体を 貯蔵している期間	・使用済燃料ビットへのスフレイ系のうち屋外に配備する設 備(これに2系統(1系統は屋外に配備する送水車1台) が動作可能 ・使用済燃料ビットへのスフレイ系のうち屋内に配備する設 備について、系統(1系統は屋内に配備するスフレイヘッ ダ4個(1セット2個、3号ポンプおよび4号ポンプの予備機2個 を含む))が動作可能	・送水車1台×2 ・スフレイヘッダ4個 ・軽油ドラム缶					
第90条 (表90-12-3) 使用済燃料ビットの監視	使用済燃料ビットへのス フレイ	・使用済燃料ビット(AM用)2個(動作可能な当該設備 が所要数を満足しない場合において、可燃式使用済燃料 ビット水位の所要数が動作可能である場合、運転上の制 限を満足しない場合はみなし)」	・左記監視計装 ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク					

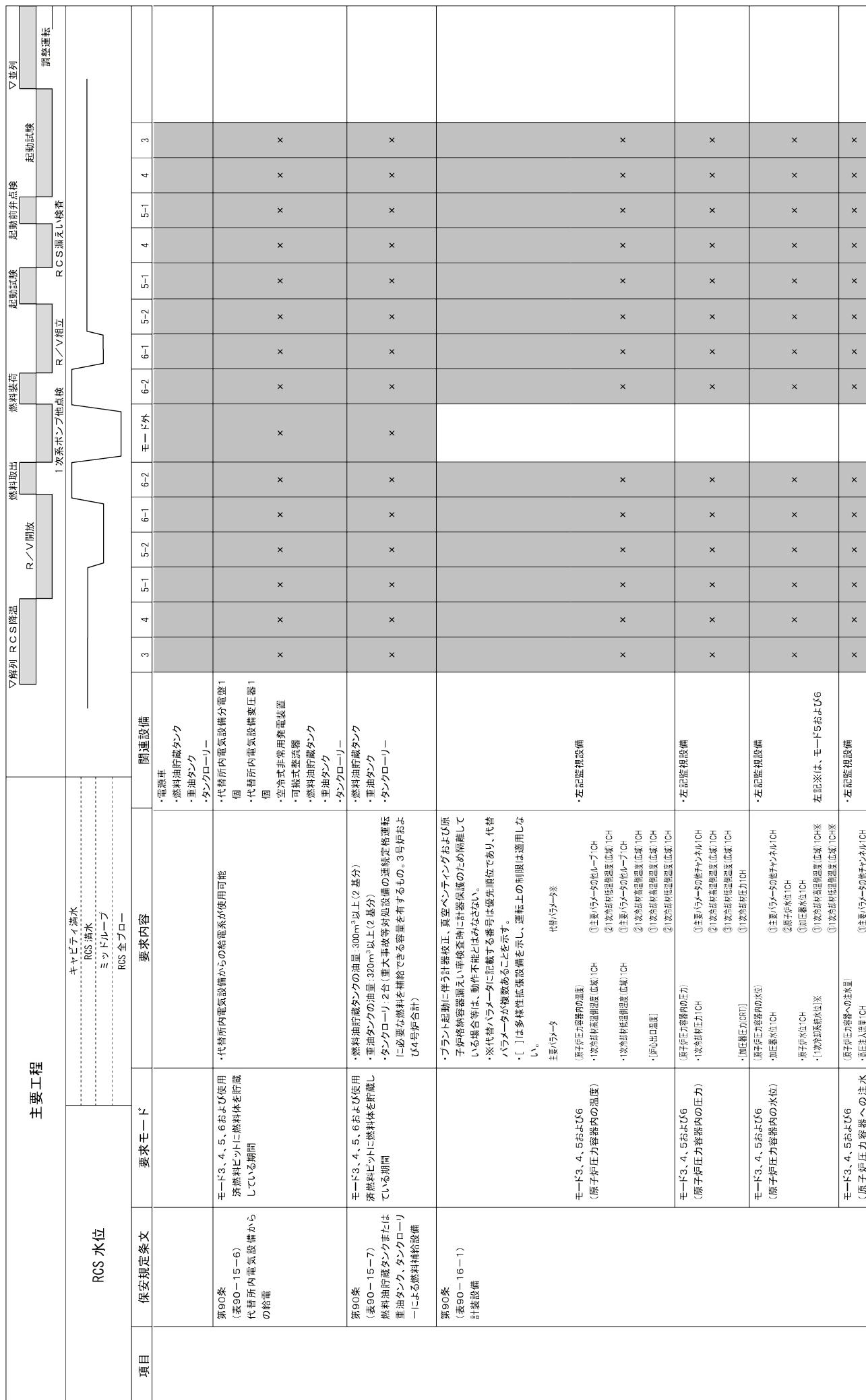
## 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		燃料取出										起動試験		起動前弁点検		△並列		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容		関連設備		3		4		5-1		6-1		6-2		モード外	
RCS 水位			*使用済燃料ビット温度(AM用)2箇 *使用済燃料ビット監視カメラ(使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置を含む)2箇(使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置は1箇) *可搬式使用済燃料ビット水位2箇 *可搬式使用済燃料ビット汎用燃料補給設備:20214 オットカルト以上(3号汽笛および4号汽笛の合計)	*タンクローリー														
第90条 (表90-12-4) 基油ドラム缶による燃料補給設備	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	*大容量ポンプおよび放水砲(放水砲用)3台(2台接続で放水できる容量、3号汽笛と4号汽笛同時に放水できる容量、3号汽笛及び4号汽笛合計所要数) *放水砲3台(3号汽笛及4号汽笛合計所要数) *泡混合器1台(3号汽笛及び4号汽笛合計所要数) *燃料油貯藏タンク *重油タンク *タンクローリー	*大容量ポンプ(放水砲用)3台(2台接続で放水できる容量、3号汽笛と4号汽笛合計所要数) *放水砲3台(3号汽笛及4号汽笛合計所要数) *泡混合器1台(3号汽笛及び4号汽笛合計所要数) *燃料油貯藏タンク *重油タンク *タンクローリー														
第90条 (表90-13-1) 大気への塗装印刷、航空機燃料火災への泡消火	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	*海水を用いた復水ビットへの補給(3号汽笛及び4号汽笛合計所要数) 取水路側: 高さ約1m/幅約35m (幅約20m/本を1本、幅15m/本を1本で1組として2組) 高さ約1m/幅約10m (幅約10m/本を1本で1組として2組) 放水路側: 高さ約12m/幅約5.4m (幅約5.4m/本を2本で1組として2組) 高さ約12m/幅約5.8m (幅約5.8m/本を2本で1組として2組)	*海水を用いた復水ビットへの補給(3号汽笛及び4号汽笛合計所要数) 取水路側: 高さ約1m/幅約35m (幅約20m/本を1本、幅15m/本を1本で1組として2組) 高さ約1m/幅約10m (幅約10m/本を1本で1組として2組) 放水路側: 高さ約12m/幅約5.4m (幅約5.4m/本を2本で1組として2組) 高さ約12m/幅約5.8m (幅約5.8m/本を2本で1組として2組)														
第90条 (表90-13-2) 海洋への塗装印刷	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	*海水を用いた復水ビットへの補給(3号汽笛及び4号汽笛合計所要数) 取水路側: 高さ約1m/幅約35m (幅約20m/本を1本、幅15m/本を1本で1組として2組) 高さ約1m/幅約10m (幅約10m/本を1本で1組として2組) 放水路側: 高さ約12m/幅約5.4m (幅約5.4m/本を2本で1組として2組) 高さ約12m/幅約5.8m (幅約5.8m/本を2本で1組として2組)	*海水を用いた復水ビットへの補給(3号汽笛及び4号汽笛合計所要数) 取水路側: 高さ約1m/幅約35m (幅約20m/本を1本、幅15m/本を1本で1組として2組) 高さ約1m/幅約10m (幅約10m/本を1本で1組として2組) 放水路側: 高さ約12m/幅約5.4m (幅約5.4m/本を2本で1組として2組) 高さ約12m/幅約5.8m (幅約5.8m/本を2本で1組として2組)														
第90条 (表90-14-1) 海水を用いた復水ビットへの補給	モード3、4、5および6	モード3、4、5および6	*海水を用いた復水ビットへの補給(2系統動作可能) *送水車1台×2 *軽油ドラム缶	*海水を用いた復水ビットへの補給(2系統動作可能) *送水車1台×2 *軽油ドラム缶														
第90条 (表90-14-2) 燃料取替用水ビット、	モード3、4、5および6(キャビティ低水位)	モード3、4、5および6(キャビティ低水位)	*海水を用いた復水ビットへの補給(2系統動作可能) *燃料取替用水ビット *キャビティ低水位(有効水量:1,800m <sup>3</sup> 以上であること)(原子炉水温および冷却水流量が確保されていること)を条件に運転上の制限を満足していないことはみだらない。なお原子炉キャビティ低水位期間とは、原子炉キャビティ水抜き作業開始から燃料取替用水ビット水位を回復するまでの期間をいう)	*海水を用いた復水ビットへの補給(2系統動作可能) *燃料取替用水ビット *キャビティ低水位(有効水量:1,800m <sup>3</sup> 以上であること)(原子炉水温および冷却水流量が確保されていること)を条件に運転上の制限を満足していないことはみだらない。なお原子炉キャビティ低水位期間とは、原子炉キャビティ水抜き作業開始から燃料取替用水ビット水位を回復するまでの期間をいう)														
第90条 (表90-14-3)	モード3、4、5および6	モード3、4、5および6	*海水ビット *復水ビット	*海水ビット *復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給系が使用可														

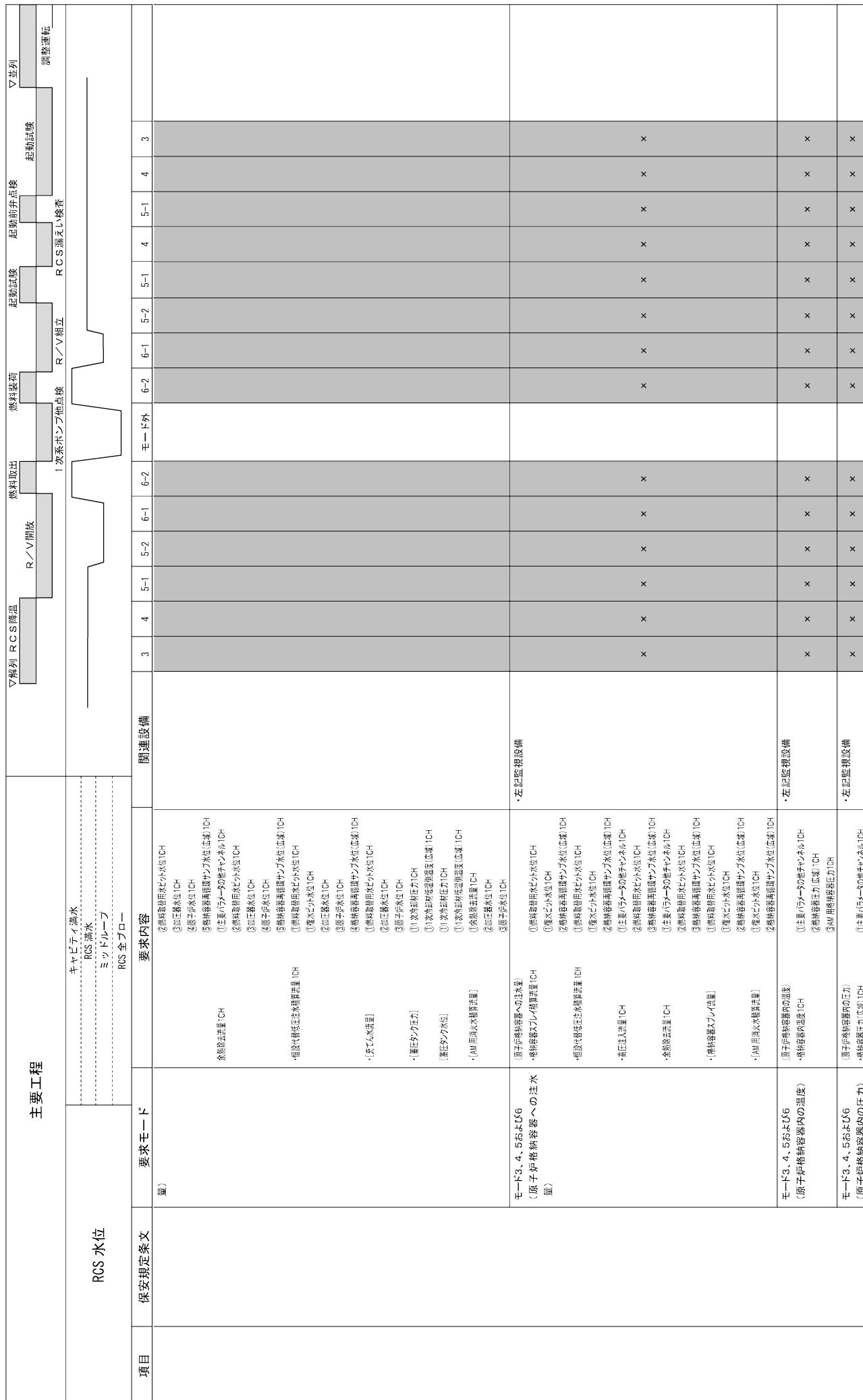
## 施設定期検査時の安全管理の計画

項目	保安規定条文 (RWSI補給 系を含む)	要求モード	要求内容	開連設備										起動試験	起動前弁点検	△並列	
				△解列 R C S 降溫		R／V開放		燃料取出		燃料装置		RCS漏えい検査					
主要工程	RCS 水位	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	・空冷式非常用差電装置による電源系1系統モード3、4、5および6において空冷式非常用差電装置2台、使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間において空冷式非常用差電装置2台動作可能	・空冷式非常用差電装置2台	・空冷式非常用差電装置	・燃料油貯蔵タンク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-15-1)	空冷式非常用差電装置からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	・号機間電力融通恒温ケーブル(3号～4号)による電源系1系統他号炉がモード3および4において号機間電力融通恒温ケーブル(3号～4号)1組	・号機間電力融通恒温ケーブル(3号～4号)1組	・号機間電力融通恒温ケーブル(3号～4号)1組	・燃料油貯蔵タンク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-15-2)	号機間電力融通恒温ケーブル(3号～4号)(号機間電力融通予備ケーブル(3号～4号))からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	・号機間電力融通恒温ケーブル(3号～4号)による電源系1系統他号炉がモード3および4において号機間電力融通恒温ケーブル(3号～4号)1組、ディーゼル発電機(他号炉)2基、燃料油貯蔵タンク(他号炉)300m <sup>3</sup> および重油タンク(他号炉)320m <sup>3</sup> 、タックローリーが使用可能。	・号機間電力融通恒温ケーブル(3号～4号)による電源系1系統他号炉がモード3および4において号機間電力融通恒温ケーブル(3号～4号)1組、ディーゼル発電機(他号炉)1基、燃料油貯蔵タンク(他号炉)1基、重油タンク(他号炉)300m <sup>3</sup> 、タックローリーが使用可能。	・号機間電力融通恒温ケーブル(3号～4号)による電源系1系統他号炉がモード3および4において号機間電力融通恒温ケーブル(3号～4号)1組、ディーゼル発電機(他号炉)1基、燃料油貯蔵タンク(他号炉)1基、重油タンク(他号炉)300m <sup>3</sup> 、タックローリーが使用可能。	・燃料油貯蔵タンク(他号炉)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
第90条 (表90-15-3) 電源車からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	・電源車による電源系2系統動作可能	・電源車1台×2	・燃料油貯蔵タンク	・重油タンク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-15-4) 蓄電池(安全防護系用)	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	・蓄電池(安全防護系用)による電源系1系統(蓄電池(安全防護系用)1組)動作可能	・蓄電池(安全防護系用)1組	・蓄電池(安全防護系用)	・蓄電池(安全防護系用)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-15-5) 可搬式整流器からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間	・可搬式整流器からRCS漏えい検査	・可搬式整流器1個	・空冷式非常用差電装置	・号機間電力融通恒温ケーブル(3号～4号)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

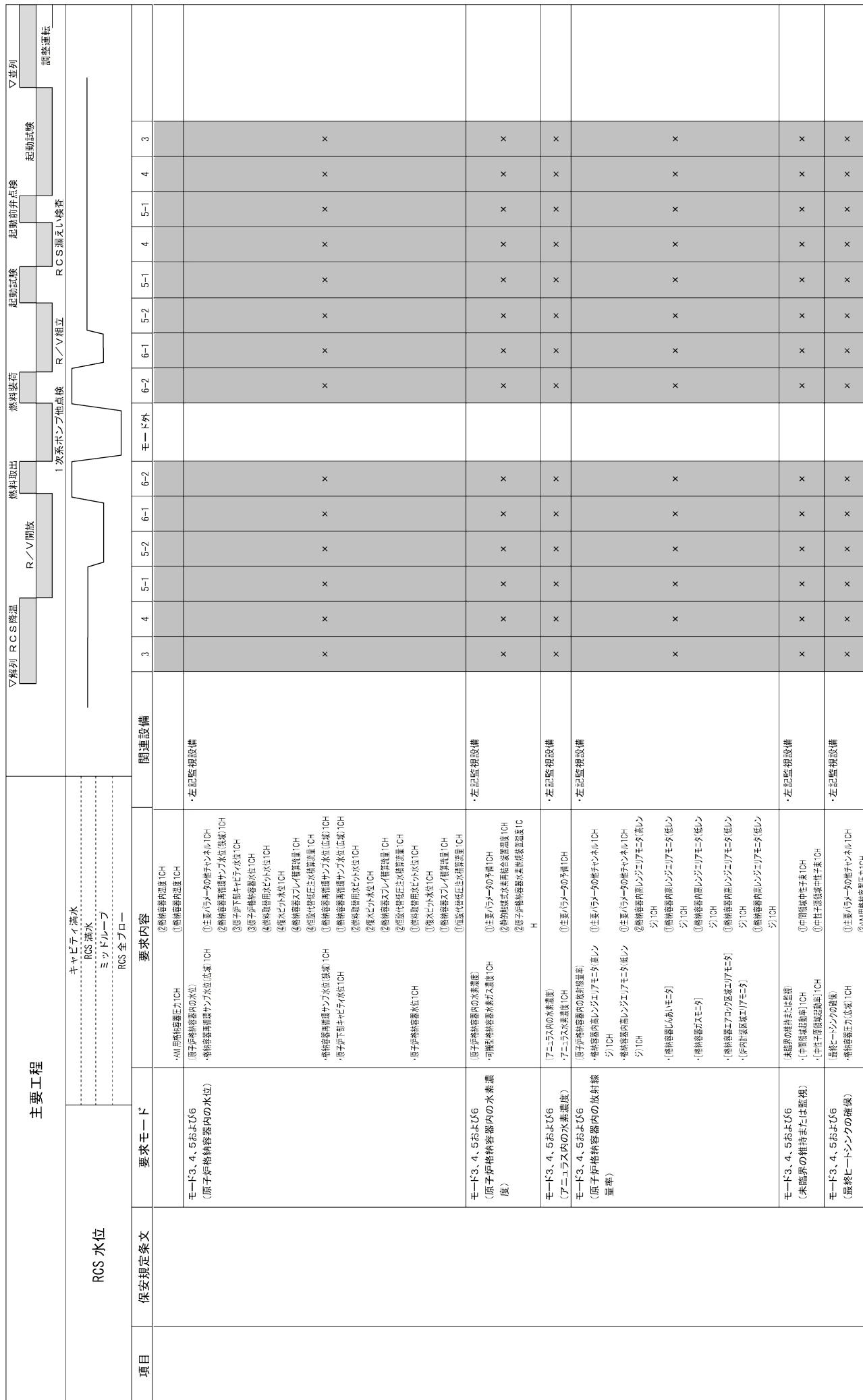
## 施設定期検査時の安全管理の計画



## 施設定期検査時の安全管理の計画



施設定期検査時の安全管理の計画



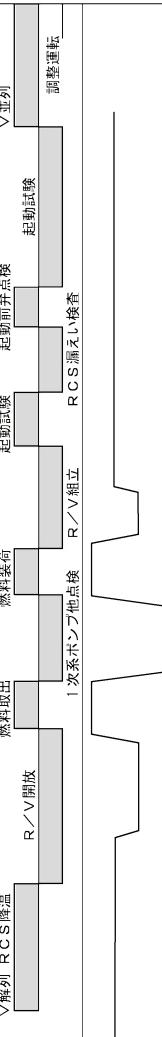
## 施設定期検査時の安全管理の計画



## 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		要求内容											
項目	保安規定条文	要求内容											
第90条 (表90-18-1) 中央制御室 監視測定装置	モード3、4、5、6および使用済燃料に燃料体を貯蔵している期間	<p>モード3、4、5、6および使用済燃料に燃料体を貯蔵している期間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央制御室あたり中央制御室非常用循環系1系統以上動作可能</li> <li>・ファンが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中</li> <li>・可搬型照明(SA)、酸素濃度計および二酸化炭素濃度計の所要数が使用可能</li> </ul>	△解列 RCS 降溫	R/NV開放	燃料取出	燃料保管	起動試験	起動前弁点検	起動試験	△並列	RCS漏えい検査	R/NV組立	調整運転

RCS 水位

キャラビティ溝水  
ミッドレーブ  
RCS 全ブロー

## 施設定期検査時の安全管理の計画

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備											
				3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4
第90条 (表90-19-2) 緊急時対策所 居住性の確保	RCS 水立	モード3、4、5、6および併用 済燃料ビットに燃料体を貯蔵 している期間	・緊急時対策所空気浄化系1系統(緊急時対策所可搬型空気淨化装置2台および緊急時対策所可搬型空気淨化フィルタユニット2基)動作可能 ・空気供給装置の所要数(600本)緊急時対策所(指揮所および待機所)あたりの合計が使用可能 ・酸素濃度計(2個)緊急時対策所(指揮所および待機所)あたりの合計(2個)緊急時対策所(指揮所および待機所)あたりの合計(2個)緊急時対策所内可搬型エアロニタ ・緊急時対策所内可搬型エアロニタ(2個)(緊急時対策所(指揮所および待機所)あたりの合計)緊急時対策所外可搬型エアロニタ(1個)および可搬式モニタリングポートの所要数が動作可能 ・緊急時対策所内可搬型エアロニタ(2個)(緊急時対策所(指揮所および待機所)あたりの合計)緊急時対策所外可搬型エアロニタ(1個)および可搬式モニタリングポートの所要数が動作可能	・緊急時対策所可搬型空気淨化ファン ・緊急時対策所可搬型空気淨化フルダユニット ・空気供給装置 ・酸素濃度計 ・二酸化炭素濃度計 ・緊急時対策所内可搬型エアロニタ ・緊急時対策所外可搬型エアロニタ ・携行型通話装置 ・インターフォン ・SPDS ・安全パラメータ伝送システム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-20-1) 通信連絡	主要工程	モード3、4、5、6および併用 済燃料ビットに燃料体を貯蔵 している期間	・衛星電話(固定) : 6台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・衛星電話(携帯) : 9台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・衛星電話(可搬) : 1台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・トランシーバー : 2台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・携行型通話装置 : 2台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・インターフォン : 4台(3号炉および4号炉の合計所要数)	・衛星電話(固定) ・衛星電話(携帯) ・トランシーバー ・携行型通話装置 ・インターフォン ・安全パラメータ伝送システム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

## 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程			要求内容																				
項目	保安規定条文	要求モード	開連設備			3			4			5-1			5-2			6-1			6-2		
RCS 水立	キャビティ漏水 RCS 漏水 ミッピーリーフ RCS 全プロー	・安全パラメータ表示システム・SPDS-1系列(3号炉および4号炉の合計所要数、A系またはB系のいずれかにより有線系、無線系または衛星系で所内および所外へ伝送可能であること)※1 ・安全パラメータ伝送システム・1系列(3号炉および4号炉の合計所要数、A系またはB系のいずれかにより有線系、無線系および衛星系回線で所内および所外へ伝送可能であること)※1 ・SPDS表示装置・2台(3号炉および4号炉の合計所要数) ※1 (※1 サーバー切替等による一時的なデータ伝送停止は、運転上の制限を満足していないことはみながない。また、所要の確認対象パラメータを記録し、連絡する要員を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時(他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴うデータ伝送停止を含む。)は、運転上の制限を満足していないとはみなない。) ・緊急時衛星通報システム・1台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備(TV会議システム、IP電話、IP-FAX)・1系列(3号炉および4号炉の合計所要数、TV会議システム、IP電話、IP-FAXのいずれかにドリーブ接続可能であること)衛星携帯電話設備等の通信機器による通信手段を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時(他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴う停止を含む。)は、運転上の制限を満足していないとはみなない。) ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク、重油タンク、タンクローリー ・電源車緊急時対策所用) ・フルードーザ(2台(3号炉および4号炉の合計所要数、予備機1台を含む)の所要数が製作可能)	SPDS表示装置 ・緊急時衛星通報システム ・統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備(TV会議システム、IP電話、IP-FAX)・1系列(3号炉および4号炉の合計所要数、TV会議システム、IP電話、IP-FAXのいずれかにドリーブ接続可能であること)衛星携帯電話設備等の通信機器による通信手段を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時(他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴う停止を含む。)は、運転上の制限を満足していないとはみなない。) ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク、重油タンク、タンクローリー ・電源車緊急時対策所用) ・フルードーザ(2台(3号炉および4号炉の合計所要数、予備機1台を含む)の所要数が製作可能)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第90条 (表90-21-1) アクセスルートの確保	モード3、4、5、6および使用 済燃料にツバに燃料体を貯蔵 している期間	モード3、4、5、6および使用 済燃料にツバに燃料体を貯蔵 している期間	モード3 モード4 モード5-1 モード5-2 モード6-1 モード6-2 モード外	原子炉の運転状態 1次冷却材温度 177°C以上 1次冷却材温度 93°C超 177°C未満 1次冷却材温度 93°C以下(RCS 満水) 1次冷却材温度 93°C以下(RCS 非満水) 1次冷却材温度 93°C以下(キャビティ 低水位) 1次冷却材温度 93°C以下(キャビティ 高水位) 全ての燃料が原子炉容器器の外にある状態	原子炉容器スタッドボルトの状態 全ボルト締付 全ボルト締付 全ボルト締付 全ボルト締付 1本以上が緩められている(全ボルト取り外し) 1本以上が緩められている(全ボルト取り外し)	△ × △ △ △ △ △	機能要求あり 機能要求あり(条件付) 機能要求なし																

モード	原子炉の運転状態	原子炉容器スタッドボルトの状態
3	1次冷却材温度 177°C以上	全ボルト締付
4	1次冷却材温度 93°C超 177°C未満	全ボルト締付
5-1	1次冷却材温度 93°C以下(RCS 満水)	全ボルト締付
5-2	1次冷却材温度 93°C以下(RCS 非満水)	全ボルト締付
6-1	1次冷却材温度 93°C以下(キャビティ 低水位)	1本以上が緩められている(全ボルト取り外し)
6-2	1次冷却材温度 93°C以下(キャビティ 高水位)	1本以上が緩められている(全ボルト取り外し)
モード外	全ての燃料が原子炉容器器の外にある状態	—

※ 本計画は、安全確保の方針を示すものであり、詳細については、保安規定を参照すること。また、作業工程等の変更が生じた際においても、保安規定の遵守を徹底し、安全確保に努めるものとする。

## 参考資料－1

計画期間中における点検の実施状況等

点検計画 目次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/51
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/51
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	4/51
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[原子炉補機冷却設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
[蒸気タービンの附属設備]	
計測制御系統施設	20/51
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	23/51
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	
放射線管理施設	27/51
[放射線管理用計測装置]	
[換気設備]	
[生体遮蔽装置]	
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
原子炉格納施設	35/51
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	41/51
[その他設備]	
原子力設備・タービン設備	41/51
[その他設備]	
蒸気タービン	42/51
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
その他発電用原子炉の附属施設	47/51
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
[常用電源設備]	
[火災防護設備]	
[浸水防護施設]	
[補機駆動用燃料設備]	
[非常用取水設備]	
土木建築設備	51/51
プラント総合	51/51
全般機器	51/51

- 別紙一：クラス1機器供用期間中検査10年計画  
 別紙二：クラス2機器供用期間中検査10年計画  
 別紙三：クラス3機器供用期間中検査10年計画  
 別紙四：クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査10年計画  
 別紙五：クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画  
 別紙六：原子炉格納容器供用期間中検査10年計画  
 別紙七：重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画  
 別紙八：重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

## • 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( ) 内に適用する 設備診断技術)
原子炉本体 [炉心]	照射済燃料集合体 照射済燃料集合体(取出燃料) 燃料集合体	※1式 ※1式 193体	1.外観点検 1.外観点検 1.外観点検 (炉内配置)	高 高 高	1F 1F 1F	○ ○ ○	16回 16回 16回	燃料集合体外観検査 ※：炉心設計による ※：炉心設計による
内種物 ・制御棒ク拉斯タ ・バーナブルボイズン ・シングルプラグアセンブリ ・2次中性子源 原子炉本体のうち炉心	※1式	1.外観点検 (炉内配置)	高	1F	○	16回	燃料集合体炉内配置検査 ※：炉心設計による	※：炉心設計による
原子炉容器	原子炉本体のうち炉心 原子炉容器 (制御棒ク拉斯タ案内管支持ピンおよび 水位計支持管用支持ピン)	116箇所	1.外観点検	高	1M 13M	○ ○	16回 16回	原子炉停止余裕検査 炉物理検査
原子炉本体 [原子炉容器]	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施 設 [燃料取扱設備]	1台	1.機能・性能試験 (リフティング・フレーム) 2.機能・性能試験 3.簡易点検 (潤滑油給油)	高	1F 1F 26M	○ ○ —	16回 16回 16回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・ インタークロック試験等)
燃料取替クレーン	1台	1.機能・性能試験 2.機能・性能試験 3.簡易点検 (潤滑油給油)	高	1F 1F 26M	○ ○ —	16回 16回 16回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・ インタークロック試験等)	
使用済燃料ピットクレーン	1台	1.機能・性能試験 2.機能・性能試験 3.簡易点検 (潤滑油給油)	高	1F 1F 26M	○ ○ —	16回 16回 16回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・ インタークロック試験等)	
新燃料エレベータ	1台	1.機能・性能試験 2.機能・性能試験 3.簡易点検 (潤滑油給油)	高	1F 1F 26M	○ ○ —	16回 16回 16回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・ インタークロック試験等)	先行実施
補助建屋クレーン	1台	1.機能・性能試験 2.機能・性能試験 3.簡易点検 (点検手入れ)	高	1Y	○	16回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査(動作・ インタークロック試験等)	先行実施
新燃料取扱工具	1台	1.外観点検	低	1F	○	16回	燃料取扱設備検査(動作・ インタークロック試験等)	先行実施
使用済燃料取扱工具	1台	1.外観点検	低	1F	○	16回	燃料取扱設備検査(動作・ インナークロック試験等)	先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式度 又は頻度	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考	
								( ) 内は適用する 設備診断技術)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	燃料反置ラック 1台	1. 外観点検	1F	○	16回	燃料取扱設備検査(動作・インシターロック試験等)			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	1式	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	16回			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔他の機器〕	3台	1. 特性試験	高	13M	○	16回	計測制御系監視機能検査		
使用済燃料ビット温度	1台	1. 特性試験	高	13M	○	16回	計測制御系監視機能検査		
使用済燃料ビット水位	3台	1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	16回	施設設定検時に設置
可搬式使用済燃料ビット水位	2台	1. 特性試験	高	13M	○	—	アラント状態監視設備機能検査	16回	施設設定検時に設置
使用済燃料ビット温度 (AM用)	2台	1. 特性試験	高	13M	○	—	アラント状態監視設備機能検査	16回	施設設定検時に設置
使用済燃料ビット水位 (AM用)	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回	施設設定検時に設置
使用済燃料ビット監視カメラ	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回	施設設定検時に設置
使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回	施設設定検時に設置
使用済燃料ビット淨化冷却設備		1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機等含む)	高	1F	○	16回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回	施設設定検時に設置
A 使用済燃料ビットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	—	15回	(振動診断 : 6M)		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	16回	先行実施		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	16回			
B 使用済燃料ビットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	—	15回	(振動診断 : 6M)		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回	先行実施		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回			
送水車	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回	プラント運転中又は施設設定検停止中
		2. 外観点検		1Y	○	—		16回	施設設定検時に設置
大容量ポンプ (放水砲用)	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回	プラント運転中又は施設設定検停止中
		2. 分解点検		10Y	—	—		16回	施設設定検時に設置
A 使用済燃料ビットフィルタ		1. 開放点検	高	130M	○	9回	先行実施		
B 使用済燃料ビットフィルタ		1. 開放点検	高	130M	—	16回	先行実施		
A 使用済燃料ビット冷却器		1. 開放点検	高	195M	—	9回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		195M	—	9回	1次系熱交換器検査	有効性評価 No. 1 の反映	
		3. 漏えい試験		195M	—	9回			
B 使用済燃料ビット冷却器		1. 開放点検	高	195M	—	16回	1次系熱交換器検査	先行実施	
		2. 非破壊試験		195M	—	16回	1次系熱交換器検査	有効性評価 No. 1 の反映	
		3. 漏えい試験		195M	—	16回			
C 使用済燃料ビット冷却器		1. 開放点検	高	130M	○	—*	*	H 1.3 年度に設置	
		2. 漏えい試験		130M	○	—*		先行実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	今回実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 「使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備」 その他の中	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランドベックキン取替)	高・低 104M~130M 130M	○ ○ ○	16回 16回 16回	1次系弁検査	一部先行実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 「使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備」 その他機器	1式	1. 分解点検他	高・低 78M	—	16回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 「燃料取替用水ボンブ・電動機 設〔燃料取替用水設備〕		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ボンブ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ボンブ)	高 130M 52M 26M	— — — —	16回 12回 16回 16回	1次系ボンブ機能検査 〔分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6 M)	B*:ボンブまたは電動機 の分解点検にあわせて実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 「燃料取替用水ボンブ・電動機 設〔燃料取替用水設備〕		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ボンブ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ボンブ)	高 130M 52M 26M B*	— — — —	16回 12回 16回 16回	1次系ボンブ機能検査 〔分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6 M)	B*:ボンブまたは電動機 の分解点検にあわせて実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 「燃料取替用水設備」 その他の中	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ボンブ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ボンブ)	高 130M 52M 26M B*	— — — —	16回 10回 16回 16回	1次系ボンブ機能検査 〔分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6 M)	B*:ボンブまたは電動機 の分解点検にあわせて実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 「燃料取替用水設備」 その他の中	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ボンブ) 3. 簡易点検 (グランドベックキン取替)	高・低 130M 130M	— —	16回 16回	1次系弁検査	一部先行実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 「燃料取替用水設備」 その他機器	1式	1. 分解点検他	高 130M	—	16回		

機器又は系統名 原子炉冷却系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)	
							保全の重要度	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)
A蒸気発生器 3,382本	伝熱管 1次側 2次側	1. 非破壊試験 1.開放点検 1.開放点検 2.簡易点検 (スマッシュランシング)	高 高 高 13M 13M 13M	26M — — —	— 16回 16回 16回	蒸気発生器伝熱管体積検査	蒸気発生器伝熱管体積検査	蒸気発生器伝熱管体積検査
B蒸気発生器 3,382本	伝熱管 1次側 2次側	1. 簡易点検 (ガスケット取替) 1.開放点検 1.開放点検 2.簡易点検 (スマッシュランシング)	高 高 高 13M 13M 13M	13M — — —	— 16回 16回 16回	蒸気発生器伝熱管体積検査	蒸気発生器伝熱管体積検査	蒸気発生器伝熱管体積検査
C蒸気発生器 3,382本	伝熱管 1次側 2次側	1. 簡易点検 (ガスケット取替) 1.開放点検 1.開放点検 2.簡易点検 (スマッシュランシング)	高 高 高 13M 13M 13M	13M — — —	— 16回 16回 16回	蒸気発生器伝熱管体積検査	蒸気発生器伝熱管体積検査	蒸気発生器伝熱管体積検査
D蒸気発生器 3,382本	伝熱管 1次側 2次側	1. 簡易点検 (ガスケット取替) 1.開放点検 1.開放点検 2.簡易点検 (スマッシュランシング)	高 高 高 13M 13M 13M	13M — — —	— 16回 16回 16回	蒸気発生器伝熱管体積検査	蒸気発生器伝熱管体積検査	蒸気発生器伝熱管体積検査
加圧塔 3個	1.機能・性能試験 2.漏えい試験 3.分解点検	高 B 13M	1F — —	— — —	— 16回 16回	加圧器安全弁機能検査 加圧器安全弁漏えい検査 加圧器安全弁分解検査	加圧器安全弁機能検査 加圧器安全弁漏えい検査 加圧器安全弁分解検査	加圧器安全弁機能検査 加圧器安全弁漏えい検査 加圧器安全弁分解検査
3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057								

機器又は系統名 〔一次冷却系施設 〔一次冷却材の循環設備〕〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)	
							保全の重要度	前回実施時期 (定検回次)
加圧器逃がし弁	3PCV-452A	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	1F	○	16回	加圧器逃がし弁機能検査	
加圧器逃がし弁運動部		3. 分解点検	26M	—	16回	加圧器逃がし弁分解検査		
加圧器逃がし弁	3PCV-452B	1. 分解点検 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	26M 13M	○	16回	加圧器逃がし弁機能検査	
加圧器逃がし弁運動部		1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	1F	○	16回	加圧器逃がし弁機能検査	
加圧器逃がし弁前弁	2個	3. 分解点検	26M	○	16回	加圧器逃がし弁分解検査		
加圧器逃がし弁前弁	3V-RC-054A	1. 分解点検 (駆動部含む)	高	26M 13M	○	16回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
加圧器逃がし弁前弁運動部	3V-RC-054B	1. 分解点検	高	130M	—	13回		
加圧器逃がし弁前弁運動部		1. 分解点検 (駆動部含む)	高	130M	—	14回		
A 1 次冷却材ポンプ・電動機		2. 簡易点検 (特性点検)	78M	—	16回			
A 1 次冷却材ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部施設設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)	130M	○	9回			
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)	13M	○	16回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施	
		4. 分解点検 (フライホイール)	104M	—	111回			
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)	52M	—	15回			
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)	104M	—	111回			
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	26M	○	15回			

機器又は系統名 原子炉冷却系施設 [一次冷却材の循環設備]	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術	
							保全の重要度	前回実施時刻 (定検回次)
B 1 次冷却材ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部施設設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)	130M	—	8回			
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)	13M	○	16回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施	
		4. 分解点検 (ライホイール) (電動機)	104M	—	12回			
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)	52M	—	16回			
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)	104M	—	16回			
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	26M	—	16回			
C 1次冷却材ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部施設設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)	130M	—	9回			
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)	13M	○	16回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施	
		4. 分解点検 (ライホイール) (電動機)	104M	○	9回			
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)	52M	○	13回			
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)	104M	○	9回			
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	26M	○	15回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系系統施設 [一次冷却材の循環設備]	D 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1f	○	16回	1次冷却材ポンプ機能検査
		2. 分解点検 (ポンプ)	130M	—	16回		一部施設設定検起動後
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)	13M	○	16回	1次冷却材ポンプマニカルシール分解検査	一部先行実施
		4. 分解点検 (ライホイール) (電動機)	104M	—	10回		
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)	52M	—	14回		
		6. 分解点検 (金分解) (電動機)	104M	—	10回		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	26M	—	16回		
原子炉冷却系系統施設 [一次冷却材の循環 設備 その他の弁]	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	1次系弁検査
		2. 分解点検	高	52M~260M	○	16回	
		3. 分解点検	低	78M~130M	○	16回	1次系弁検査
		4. 簡易点検 (グランドハッキン取替)	高・低	39M~130M	○	16回	一部IBMあり
原子炉冷却系系統施設 [一次冷却材の循環 設備 その他の弁駆動部]	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	1次系弁検査
		2. 分解点検	26M~65M	○	16回		
		3. 簡易点検 (特性点検)	13M~65M	○	16回		
原子炉冷却系系統施設 [一次冷却材の循環 設備 その他機器]	1式	1. 分解点検他	高	13M~104M	○	16回	
		2. 分解点検他	低	13M~65M	○	16回	

機器又は系統名 原子炉冷却系施設 〔主蒸気・主給水設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式度 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
主蒸気安全弁	20個	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高 B	1F 26M	○ ○	16回 16回	主蒸気安全弁機能検査 主蒸気安全弁漏えい検査
3V-MS-526B 3V-MS-527B 3V-MS-528B 3V-MS-529B 3V-MS-530B 3V-MS-526D 3V-MS-528D 3V-MS-529D 3V-MS-530D	A, C系	1. 漏えい試験 2. 分解点検	高 B	1F 26M	○ —	16回 16回	主蒸気安全弁漏えい検査
3V-MS-526A 3V-MS-527A 3V-MS-528A 3V-MS-529A 3V-MS-530A 3V-MS-526C 3V-MS-527C 3V-MS-528C 3V-MS-529C 3V-MS-530C	4個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高 B	1F 13M	○ ○	16回 16回	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査
3PCV-3610 3PCV-3620 3PCV-3630 3PCV-3640	主蒸気逃がし弁駆動部	1. 漏えい試験 2. 分解点検	高 高	1F 52M	○ ○	16回 16回	主蒸気逃がし弁漏えい検査
3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C 3V-MS-533D	主蒸気隔離弁駆動部	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高 高	13M 13M	○ ○	16回 16回	主蒸気隔離弁機能検査
3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C 3V-MS-533D	主蒸気隔離弁	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 分解点検	高 高	1F 39M	○ —	14回 15回	主蒸気隔離弁機能検査 2次系弁検査
15個	タービンハイパス弁	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 分解点検	高 高	1F 26M	○ ○	16回 16回	タービンハイパス弁機能検査
	タービンハイパス弁駆動部	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高 高	52M 13M	○ ○	16回 16回	2次系弁検査

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考	
							( ) 内は適用する 設備診断技術)	
原子炉冷却系系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	原子炉冷却系系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (グランドハッシュキン取替)	高・低 B ○ ○ ○	○ ○ ○	16回 16回 16回	2次系弁検査 2次系弁検査		
原子炉冷却系系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁駆動部；		1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (特性点検)	高・低 B ○ ○ ○	○ ○ ○	16回 16回 16回	2次系弁検査 2次系弁検査		
原子炉冷却系系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁		1.分解点検地 2.分解点検地	高 低 ○ ○	○ ○ ○ ○	16回 16回 16回 16回	2次系弁検査 2次系弁検査		
A余熱除去ポンプ・電動機 原子炉冷却系流施工設 〔余熱除去設備〕		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ)	高 B*○ ○	○ ○ ○	16回 13回 13回	1次系ポンプ機能検査 非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	B*:ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3M)	
		3.分解点検 (電動機)	9M ○	○	16回 16回	有効性評価 No. 21 の反映	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定檢 から設定	
		4.簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)	78M ○	○	16回 16回			
		5.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	26M ○	○	16回 16回			
		6.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	26M ○	○	16回 16回			
B余熱除去ポンプ・電動機		1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ)	高 B* ○ ○	○ ○ ○ ○	15回 15回 15回 15回	1次系ポンプ機能検査 非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	B*:ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3M)	
		3.分解点検 (電動機)	91M ○	○	14回 14回		その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定檢 から設定	
		4.簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)	78M ○	○	16回 16回		有効性評価 No. 21 の反映	
		5.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	26M ○	○	16回 16回			
		6.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	26M ○	○	16回 16回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系系統施設 〔余熱除去設備〕	低圧注入系主要弁 3V-RH-050A	1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設定檢 から設定
	3V-RH-050B	1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設定檢 から設定
	3V-RH-050C	1. 分解点検	高	130M	○	9回	非常用炉心冷却系主要弁分 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設定檢 から設定
	3V-RH-050D	1. 分解点検	高	130M	○	7回	非常用炉心冷却系主要弁分 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設定檢 から設定
	3V-RH-051A	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設定檢 から設定
	3V-RH-051B	1. 分解点検	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設定檢 から設定
A 余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	16回	1次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験		130M	—	8回	1次系熱交換器検査		
	3. 漏えい試験		130M	—	16回	1次系熱交換器検査		
B 余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	11回	1次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験		130M	—	11回	1次系熱交換器検査		
	3. 漏えい試験		130M	—	11回	1次系熱交換器検査		
原子炉冷却系系統施設 「余熱除去設備」	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	1次系弁検査	
その他弁	2. 分解点検	高	52M~260M	○	16回	1次系安全弁検査		
	3. 分解点検	低	130M	—	16回	1次系弁検査		
	4. 簡易点検 (グラントドベッキン取替)	高・低	65M~130M	○	16回	1次系弁検査		
原子炉冷却系系統施設 「余熱除去設備」	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	1次系弁検査	
その他弁駆動部	2. 分解点検		52M~182M	○	16回	1次系弁検査		
	3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	16回	1次系弁検査		
原子炉冷却系系統施設 「余熱除去設備」	1式	1. 分解点検(他)	高	13M~91M	○	16回	1次系弁検査	
その他機器	2. 分解点検(他)	低	65M~130M	○	16回	1次系弁検査		
その他AM(代替再循環)機器	1式	1. 分解点検(他)	高	130M~182M	—	15回	1次系弁検査	

機器又は系統名 〔非常用炉心冷却設備〕	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 〔○ 内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系施設 〔非常用炉心冷却設備〕	高压及び低压注入系 (余熱除去設備 (低压注入機能) を含む)	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、 介駆動部等含む) 2. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、状態 監視等含む)	高 1F 6M	○ ○	16回 中	非常用炉心冷却系機能検査 〔対象設備〕 運転中の主要機器機能検査 〔状況監視含む〕	
その他原子炉注水系		1. 機能・性能試験	高 1F	○	16回	その他原子炉注水系機能検 査	'A, B底圧注入系 'A, B高压注入系 'A, B充てん系 'B充てん系(電動機自己冷 却)
A 高圧注入ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (メカニカルシール取 替) 4. 簡易点検 (潤滑油入替)	高 130M 91M 130M 26M	— — — —	12回 15回 16回 16回	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 有効性評価 No. 21 の反映	(振動診断 : 3M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定檢 から設定
B 高圧注入ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (メカニカルシール取 替) 4. 簡易点検 (潤滑油入替)	高 130M 91M 130M 26M	— — — —	13回 16回 15回 16回	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 有効性評価 No. 21 の反映	(振動診断 : 3M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定檢 から設定

機器又は系統名 〔非常用炉心冷却設備〕	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術	
								16回施設定檢時に設置	
恒設代替低圧注水系	1台	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	—	その他原子炉注水系機能検査 原子炉格納容器安全系機能検査	16回施設定檢時に設置	
恒設代替低圧注水ポンプ・電動機	1台	1. 機能・性能試験 漏えい試験 2. 分解点検 (ポンプ)	高	1F 130M	○ —	—	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	16回施設定檢時に設置	
可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	3台	3. 分解点検 (電動機)	高	130M	—	—	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	プラント運転中又は施設定 検停止中 16回施設定檢時に設置	
高压注入系主要弁	3V-SI-082A 3V-SI-082B 3V-SI-082C 3V-SI-082D 3V-SI-072A 3V-SI-072B 3V-SI-072C 3V-SI-072D 3V-SI-079A 3V-SI-079B 3V-SI-079C 3V-SI-079D	1. 分解点検 1. 分解点検	高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高	1Y 10Y 130M 260M 130M 130M — — — — — —	○ — — — — — — — — — — —	— — — — — — — — — — — —	可搬型重大事故等対処設備 機能検査 分解検査 分解検査 分解検査 分解検査 分解検査 分解検査 分解検査 分解検査 分解検査 分解検査	プラント運転中又は施設定 検停止中 16回施設定檢時に設置	

機器又は系統名 [非常用炉心冷却設備]	実施数(機器名)	点検及び試験の項目 (弁、弁駆動部を含む)	保全方程式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名		備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
							検査名	検査内容	
原子炉冷却系施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系	1.機能・性能試験 (弁、弁駆動部を含む)	高	1f	○	16回	非常用炉心冷却系機能検査	その他原子炉注水系機能検査は、16回施設定檢から設定	
	蓄圧注入系主要弁 3V-S1-132A	1.分解点検	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定檢から設定	
	3V-S1-132B	1.分解点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定檢から設定	
	3V-S1-132C	1.分解点検	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定檢から設定	
	3V-S1-132D	1.分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定檢から設定	
	3V-S1-134A	1.分解点検	高	130M	—	8回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定檢から設定	
	3V-S1-134B	1.分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定檢から設定	
	3V-S1-134C	1.分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定檢から設定	
	3V-S1-134D	1.分解点検	高	130M	○	7回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定檢から設定	
	3V-S1-136A	1.分解点検	高	130M	—	11回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定檢から設定	
	3V-S1-136B	1.分解点検	高	130M	—	10回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定檢から設定	
	3V-S1-136C	1.分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定檢から設定	
	3V-S1-136D	1.分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定檢から設定	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)
原子炉冷却系系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	蓄圧注入系主要弁駆動部	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高 13M~182M	— ○	16回 16回		
A蓄圧タック	1. 開放点検	高 130M	— ○	14回 16回			
B蓄圧タック	1. 開放点検	高 130M	— ○	16回 16回			
C蓄圧タック	1. 開放点検	高 130M	— ○	16回 16回			
D蓄圧タック	1. 開放点検	高 130M	— ○	10回 16回			
燃料取替用水ピット	1. 外観点検	高 1F	○ ○	16回 16回			
A、B格納容器再循環サンプ	1. 外観点検	高 1F	○ ○	16回 16回			
A、B格納容器再循環サンプスクリーン	1. 外観点検 2. 外観点検	高 10Y	— ○	16回 16回		— —	原子炉格納容器再循環サン プスクリーン検査
原子炉冷却系系統施設「非常用炉心冷却設 備」 その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検 4. 簡易点検 (グラシド・バッキン取 替)	高・低 高 低 高・低 高・低	B ○ — ○ 78M~130M	○ ○ — ○ ○	16回 16回 16回 16回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	一部BMあり 有効性評価 No. 20 の反映
原子炉冷却系系統施設「非常用炉心冷却設 備」 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高・低 65M~260M	○ ○	16回 16回		1次系弁検査 1次系弁検査	
原子炉冷却系系統施設「非常用炉心冷却設 備」 その他機器	1. 分解点検 2. 分解点検	高 13M~94M	○ ○	16回 16回		1次系弁検査 1次系弁検査	
充てんポンプ	3台	1. 機能・性能試験 (ポンプ)、電動機等含 む)	高 78M	○ —	16回 15回	赤てんポンプ冷却材補給系 機能検査	(振動診断 : 6M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 化学体積制御系充てんポン プ分解検査
A充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高 91M	— —	16回 16回			
	2. 分解点検 (電動機)	26M	— —	16回 16回			
	3. 簡易点検 (メカニカルシール取 替)	26M	— —	16回 16回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	26M	— —	16回 16回			
	5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	13M	○ ○	16回 16回			



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全度 又は頻度	今回実施 計画	前回実施時 (定検回数)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	余剰抽出水冷却却器	1. 開放点検 2. 井破壊試験 3. 漏えい試験	高 130M —	130M —	16回 8回		
原子炉冷却系統施設「化学体積制御設 備」 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検 4. 簡易点検 (グラントハッキン取 替)	高・低 B —	13M～260M 104M～130M 65M～130M —	16回 16回 16回 16回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁止弁検査 1次系弁検査	—音BMあり
原子炉冷却系統施設「化学体積制御設 備」 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高・低 B —	52M～182M 13M～182M —	16回 16回 16回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	—音BMあり
原子炉冷却系統施設「化学体積制御設 備」 その他の機器	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M～130M 13M～130M —	16回 16回 16回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	—音BMあり
原子炉補機冷却却系(冷却水系) [原子炉補機冷却却設備]	A原子炉補機冷却却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (弁・弁駆動部等含む)	高 B*	1F —	16回 —	原子炉補機冷却却系機能検査 —	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6M)
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ) 5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	— 52M 91M 26M 26M —	— 16回 — 16回 — 16回			
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ) 5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	— 52M 91M 26M 26M —	— 16回 — 16回 — 16回			
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ) 5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	— 52M 91M 26M 26M —	— 16回 — 16回 — 16回			
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ) 5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	— 52M 91M 26M 26M —	— 16回 — 16回 — 16回			

機器又は系統名 原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	実施数（機器名） C原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	点検及び試験の項目 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ) 5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	保全方程式 又は頻度 高 B*	保全方程式 又は頻度 高 B*	今回の実施計画 —	前回実施時期 (定検回次) 16回	検査名 1次系ポンプ機能検査	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術) B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6M)
D原子炉補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ) 5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高 B*	高 B*	—	16回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6M)
大容量ポンプ	3台	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高 1Y	高 1Y	—	—	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	アラート運転中又は施設定 檢停止中
格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	2台	1. 機能・性能試験	高 1F	高 1F	—	—	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	16回施設設定検時に設置
A原子炉補機冷却水サーバージャンク		1. 開放点検 1. 分解点検 1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高 130M	高 130M	—	10回 14回 16回 16回 16回	1次系真空破壊弁検査	16回施設設定検時に設置
B原子炉補機冷却水冷却器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高 13M	高 13M	○	16回 16回 16回	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査	有効性評価 No. 2 の反映

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却設1式」 その他の弁 備	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランドハウキン取替)	高・低 130M~195M	○ ○	15回 16回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却設1式」 その他の弁駆動部 その他機器	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高・低 65M~182M 13M~182M	○ ○	16回 16回	1次系弁検査 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却設1式」 その他のAM(代替補機冷却、格納容器自然 対流冷却)機器	1. 分解点検 2. 分解点検 3. 分解点検	高 65M~130M 13M~65M	○ ○	16回 16回		
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む) 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (グランドハウキン取替) (ポンプ)	高 52M 104M 13M	○ ○ ○	16回 16回 16回	原子炉補機冷却系機能検査 2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施
	海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (グランドハウキン取替) (ポンプ)	高 52M 104M 13M	○ ○ ○	16回 16回 16回	2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査	有効性評価 No. 3 の反映
	C海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (グランドハウキン取替) (ポンプ)	高 52M 104M 13M	○ ○ ○	16回 16回 16回	2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却海水設備」 その他の弁 水設備	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低 13M~63M	○ ○	16回 16回	2次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁駆動部 水設備	原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却海水設備」 その他の弁駆動部 水設備	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高 78M 13M~52M	○ ○ ○	16回 16回 16回	2次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他機器 水設備	原子炉冷却系統施設「原子炉補機冷却海水設備」 その他機器 水設備	1. 分解点検 2. 分解点検	高 13M~63M 低 13M~52M	○ ○	16回 16回		一部BMあり
格納容器サンプル水位上昇率測定装置及び 格納容器内液縮液量測定装置 〔原子炉格納容器内の第一次冷却材 の漏えいを監視する装置〕	伝送器 2個 設定器 5個	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	低 13M 1F	○ ○	16回 16回	格納容器サンプル水位上昇率 測定装置及び格納容器内液縮 液量測定装置偏い検出 器具機能検査	
炉内計装用シングル配管室ドレンピット 漏えい検出装置	検出器 2個	1. 機能・性能試験	高 1F	○	16回	格納容器サンプル水位上昇率 測定装置及び格納容器内液縮 液量測定装置偏い検出 器具機能�査	
A電動補助給水ポンプ・電動機 〔蒸気タービンの附属設備〕	補助給水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、原動 機、弁、駆動部等含 む) 1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他) 4. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高 52M 78M 26M 26M	— — — —	16回 16回 16回 16回	補助給水系機能検査 格納容器サンプル分解検査 (振動診断 : 3M)	16回施設検査時に改修
B電動補助給水ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他) 4. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高 52M 78M 26M 26M	— — — —	16回 14回 16回 16回	補助給水系ポンプ分解検査 (振動診断 : 3M)	
タービン動補助給水ポンプ・タービン		1. 機能・性能試験 (タービン) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ポンプ) 4. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高 B 52M 26M	— — — —	16回 16回 16回 16回	2次系ポンプ機能検査 補助給水系ポンプ分解検査 (振動診断 : 3M)	
				○	16回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕	3 復水ピット	1. 外観点検	高	1F	○	16回		
原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕 その他の中止	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラント・バッキン取替)	高 78M~260M 130M	B ○ ○	○ ○ ○	16回 16回 16回	2次系弁検査 2次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高	B 78M~182M 13M~182M	○ ○	16回 16回	2次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検地	高	13M~130M	○	16回		
計測制御系統施設 〔制御材〕	※ 1式	1. 外観点検	高	1F	○	16回	制御棒クラスタ検査	※ : 厚心設計による
2次中性子源	※ 1式	1. 外観点検	高	1F	○	16回	制御棒クラスタ検査	※ : 厚心設計による
シンブルブルグアセシブリ	※ 1式	1. 外観点検	高	1F	○	16回	制御棒クラスタ検査	※ : 厚心設計による
計測制御系統施設 〔制御棒駆動装置〕	53本	1. 機能・性能試験 2. 機能・性能試験	高 1F	○ ○	16回 16回	制御棒駆動系機能検査	※ : 厚心設計による	
A 制御棒駆動装置MGセット		1. 分解点検 2. 簡易点検 (潤滑油入替) (希電機)	高 52M	— 26M	— —	16回 16回	制御棒クラスター動作検査 (振動診断 : 3M)	
B 制御棒駆動装置MGセット		1. 分解点検 2. 簡易点検 (潤滑油入替) (希電機)	高 52M 26M	— ○	— 16回	16回 16回		(振動診断 : 3M)
計測制御系統施設 「制御棒駆動装置」 その他機器	1式	1. 分解点検地	高・低	13M~39M	○	16回		
A) ほう酸ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高 78M 52M 26M	B*	— — — —	16回 16回 16回 16回	ほう酸ポンプ機能検査 ほう酸ポンプ分解検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3M)
B) ほう酸ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高 78M 52M 26M	B*	○ ○ ○	15回 13回 15回 16回	ほう酸ポンプ機能検査 ほう酸ポンプ分解検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3M)

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
計測制御系統施設 〔ほう酸注入機能を有する設備〕	3 4 A 1 次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	B*	低	—	15回	1 次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機 (分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3M) 先行実施
3 4 B 1 次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	B*	低	—	15回	1 次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機 (分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3M) 先行実施	
A) ほう酸タンク	1. 開放点検	高	130M	○	8回	8回		
A) ほう酸タンク真空逃がし弁	1. 分解点検	高	130M	—	14回	1 次系真空破壊弁検査		
B) ほう酸タンク	1. 開放点検	高	130M	—	16回	1 次系真空破壊弁検査		
B) ほう酸タンク真空逃がし弁	1. 分解点検	高	130M	—	16回	1 次系真空破壊弁検査		
3 4 A 1 次系純水タンク	1. 開放点検	高	130M	—	13回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施	
3 4 A 1 次系純水タンクバキュームリーフ弁	1. 分解検査	高	130M	—	13回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施	
3 4 A 1 次系純水タンクアトモス弁	1. 分解検査	高	130M	—	13回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施	
3 4 B 1 次系純水タンク	1. 開放点検	高	130M	—	11回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施	
3 4 B 1 次系純水タンクバキュームリーフ弁	1. 分解検査	高	130M	—	11回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施	
3 4 B 1 次系純水タンクアトモス弁	1. 開放点検	高	130M	—	11回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施	
ほう酸フィルタ	1. 分解検査	高	130M	—	11回	1 次系真空破壊弁検査	先行実施	
計測制御系統施設 〔ほう酸注入機能を有する設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B	○	16回	1 次系真空破壊弁検査		
ATWS緩和設備	1式	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	高	13M	○	—	重大事故時安全停止回路機能検査	重大事故時安全停止回路機能検査
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕	2台	1. 機能・性能試験 (空気圧縮機、電動機等 含む)	高	1F	○	16回	制御用空気圧縮系機能検査	16回施設設定検時に設置
A 制御用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検 (圧縮機)	高	13M	○	16回			
B 制御用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検 (圧縮機) 2. 分解点検 (電動機)	高	13M	○	16回	(電動機 振動診断 : 6M)		
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕			5M	—	16回	(電動機 振動診断 : 6M)		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施 計画	前回実施時 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備設定期検時に設置
計測制御系統施設 「制御用空気設備」	代替制御用空気供給設備	1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	16回施設設備定期検査
計測制御系統施設 「制御用空気設備」	その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランドベック取替)	高・低	B 13M～195M 130M	○ ○ ○	16回 16回 16回	1次系弁検査 1次系弁検査 15回
計測制御系統施設 「制御用空気設備」	その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高	13M～182M 13M～182M	○ ○	16回 16回	1次系弁検査 有効性評価 No. 4 の反映
計測制御系統施設 「制御用空気設備」	その他の機器	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M～78M 13M	○ ○	16回 16回	16回
計測制御系統施設 「その他設備」	・原子炉保護系ロジック回路 ・安全防護系ロジック回路 ・パームミシシブロジック回路	28回路 25回路 6回路	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	安全保護系機能検査
原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔壁等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護继電器	6個	1. 特性試験	高・低	13M	○	16回	安全保護系設定值確認検査	
・1次冷却却材等計測装置 伝送器 ・核計測装置	76個 117個 20個							
重要な指示計器 ・1次冷却却材等計測装置 指示計 ・核計測装置 指示計	31個							
事故時監視計器 ・圧力監視計器 ・水位監視計器 ・流量監視計器 ・温度監視計器	2個 16個 8個 10個	1. 特性試験	高	13M	○	16回	プラント状態監視設備機能 検査	
事故時試料採取設備 格納容器緊急ガス試料採取設備	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	プラント状態監視設備機能 検査	
・制御棒制御系 ・加圧器水位制御系 ・加圧器圧力制御系 ・蒸気発生器水位制御系	1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	計測制御系機能検査	一部施設設備定期検査
1次系及び2次系計測制御装置	1式	1. 特性試験	高・低	13M	○	16回	計測制御系監視機能検査	一部施設設備定期検査
炉外核計測装置 ・中性子源領域検出器 ・中間領域検出器 ・出力領域検出器	2個 2個 8個	1. 特性試験	高	13M	○	16回	核計測装置設備検査	
炉内核計測装置 駆動装置	4台	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高 13M	1F 13M	○ ○	16回 16回	核計測装置設備検査 制御棒位置指示装置設定期検査	
制御棒位置指示装置		1. 特性試験	高	13M	○	16回	制御棒位置指示装置設定期検査	

機器又は系統名 計測制御系統施設 〔その他の設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	今回の頻度 又は頻度	前回実施時期 (定検回次)		検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
					今回実施 計画	前回実施 回次		
炉内計装用シングルチューブ 総合インターロック装置 ・原子炉トリップ信号 (ターIGIN、発電機トリップ) ・ターIGINトリップ信号 (原子炉、発電機トリップ) ・発電機トリップ信号 (原子炉、ターIGINトリップ)	58本 1式	1. 非破壊試験 1. 機能・性能試験	高 高	78M 1F	— ○	12回 16回	炉内計装用シングルチューブ 炉内計装用シングルチューブ 総合インターロック検査	( ) 内は適用する 設備診断技術)
中央制御室外の原子炉の停止制御回路 恒設代替低圧注水積算流量	24回路 1個	1. 機能・性能試験 1. 特性試験	高 高	1F 13M	○ ○	16回 16回	原子炉の停止制御回路健全 性確認検査 ブランク状態監視設備機能 検査	16回施設設定検時に設置
原子炉水位 AM用格納容器圧力	1個 1個	1. 特性試験 1. 特性試験 2. 特性試験 1. 特性試験	高 高 26M 13M	○ ○ ○ ○	— — — —	16回 16回	ブランク状態監視設備機能 検査 ブランク状態監視設備機能 検査 計測制御系監視機能検査 計測制御系監視機能検査	16回施設設定検時に設置 16回施設設定検時に設置 16回施設設定検時に設置 16回施設設定検時に設置
可搬型格納容器水素ガス濃度 原子炉補機冷却水サービスジャッキ加圧ライ ン圧力 格納容器スプレイ積算流量	2個 2個 1個	1. 特性試験 1. 特性試験 1. 特性試験 1. 機能・性能試験	高 高 高 高	13M 13M 13M 1F	○ ○ ○ ○	— — — —	計測制御系監視機能検査 ブランク状態監視設備機能 検査 ブランク状態監視設備機能 検査	16回施設設定検時に設置 16回施設設定検時に設置 16回施設設定検時に設置 16回施設設定検時に設置
原子炉格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位 アニュラス水素濃度	1対 1対 2個	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 1. 特性試験 1. 機能・性能試験	高 高 高 高	1F 1F 13M 1F	○ ○ ○ ○	— — — —	ブランク状態監視設備機能 検査 ブランク状態監視設備機能 検査 ブランク状態監視設備機能 検査	16回施設設定検時に設置 16回施設設定検時に設置 16回施設設定検時に設置 16回施設設定検時に設置
可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置 計測制御系統施設〔その他設備〕 その他の弁	2台 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランドハッキン取 替)	高・低 B 78M~260M 65M~130M	○ ○ ○	16回 16回 16回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	1次系弁検査 1次系弁検査 一部BMあり	16回施設設定検時に設置 16回施設設定検時に設置 16回施設設定検時に設置
計測制御系統施設〔その他設備〕 その他の機器 ガス圧縮装置	1式 2台	1. 特性試験 2. 特性試験 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検 (電動機)	高 低 低 13M~130M	○ ○ ○ ○	16回 16回 16回 16回	— — — —	— — — —	— — — —
ガスサークション入口弁 放射性廃棄物の処理施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理 設備】	4個	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高 1F CBM CBM	○ ○ — —	16回 13回 16回 16回	气体廃棄物処理系機能検査 先行実施	气体廃棄物処理系機能検査 (振動診断：12M) 先行実施	气体廃棄物処理系機能検査 先行実施
除湿装置・活性炭式希ガスホルダ装置 アブ装置	1基	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	低 1F 13M~130M	○ ○ ○	16回 16回 16回	— — —	— — —	— — —

機器又は系統名 放射性廃棄物の発生施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)	
							保全の重要度	先行実施
ほう霞回収装置	2基	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低 1F 13M~195M	○ ○	16回 16回	液体廃棄物処理系機能検査		
廃液蒸発装置	2基	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低 1F 13M~195M	○ ○	16回 16回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施	
膜分離活性汚泥処理装置	1基	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低 1F 13M~130M	○ ○	16回 16回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施	
3.4 A 除湿塔冷却送風機・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (送風機) 3. 分解点検	低 B* 260M 52M	○ — ○	16回 13回 16回	气体廃棄物処理系設備検査	B* : 送風機または電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施	
3.4 B 除湿塔冷却送風機・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (送風機) 3. 分解点検 (電動機)	低 B* 260M 52M	○ — ○	16回 13回 16回	气体廃棄物処理系設備検査	B* : 送風機または電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施	
3.4 C 除湿塔冷却送風機・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (送風機) 3. 分解点検 (電動機)	低 B* 260M 52M	○ — ○	16回 13回 16回	气体廃棄物処理系設備検査	B* : 送風機または電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施	
A 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低 B* 26M 52M 26M	○ — ○	16回 16回 16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施	
B 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低 B* 26M 52M 26M	○ — ○	16回 16回 16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施	

機器又は系統名 〔放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理 設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考	
								( ) 内は適用する 設備診断技術	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 12 M) 先行実施
3・4 A 廃液蒸留水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 12 M) 先行実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	16回			
		3. 分解点検 (電動機)		195M	—	16回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回			
3・4 B 廃液蒸留水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 12 M) 先行実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	15回			
		3. 分解点検 (電動機)		195M	—	15回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回			
3・4 A 廃液給水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 12 M) 先行実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	16回			
		3. 分解点検 (電動機)		195M	—	16回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	16回			
3・4 B 廃液給水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 12 M) 先行実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	15回			
		3. 分解点検 (電動機)		195M	—	15回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回			
A 格納容器サンプルポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	—	14回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 水中ポンプ	
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	14回			
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回			
B 格納容器サンプルポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 水中ポンプ	
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	15回			
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理 設備〕	3 4 A ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低 B*	— 195M — 195M — 26M	— 15回 — 15回 — 16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1.2M) 先行実施
3 4 B ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低 B*	— 195M — 195M — 26M	— 16回 — 16回 — ○	— 16回 — 16回 — 16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1.2M) 先行実施
A原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機)	低 B*	— 195M — 156M	— 15回 — 14回	— 15回 — 14回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1.2M) 先行実施
B原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機)	低 B*	— 195M — 156M	— 16回 — 16回	— 16回 — 14回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1.2M) 先行実施
3 4 A洗浄排水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低 B*	— 195M — 195M — 26M	— 16回 — 16回 — 16回	— 16回 — 16回 — 16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1.2M) 先行実施
3 4 B洗浄排水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	低 B*	— 195M — 195M — 26M	— 14回 — 15回 — ○	— 14回 — 15回 — 16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1.2M) 先行実施
3 4 強酸ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	低 B*	— 78M	— 15回	— 15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 キャンドボンプ

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	保全方式 重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理 設備〕	液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えいに係る警報機能	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	低 1M 1F	13M ○ ○	○ 16回 16回	液体廃棄物貯蔵設備・処理 設備の警報機能検査	先行実施	
液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能 (最終の流入サンプル)	1式	1. 機能・性能試験	低 1F	13M ○	○ 16回	液体廃棄物貯蔵設備・処理 設備の警報機能検査	先行実施	
雑固体焼却設備	1台	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低 1F	13M～130M ○	○ 16回 16回	固体廃棄物處理系焼却炉機 能検査	先行実施	
乾燥造粒装置	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低 1F	13M～156M ○	○ 16回 16回	乾燥造粒装置・セメントガ ラス固化装置機能検査	先行実施	有効性評価 No. 23 の反映
セメントガラス固化装置	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低 1F	13M～195M ○	○ 16回 16回	乾燥造粒装置・セメントガ ラス固化装置機能検査	先行実施	有効性評価 No. 22 の反映
放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又 は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	低 B	65M～130M ○	○ 16回 16回	1次系安全弁検査		
		3. 分解点検	高 65M～130M ○	104M～130M ○	○ 16回 16回	1次系逆止弁検査	一部BMあり	
		4. 簡易点検 (グランド・ハッキン取 替)		130M ○	○ 16回	1次系弁検査		
放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又 は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高・低 B 65M～130M ○	65M～130M ○	○ 16回 16回	1次系弁検査	一部BMあり	
放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又 は固体廃棄物処理設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	低 13M～130M ○	13M～130M ○	○ 16回 16回	1次系弁検査	一部BMあり	
放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又 は固体廃棄物処理設備〕 流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出置 置及び警報装置	1式	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	低 13M 1F	13M ○	○ 16回 16回	流体状の放射性廃棄物の漏 えいの検出装置及び警報裝 置機能検査	先行実施	
放射線管理用計測装置 〔放射線管理用計測装置〕	A格納容器内高レンジエリモニタ (低 レンジ) A格納容器内高レンジエリモニタ (高 レンジ) B格納容器内高レンジエリモニタ (低 レンジ) B格納容器内高レンジエリモニタ (高 レンジ) A排気筒ガスマニタ B排気筒ガスマニタ	1. 特性試験 1. 特性試験 1. 特性試験 1. 特性試験 1. 特性試験 2. 特性試験 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高 高 高 高 高 1F 13M 13M 13M 13M 1F 13M	13M ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ 16回 16回 16回 16回 16回 16回 16回 16回 16回 16回 16回	エリアモニタ機能検査 エリアモニタ機能検査 エリアモニタ機能検査 エリアモニタ機能検査 エリアモニタ機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	先行実施	
「原子炉格納容器本体外の廃棄物 貯蔵設備又は廃棄物処理設備から の液体状の放射性廃棄物の漏えい の検出装置又は自動警報装置」								

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)	
							保全方程式	検査回数
放射線管理設施 〔放射線管理用計測装置〕	廃棄物処理設備排水モニタ 34R-35	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
格納容器じんあいモニタ 3R-40	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
格納容器ガスモニタ 3R-41	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
復水器空気抽出器ガスマニタ 3R-43	1.機能・性能試験 2.特性試験	高	1F 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
建屋内漏えい検知ガスマニタ 蒸気発生器プローダウン水モニタ 3R-55	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1M 1F	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
原子炉補機冷却水モニタ 3R-56	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
補助蒸気復水モニタ 34R-57	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
ターイン建屋床ドレン集水モニタ 3R-58	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
A 密度型主蒸気管モニタ 3R-65	1.特性試験	高	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
B 密度型主蒸気管モニタ 3R-66	1.特性試験	高	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
C 密度型主蒸気管モニタ 3R-67	1.特性試験	高	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
D 密度型主蒸気管モニタ 3R-68	1.特性試験	高	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
冷却材連続モニタ 3R-70	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1M 1F	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
ほう酸蒸留水モニタ 34R-71	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
廃棄物処理設備排水モニタ 34R-72	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
雑固体旋流排ガスマニタ 34R-73	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
排气筒高レンジガスマニタ(低レンジ) 3R-80A	1.特性試験	高	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
排气筒高レンジガスマニタ(高レンジ) 3R-80B	1.特性試験	高	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
A 主蒸気管モニタ 3R-87	1.特性試験	高	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
B 主蒸気管モニタ 3R-88	1.特性試験	高	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
C 主蒸気管モニタ 3R-89	1.特性試験	高	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
D 主蒸気管モニタ 3R-90	1.特性試験	高	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
放水口水モニタ 34R-99	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
中央制御室エリアモニタ 34R-1	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1M 1M	○ ○	16回 16回	中央制御室非常用循環系機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
格納容器エアロック区域エアモニタ 3R-2	1.特性試験	低	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施
放射化学室エリアモニタ 34R-3	1.特性試験	低	1M 1M	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施	一部先行実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目		保全度 重要度	保全方式 又は頻度	今回実施 計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
		1.特性能試験	2.特性能試験						
A充てんポンプ室エリアモニタ	3R-4A	1.特性能試験	低	13M	○	○	16回	放射線監視装置機能検査	
B充てんポンプ室エリアモニタ	3R-4B	1.特性能試験	低	13M	○	○	16回	放射線監視装置機能検査	
C充てんポンプ室エリアモニタ	3R-4C	1.特性能試験	低	13M	○	○	16回	放射線監視装置機能検査	
便用着火料ビット区域エリアモニタ	3R-5	1.特性能試験	高	13M	○	○	16回	放射線監視装置機能検査	
燃料採取室エリアモニタ	3R-6	1.特性能試験	低	13M	○	○	16回	放射線監視装置機能検査	
炉内計装区域エリアモニタ	3R-7	1.特性能試験	低	13M	○	○	16回	放射線監視装置機能検査	
ドラム詰室エリアモニタ	3R-8	1.特性能試験	低	13M	○	○	16回	放射線監視装置機能検査	
1次系補機操作室エリアモニタ	3R-11	1.特性能試験	低	13M	○	○	16回	放射線監視装置機能検査	
雑固体固化処理エリアモニタ	3R-12	1.特性能試験	低	13M	○	○	16回	放射線監視装置機能検査	
緊急時対策所外可搬型エリアモニタ	2台	1.特性能試験	高	1Y	○	—	—	プラント運転中又は施設設定 停止中	
緊急時対策所内可搬型エリアモニタ	3台	1.特性能試験	高	1Y	○	—	—	16回施設設定検時に設置	
可搬式便用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	3台	1.特性能試験	高	13M	○	—	—	16回施設設定検時に設置	
モニタリングステーション	1式	1.特性能試験	低	13M	○	○	16回	放射線監視装置機能検査	1号機設備
モニタリングボスト	5台	1.特性能試験	低	13M	○	○	16回	野外モニタ機能検査	1号機設備
可搬式モニタリングボスト	17台	1.特性能試験	高	1Y	○	—	—	野外モニタ機能検査	1号機設備
放射線管理施設「放射線管理用計測装置」	1式	1.分解点検他	高	13M	○	○	16回	プラント運転中又は施設設定 停止中	
その他機器		2.分解点検他	低	13M	○	○	16回	16回施設設定検時に設置	
A中央制御室非常用循環系		1.機能・性能試験 (ファン、電動機、ダンパー、ダンパー等含む)	高	1F	○	○	16回	中央制御室非常用循環系機 能検査	
中央制御室非常用循環ファン・電動機		1.分解点検 (ファン)	高	9.1M	—	—	15回	(振動診断 : 3M)	
		2.分解点検 (電動機)		78M	—	—	14回		
B中央制御室非常用循環ファン・電動機		1.分解点検 (ファン)	高	9.1M	○	○	14回	(振動診断 : 3M)	
		2.分解点検 (電動機)		78M	○	○	13回		
中央制御室非常用循環フィルタユニット1系列		1.機能・性能試験 (よう素フィルタ)	高	1F	○	○	16回	中央制御室非常用循環系 フィルター性能検査	X* : 機能・性能試験結果 により適宜実施
		2.開放点検 (フィルタ取替)		X*	○	○	16回		
		3.機能・性能試験 (差圧確認)		1F	○	○	16回	1次換気空調設備検査	
		4.開放点検		260M	○	○	9回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
放射線管理設置 〔換気設備〕	A 格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F ○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)	B	—	8回		電動機分解時に分解点検を 実施
		3. 分解点検 (電動機)	130M	—	2回		電動機振動診断：12 M) 先行実施 有効性評価 No. 5 の反映
B 格納容器給氣ファン・電動機		1. 機能・性能試験	低	1F ○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)	B	—	7回		電動機分解時に分解点検を 実施
		3. 分解点検 (電動機)	130M	—	1回		電動機振動診断：12 M) 先行実施 有効性評価 N No. 5 の反映
A 格納容器排気ファン・電動機		1. 機能・性能試験	低	1F ○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)	130M	—	12回		電動機分解時に分解点検を 実施
		3. 分解点検 (電動機)	130M	—	2回		電動機振動診断：12 M) 先行実施 有効性評価 No. 5 の反映
B 格納容器排気ファン・電動機		1. 機能・性能試験	低	1F ○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)	130M	○	11回		電動機分解時に分解点検を 実施
		3. 分解点検 (電動機)	130M	○	1回		電動機振動診断：12 M) 先行実施 有効性評価 No. 5 の反映
A 格納容器再循環ファン・電動機		1. 機能・性能試験	高	1F ○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)	130M	—	16回		電動機分解時に分解点検を 実施
		3. 分解点検 (電動機)	65M	—	16回		電動機振動診断：12 M) 先行実施 有効性評価 No. 5 の反映
B 格納容器再循環ファン・電動機		1. 機能・性能試験	高	1F ○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)	130M	—	14回		電動機分解時に分解点検を 実施
		3. 分解点検 (電動機)	65M	—	14回		電動機振動診断：12 M) 先行実施 有効性評価 No. 5 の反映
C 格納容器再循環ファン・電動機		1. 機能・性能試験	高	1F ○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)	130M	○	9回		電動機分解時に分解点検を 実施
		3. 分解点検 (電動機)	65M	○	12回		電動機振動診断：12 M) 先行実施 有効性評価 No. 5 の反映
D 格納容器再循環ファン・電動機		1. 機能・性能試験	高	1F ○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)	130M	—	13回		電動機分解時に分解点検を 実施
		3. 分解点検 (電動機)	65M	—	13回		電動機振動診断：12 M) 先行実施 有効性評価 No. 5 の反映

機器又は系統名 放射線管理施設 〔換気設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
A 格納容器空気淨化ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	低 1F 130M	○ —	16回 13回	1次系換気空調設備検査	
B 格納容器空気淨化ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	低 1F 130M	○ —	16回 13回	1次系換気空調設備検査	
A 中央制御室循環ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 78M	○ ○	16回 14回	1次系換気空調設備検査	
B 中央制御室循環ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 78M	○ —	16回 16回	1次系換気空調設備検査	
A 中央制御室空調ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 91M	○ —	16回 15回	1次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断 : 6 )(電動機 振動診断 : 2 No. 5 の反映 有効性評価 No. 5 の反映)
B 中央制御室空調ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 91M	○ —	16回 14回	1次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断 : 6 )(電動機 振動診断 : 2 No. 5 の反映 有効性評価 No. 5 の反映)
3.4 A 放射線管理室給気ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	低 1F 130M	○ ○	16回 11回	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1.2 M) 先行実施
3.4 B 放射線管理室給気ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	低 1F 130M	○ —	16回 12回	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1.2 M) 先行実施
					2回		有効性評価 No. 5 の反映

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施工 計画	前回実施工 時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術
放射線管理室排気ファン・電動機 [換気設備]	3 4 A 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	1F 130M 130M	○ — —	16回 12回 12回	1次系換気空調設備検査	(振動診断 : 1 2 M) 先行実施	
3 4 B 放射線管理室排気ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	低 1F 130M	○ — —	16回 12回 12回	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施	
A補助建屋給気ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 130M	○ — —	16回 12回 12回	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施	
B補助建屋給気ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 130M	○ — —	16回 8回 8回	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施	
C補助建屋給気ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 130M	○ — —	16回 11回 4回	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施	
A補助建屋排気ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 130M	○ — —	16回 13回 13回	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施	
B補助建屋排気ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 130M	○ — —	16回 12回 8回	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施	
C補助建屋排気ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 130M	○ — —	16回 11回 4回	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施	
3 4 ベイラ排気ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	低 1F 104M	○ — —	16回 12回 12回	1次系換気空調設備検査	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施	

機器又は系統名 放射線管理施設 〔換気設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
3 4 ホット工作室排氣ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	低 1F B 156M	○ — —	16回 14回 14回	1次系換気空調設備検査	先行実施 電動機分解時に分解点検を 実施
A 安全補機室冷却ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 104M 104M	○ — —	16回 10回 10回	1次系換気空調設備検査	(電動機 振動診断 : 3 M)
B 安全補機室冷却ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 104M 104M	○ — —	16回 10回 10回	1次系換気空調設備検査	(電動機 振動診断 : 3 M)
A'ほう酸ボンブ室空調ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 78M 78M	○ — —	16回 14回 14回	1次系換気空調設備検査	
B'ほう酸ボンブ室空調ファン・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) 3. 分解点検 (電動機)	高 1F 78M 78M	○ — —	16回 15回 15回	1次系換気空調設備検査	
緊急時対策所可搬型空気浄化ファン	4台	1. 機能・性能試験	高 1F	○	—	可搬型換気空調設備検査	16回施設設定検時に設置
緊急時対策所可搬型空気浄化フィルタユニット	1台	1. 機能・性能試験 (よう 素フィルタ性能検査)	高 1F	○	—	可搬型換気空調設備検査	16回施設設定検時に設置
A 格納容器排氣フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低 1F BM	○ —	16回 8回	1次系換気空調設備検査	先行実施
B 格納容器排氣フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低 1F BM	○	16回 9回	1次系換気空調設備検査	先行実施
格納容器排氣フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低 1F BM	○	16回 9回	1次系換気空調設備検査	先行実施
3 4 出入管理室排氣フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高 1F BM	— ○	16回 9回	1次系換気空調設備検査	先行実施
A補助建屋排氣フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高 52M 1F	○	16回 15回	1次系換気空調設備検査	先行実施
B補助建屋排氣フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高 52M —	○	16回 15回	1次系換気空調設備検査	先行実施

機器又は系統名 放射線管理施設 〔換気設備〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)		
								先行実施		
3 4 ベイラ排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	先行実施	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	先行実施	
	2. 開放点検	BM	—	9回	○	16回				
3 4 ホット工作室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	先行実施	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	先行実施	
	2. 開放点検	BM	—	9回	○	16回				
3 4 試料採取室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	先行実施	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	先行実施	
	2. 開放点検	BM	—	9回	○	16回				
A 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	16回	○	先行実施	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	先行実施	
	2. 開放点検	52M	—	16回	○	16回				
B 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	16回	○	先行実施	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	先行実施	
	2. 開放点検	52M	—	16回	○	16回				
A 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	16回	○	先行実施	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	先行実施	
	2. 開放点検	52M	—	16回	○	16回				
B 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	16回	○	先行実施	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	先行実施	
	2. 開放点検	52M	—	16回	○	16回				
3 4 放射線管理室給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	16回	○	先行実施	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	先行実施	
	2. 開放点検	52M	—	16回	○	16回				
A 相助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	16回	○	先行実施	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	先行実施	
	2. 開放点検	52M	—	16回	○	16回				
B 相助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	16回	○	先行実施	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	先行実施	
	2. 開放点検	52M	—	16回	○	16回				
A 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	52M	—	16回	○	16回	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	
	2. 開放点検	52M	—	16回	○	16回				
B 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	52M	—	16回	○	13回	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	
	2. 開放点検	52M	—	15回	○	15回				
A 格納容器冷却ユニット	1. 開放点検	52M	—	16回	○	16回	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	
	2. 分解点検	65M	—	16回	○	16回				
B 格納容器冷却ユニット	1. 分解点検	52M～156M	—	16回	○	16回	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	
	2. 簡易点検 (特性点検)	13M～55M	—	16回	○	16回				
自動ダンパー駆動部	1式	高・低 (駆動部を含む)	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	一部先行実施		○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	
	2. 分解点検						一部先行実施			
自動ダンパー駆動部	1式	高・低 (特性点検)	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	一部先行実施		○ 内は適用する 備考 設備診断技術)	
	2. 簡易点検						一部先行実施			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	放射線管理施設 [換気設備] その他の中の弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (グランドバッキン取替)	高・低 B 130M 130M	○ ○ ○	15回 16回 16回	1次系安全弁検査 1次系弁検査	一部先行実施
放射線管理施設「換気設備」 その他の弁駆動部	放射線管理施設「換気設備」 その他の機器	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (特性点検)	高・低 B 52M~182M 13M~182M	○ ○ ○	16回 16回 16回	1次系弁検査	一部先行実施 有効性評価 No. 12 の反映
放射線管理施設「換気設備」 その他の機器	放射線管理施設「換気設備」 その他の機器	1式	1.分解点検地 2.分解点検地 3.簡易点検 (潤滑油入替)	高 低 13M~130M 13M~10AM	○ ○ ○	16回 16回 16回	1次系弁検査	一部先行実施 有効性評価 No. 6, 7, 8, 9, 13 の反映
放射線管理施設 [生体遮蔽装置]	中央制御室	1式	1.漏えい試験	高 Y	—	16回	中央制御室の居住性確認検査	16回施設設定検から実施
緊急時対策所	緊急時対策所	1式	1.機能・性能試験	高 1F	○	16回	緊急時対策所の居住性確認検査	16回施設設定検から実施
放射線管理施設 可搬型気象観測装置	可搬型気象観測装置	1式	1.特性試験	高 Y	○	—	—	プラント運転中又は施設設定検停止中
気象観測装置	気象観測装置	1式	1.特性試験	低 Y	○	16回	計測制御系監視機能検査	16回施設設定検時に設置
原子炉格納容器 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器	1.漏えい率試験	高 3F	—	16回	原子炉格納容器全体漏えい率検査	1号機設備 (16回定検において設計圧力により実施)	
アレストレストコングリート格納容器 [その他設備]	アレストレストコングリート格納容器	1.機能・性能試験 2.外観点検	高 5Y 5Y	— —	16回 16回	アレストレストコングリート格納容器供用期間中検査	10年に1回は設計圧力にて 1号機設備 (16回定検において設計圧力により実施)	
エアロック	通常用 1個	1.漏えい率試験 2.分解点検 3.簡易点検 (潤滑油補給他)	高 2/3F 52M 26M	○ — ○	15回 15回 16回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	—	
非常用 1個	1.漏えい率試験 2.分解点検 3.簡易点検 (潤滑油補給他)	高 2/3F 52M 26M	○ — ○	15回 14回 16回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	—		
機器搬入口	1個	1.漏えい率試験 2.開放点検 3.非破壊試験	高 2/3F 13M 10Y	○ ○ —	15回 16回 15回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	ISIプログラムによる。 [別紙一6]	

機器又は系統名 〔原子炉格納施設設備 原子炉格納容器〕	実施数（機器名） 配管貫通部（貫通配管止アランジ部）6個	点検及び試験の項目 1.漏えい率試験 2.開放点検	保全方程式 又は頻度 高 2/3F 開放の節度 ○	今回の実施計画 ○	前回実施時期 (定検回次) 15回	検査名 原子炉格納容器局部漏えい 率検査	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)	
							高 2/3F 開放の節度 ○	16回
電線貫通部	41個	1.漏えい率試験	高 2/3F 開放の節度 ○	○	15回	原子炉格納容器局部漏えい 率検査		
原子炉格納容器隔離弁	45個	1.漏えい率試験	高 2/3F 開放の節度 ○	○	15回	原子炉格納容器局部漏えい 率検査		
原子炉格納容器隔離(T・V1信号及びT+UV信号)により隔離される弁	62個	1.機能・性能試験 (駆動部等含む)	高 1F 1F ○	○	16回	原子炉格納容器隔離弁機能 検査		
原子炉格納容器隔離(P・V1信号)により隔離される弁	16個	1.機能・性能試験 (駆動部等含む)	高 1F 1F ○	○	16回	原子炉格納容器隔離弁機能 検査		
原子炉格納容器隔離弁	3V-CS-004A	1.分解点検	高 52M —	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-CS-004B	1.分解点検	高 52M —	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-CS-004C	1.分解点検	高 52M ○	○	16回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-WL-042	1.分解点検	高 13M ○	○	16回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-WL-043	1.分解点検	高 104M ○	○	15回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-WL-143	1.分解点検	高 104M ○	○	12回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-WL-144	1.分解点検	高 104M ○	○	12回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-DP-001A	1.分解点検	高 130M ○	○	7回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-DP-001B	1.分解点検	高 130M —	—	8回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-DP-002A	1.分解点検	高 130M —	—	10回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-DP-002B	1.分解点検	高 130M —	—	10回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-CS-007	1.分解点検	高 130M —	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-CS-310	1.分解点検	高 130M —	—	12回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		
	3V-CS-312	1.分解点検	高 130M —	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)	
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	原子炉格納容器隔離弁	3V-CC-342 3V-CC-365 3V-CC-401 3V-CC-403 3V-CC-427 3V-CC-429 3V-IA-508A 3V-IA-508B	1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検	高 高 高 高 高 高 高 高	130M 130M 130M 130M 130M 130M 130M 130M	— — — — ○ — — —	16回 16回 16回 10回 9回 16回 10回 10回	原子炉格納容器隔離弁分解 検査 原子炉格納容器隔離弁分解 検査 原子炉格納容器隔離弁分解 検査 原子炉格納容器隔離弁分解 検査 原子炉格納容器隔離弁分解 検査 原子炉格納容器隔離弁分解 検査 原子炉格納容器隔離弁分解 検査 原子炉格納容器隔離弁分解 検査
原子炉格納容器隔離弁駆動部 その他の弁	式	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高 高・低 高	52M～182M 13M～182M B	○ ○ ○	16回 16回 16回		
原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他の弁	式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検 4. 簡易点検 (グランドハッキン取替)	高・低 高 高 高・低	78M～260M 26/39M* 52M～130M B	○ ○ ○ ○	16回 16回 15回 16回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	
原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他の弁駆動部	式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高 高 高	65M～182M 13M～182M 13M～104M	○ ○ ○	16回 16回 16回	*原子炉格納容器局部漏えい率検査の実施時期にあわせて実施	
原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他機器	式	1. 分解点検 2. 分解点検	高 低	13M～52M	○	16回		



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子炉格納施設設備 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	A 格納容器スプレイ冷却器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高 130M —	130M —	—	10回	1次系熱交換器検査	
	B 格納容器スプレイ冷却器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高 130M —	130M —	—	10回	1次系熱交換器検査	
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁 3V-CP-024A	1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検	高 78M —	78M —	—	9回	1次系熱交換器検査	
原子炉格納容器スプレイ系主要弁 3V-CP-024B	3V-CP-024B	1.分解点検	高 —	—	—	11回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	11回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
	3V-CP-054A	1.分解点検	高 —	130M —	—	12回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	12回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
	3V-CP-054B	1.分解点検	高 —	130M —	—	13回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	13回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
	式	1.分解点検 2.簡易点検 (特性点検)	高 182M 13M～182M	182M —	—	14回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	14回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
よう素除去薬品タンク		1.開放点検	高 —	130M —	—	10回		
よう素除去薬品タンク真空逃がし弁 2台		1.分解点検 1.機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、ダンパ駆動部等含む)	高 1F —	130M —	—	10回	1次系真空破壊弁検査	
アニユラス空気浄化系		1.分解点検 (ファン) 2.分解点検 (電動機)	高 —	130M —	—	16回	アニユラス循環排気系機能検査	
Aアニユラス空気浄化ファン・電動機		1.分解点検 (ファン) 2.分解点検 (電動機)	高 B —	—	—	8回		電動機分解時に実施
Bアニユラス空気浄化ファン・電動機		1.分解点検 (ファン) 2.分解点検 (電動機)	高 B —	130M —	—	8回		(電動機 振動診断： 1M) 有効性評価 No. 5 の反映
A, Bアニユラス空気浄化フィルタユニット		1.機能・性能試験 (よう素フィルタ) 2.開放点検 (フィルタ取替)	高 1F —	1F —	—	16回	アニユラス循環排気系フィルター性能検査	電動機分解時に実施
Aアニユラス空気浄化フィルタユニット		1.機能・性能試験 (差圧確認) 2.開放点検	高 —	—	—	14回	アニユラス循環排気系フィルター性能検査	有効性評価 No. 5 の反映
Bアニユラス空気浄化フィルタユニット		1.機能・性能試験 (差圧確認) 2.開放点検	高 —	260M —	—	16回	1次系換気空調設備検査	A系、B系交互に実施
			260M —	—	—	13回		X* : 機能・性能試験結果により適宜実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 設備診断技術)	
								備考	
原子炉格納施設その他の安全設備 [圧力低減設備]	可燃性ガス濃度制御系主要弁 3V-VS-102A 3V-VS-102B	1. 分解点検	高	6M	—	16回	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査は、16回施設定 檢から設定	
	3V-VS-103A 3V-VS-103B	1. 分解点検	高	6M	—	16回	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査は、16回施設定 檢から設定	
静的触媒式水素再結合装置	6個	1. 分解点検	高	6M	—	16回	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要 弁分解検査は、16回施設定 檢から設定	
		1. 機能・性能試験 2. 外観点検 (触媒ブレーパー)	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合 装置機能検査	原子炉格納容器水素再結合 装置機能検査	16回施設定檢時に設置
原子炉格納容器水素燃焼装置	14個	1. 外観点検 (本体) 2. 絶縁抵抗測定 3. 抵抗測定 4. 機能・性能試験 (シーケンス試験)	高	1F	○	—	—	—	16回施設定檢時に設置
		1. 特性試験	高	1F	○	—	—	—	16回施設定檢時に設置
静的触媒式水素再結合装置 温度監視装置		1. 特性試験	高	13M	○	—	—	—	16回施設定檢時に設置
原子炉格納容器水素燃焼装置 温度監視装置		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランドペッキン取替)	高・低	B	○	16回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	計測制御系監視機能検査	16回施設定檢時に設置
原子炉格納施設 [圧力低減設備] その他の1式 安全設備				10.4M～13.0M	○	16回			
その他の弁				7.8M～13.0M	○	16回			
原子炉格納施設 [圧力低減設備] その他の1式 安全設備		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高	B	—	15回	1次系弁検査	1次系弁検査	16回施設定檢時に設置
原子炉格納施設 [圧力低減設備] その他の1式 安全設備		1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	高	10F	—	13回			
その他AM 格納容器器内注水) 機器	1式	1. 分解点検他	高	130M	—	16回			
			高	130M	—	14回	1次系逆止弁検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子力設備 〔その他設備〕	クラス1機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高 10Y 1F	○ ○	16回 16回	クラス1機器供用期間中検査 クラス1機器供用期間中検査
クラス2機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高 10Y 10Y	○ ○	16回 16回	クラス2機器供用期間中検査 クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-1]
クラス3機器 (供用期間中検査対象)	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高 10Y 10Y	○ ○	16回 16回	クラス3機器供用期間中検査 クラス3機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-2]
クラス1機器Ni基合金使用部位 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1. 非破壊試験	高 5Y	○	16回	クラス3機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-3]
クラス2管 (原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1. 非破壊試験	高 25%/10Y	○	16回	供用期間中特別検査のうち クラス1機器Ni基合金使用 部位特別検査	ISIプログラムによる。 [別紙-4]
重大事故等クラス2機器	1式	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高 5~10Y 10Y	○ ○	16回 16回	供用期間中特別検査のうち クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-5]
重大事故等クラス3機器	1式	1. 漏えい試験	高 10Y	—	—	重大事故等クラス2機器供用期間中検査 重大事故等クラス3機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-6]
クラス3・クラス4の配管等	1式	1. 外観点検	高 100%/10Y	○	16回	構造健全性検査	ISIプログラムによる。 [別紙-7]
RCPBのベント・ドレン弁シート部	1式	1. 漏えい試験	高 13M 1F	○ ○	16回 16回	構造健全性検査	ISIプログラムによる。 [別紙-8]
1次冷却材管ホイップレストレイント	84箇所	1. 外観点検	高 1F	○	16回	構造健全性検査	ISIプログラムによる。 [別紙-9]
主蒸気配管ホイップレストレイント	4箇所	1. 外観点検	高 1F	○	16回	構造健全性検査	ISIプログラムによる。 [別紙-10]
主給水配管ホイップレストレイント	10箇所	1. 外観点検	高 1F	○	16回	レストレイント検査	ISIプログラムによる。 [別紙-11]
原子力設備「その他設備」 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 密閉性点検 (グランドハッキン取替)	高・低 65M~260M 78M~130M	○ ○	16回 16回	レストレイント検査 1次系弁検査	ISIプログラムによる。 [別紙-12]
原子力設備「その他設備」 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 密閉性点検	高・低 65M~130M 13M~130M	○ ○	16回 16回	1次系弁検査	ISIプログラムによる。 [別紙-13]
原子力設備「その他設備」 その他の機器	1式	1. 分解点検 2. 分解点検	高 13M~130M 13M~130M	○ ○	16回 16回	1次系弁検査	ISIプログラムによる。 [別紙-14]
原子力設備「その他設備」 耐震クーピング設備	1式	1. 外観点検	高 100%/10Y	○	16回	耐震健全性検査	ISIプログラムによる。 [別紙-15]
〔その他設備〕							中検査対象機器を除く

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術	
							定期検査時に蒸気タービン 取替実施	15回定期検査時に蒸気タービン 取替実施
蒸気タービン 〔車室、円板、隔壁、噴口、翼、 車軸〕	高圧タービン	1.開放点検	高	26M	—	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
		2.組立状況点検		26M	—	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
		3.簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	16回		
第1低圧タービン		1.開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
		2.外観点検		2F	—	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
		3.簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	16回		
第2低圧タービン		1.開放点検	高	26M	—	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
		2.外観点検		2F	○	14回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
		3.簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	16回		
第3低圧タービン		1.開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
		2.外観点検		2F	—	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
		3.簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M	○	16回		
ロータアライメント		1.組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
		1.外観点検	高	1F	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
		2.組立状況点検		B	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
調速装置および非常用調速装置		1.組立状況点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
1 主蒸気止め弁	MSV-1	1.開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
2 主蒸気止め弁	MSV-2	1.開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
3 主蒸気止め弁	MSV-3	1.開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
4 主蒸気止め弁	MSV-4	1.開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
1 蒸気加減弁	G0V-1	1.開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
2 蒸気加減弁	G0V-2	2.組立状況点検		B	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
3 蒸気加減弁	G0V-3	1.開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
4 蒸気加減弁	G0V-4	2.組立状況点検		B	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
A 1 再熱蒸気止弁	A1-RSV	1.開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
A 2 再熱蒸気止弁	A2-RSV	1.開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
A 3 再熱蒸気止弁	A3-RSV	1.開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
B 1 再熱蒸気止弁	B1-RSV	1.開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
B 2 再熱蒸気止弁	B2-RSV	1.開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査
B 3 再熱蒸気止弁	B3-RSV	1.開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査	蒸気タービン開放検査

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目			保全の重要度	保全方式又は頻度	今回実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術
		点検	試験	点検						
蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並び に制御装置で制御される主要弁〕	A 1 インターセプト弁 A 2 インターセプト弁 A 3 インターセプト弁 B 1 インターセプト弁 B 2 インターセプト弁 B 3 インターセプト弁	A1-ICV A2-ICV A3-ICV B1-ICV B2-ICV B3-ICV	1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検	高 高 高 高 高 高	26M 26M 26M 26M 26M 26M	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	16回 16回 16回 16回 16回 16回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
復水・循環水系 〔復水器〕	復水器 復水器 1 A	復水器 復水器 1 A	1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検	高 高 高 高 高 高	13M 78M 78M 78M 1F ○	○ — — — ○ ○	○ — — — ○ ○	16回 16回 16回 16回 16回 16回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン附属設備機能 検査	
復水器 復水器 2 A	復水器 復水器 2 A	復水器 復水器 2 A	1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検	高 高 高 高 高 高	78M 78M 78M 78M 78M 78M	— — — — — —	— — — — — —	16回 16回 16回 16回 16回 16回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
復水器 復水器 3 A	復水器 復水器 3 A	復水器 復水器 3 A	1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検	高 高 高 高 高 高	78M 78M 78M 78M 78M 78M	— — — — — —	— — — — — —	16回 16回 16回 16回 16回 16回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
復水器 復水器 1 B	復水器 復水器 1 B	復水器 復水器 1 B	1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検	高 高 高 高 高 高	78M 78M 78M 78M 78M 78M	○ — — — — —	○ — — — — —	13回 13回 13回 13回 13回 13回	蒸気タービン 〔復水器〕	
復水器 復水器 2 B	復水器 復水器 2 B	復水器 復水器 2 B	1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検	高 高 高 高 高 高	78M 78M 78M 78M 78M 78M	— — — — — —	— — — — — —	14回 14回 14回 14回 14回 14回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
復水器 復水器 3 B	復水器 復水器 3 B	復水器 復水器 3 B	1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検 1.開放点検	高 高 高 高 高 高	78M 78M 78M 78M 78M 78M	— — — — — —	— — — — — —	15回 15回 15回 15回 15回 15回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
A 循環水ポンプ・電動機			1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.簡易点検 1.簡易点検 1.簡易点検	高 高 高 26M 52M 52M	— — — — ○ ○	— — — — ○ ○	— — — — ○ ○	16回 16回 16回 16回 16回 16回		
B 循環水ポンプ・電動機			2.分解点検 2.分解点検 2.分解点検 (電動機) (電動機)	65M 26M	○ ○ ○	— — —	— — —	16回 16回 16回		
			3.簡易点検 (翼油導入装置点検) (翼油導入装置点検)							

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施時期		検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術) (振動診断: 6M)
					計画	前回実施回次		
蒸気タービン [復水器]	A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)	高	52M ○	13回	—		
	B 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)	高	52M —	15回	—		
A 復水ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)	高	78M —	16回	—		
		1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)	高	78M —	14回	—		
B 復水ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)	高	39M ○	16回	—		
		1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)	高	39M ○	13回	—		
C 復水ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)	高	78M —	16回	—		
		1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機)	高	39M —	14回	—		
蒸気タービン [復水器] その他機器	式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高	13M~260M ○	16回	—		
		1. 分解点検他 2. 分解点検他	低	13M~130M ○	16回	—		一部BMあり
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	A 混分分離加熱器(胴側)	1.開放点検	高	26M ○	15回	蒸気タービン開放検査		
	A 混分分離加熱器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	130M —	15回	蒸気タービン開放検査		
B 混分分離加熱器(胴側)		1.開放点検	高	26M —	16回	蒸気タービン開放検査		
	B 混分分離加熱器	1.開放点検 2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	130M —	14回	蒸気タービン開放検査		
A 第 1 低圧給水加熱器		1.開放点検	高	65M —	14回	2 次系熱交換器検査		
		2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	130M —	10回	—		
B 第 1 低圧給水加熱器		1.開放点検	高	65M —	15回	—		
		2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	65M —	16回	2 次系熱交換器検査		
C 第 1 低圧給水加熱器		1.開放点検	高	65M ○	12回	2 次系熱交換器検査		
		2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	130M —	12回	—		
A 第 2 低圧給水加熱器		1.開放点検	高	65M —	12回	2 次系熱交換器検査		
		2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	130M —	15回	—		
B 第 2 低圧給水加熱器		1.開放点検	高	65M —	16回	2 次系熱交換器検査		
		2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	65M —	16回	—		
C 第 2 低圧給水加熱器		1.開放点検	高	65M ○	12回	2 次系熱交換器検査		
		2.非破壊試験 3.漏えい試験	高	130M ○	10回	—		

機器又は系統名 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換 器〕	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目			保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)
		開放点検	非破壊試験	漏えい試験						
A第3 低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	—	13回	—	13回	2次系熱交換器検査		
	2.非破壊試験		130M	—						
	3.漏えい試験		65M	—	13回					
B第3 低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	—	14回	—	14回	2次系熱交換器検査		
	2.非破壊試験		130M	—						
	3.漏えい試験		65M	—	14回					
A第4 低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	—	13回	—	13回	2次系熱交換器検査		
	2.非破壊試験		130M	—						
	3.漏えい試験		65M	—	13回					
B第4 低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	—	14回	—	14回	2次系熱交換器検査		
	2.非破壊試験		130M	—						
	3.漏えい試験		65M	—	14回					
A第5 低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	—	15回	—	15回	2次系熱交換器検査		
	2.非破壊試験		130M	—						
	3.漏えい試験		65M	—	15回					
B第5 低圧給水加熱器	1.開放点検	高	65M	—	16回	—	16回	2次系熱交換器検査		
	2.非破壊試験		130M	—						
	3.漏えい試験		65M	—	16回					
脱気器タンク	1.開放点検	高	39M	○	14回	—	14回	2次系容器検査		
	2.非破壊試験		39M	—						
	3.漏えい試験		39M	○	14回					
A脱気器	1.開放点検	高	39M	—	16回	—	16回	2次系容器検査		
	2.非破壊試験		39M	○						
	3.漏えい試験		39M	○	14回					
B脱気器	1.開放点検	高	130M	—	12回	—	12回	2次系熱交換器検査		
	2.非破壊試験		130M	—						
	3.漏えい試験		130M	—	12回					
A第7 高圧給水加熱器	1.開放点検	高	130M	—	13回	—	13回	2次系熱交換器検査		
	2.非破壊試験		130M	—						
	3.漏えい試験		130M	—	13回					
B第7 高圧給水加熱器	1.開放点検	高	130M	—	13回	—	13回	2次系熱交換器検査		
	2.非破壊試験		130M	—						
	3.漏えい試験		130M	—	13回					
グランド蒸気復水器	1.開放点検	高	65M	○	12回	—	12回	2次系熱交換器検査		
	2.非破壊試験		130M	○						
	3.漏えい試験		65M	○	10回					
給水、復水系	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	16回	—	16回	蒸気タービン附属設備機能 検査		
	2.分解点検 (ポンプ)									
	3.分解点検 (ポンプ)									
Aタービン動主給水ポンプ・タービン 蒸気タービンに附属する給水設備並びに給水処理 設備	1.機能・性能試験 (タービン)	高	B	○	13回	—	13回	2次系ポンプ機能検査		
	2.分解点検 (ポンプ)									
	3.分解点検 (タービン)									
Aタービン動主給水ポンプ・タービン・電動機	1.分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	—					
	2.分解点検 (電動機)		78M	—						
	3.簡易点検 (ポンプ)		13M	○	16回					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ボンブ・電動機等の水設備並びに給水處理設備〕	B タービン動主給水ボンブ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン) 2. 分解点検 (ボンブ) 3. 分解点検 (タービン)	高 B 52M 52M	— — —	16回 16回 16回	2 次系ボンブ機能検査 2 次系ボンブ分解検査	
	B タービン動主給水ボンブ・スタータボンブ・電動機	1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ボンブ)	高 52M 78M 13M	○ ○ ○	16回 14回 16回		
	電動主給水ボンブ・電動機	1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ボンブ)	高 52M 52M 130M	— — —	16回 16回 16回	2 次系ボンブ分解検査	
電動主給水ボンブ・電動機	B タービン動主給水ボンブ・電動機	1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ボンブ)	高 78M 78M 78M	— — —	16回 15回 16回	2 次系ボンブ分解検査	
	A 復水ボースタボンブ・電動機	1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ボンブ)	高 78M 78M 78M	○ ○ ○	13回 13回 13回		
	B 復水ボースタボンブ・電動機	1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ボンブ)	高 78M 78M 78M	— — —	14回 14回 14回		
C 復水ボースタボンブ・電動機	C 復水ボースタボンブ・電動機	1. 分解点検 (ボンブ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ボンブ)	高 78M 78M 13M	— — ○	15回 15回 16回		
	3 A 復水ろ過器	1. 開放点検	高 65M	—	13回	2 次系容器検査	有効性評価 No. 24 の反映
	3 B 復水ろ過器	1. 開放点検	高 65M	○	13回	2 次系容器検査	有効性評価 No. 24 の反映
3 A 復水脱塩塔	3 A 復水脱塩塔	1. 開放点検	高 130M	—	16回	2 次系容器検査	
	3 B 復水脱塩塔	1. 開放点検	高 130M	○	7回	2 次系容器検査	
	3 C 復水脱塩塔	1. 開放点検	高 130M	—	8回	2 次系容器検査	
3 D 復水脱塩塔	3 D 復水脱塩塔	1. 開放点検	高 130M	—	9回	2 次系容器検査	
	3 E 復水脱塩塔	1. 開放点検	高 130M	—	15回	2 次系容器検査	
	3 F 復水脱塩塔	1. 開放点検	高 130M	—	10回	2 次系容器検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ボンブ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	蒸気タービン〔蒸気タービンに附属する給水ボンブ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	1.3M～1.56M 1.3M～1.30M	○ ○	16回 16回	一部BMあり
その他機器	その他機器 (主蒸気系統・抽氣系統・下流水系)	1. 開放点検 2. 非破壊試験	高 肉厚管理指針による	1.3M 10V	○ ○	16回 16回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	2次系配管等* (上記「蒸気タービン主な配管」以外の主蒸気系統・給水系統・抽氣系統・ドレン系統・復水系統・他の系統) *: 配管のほか、タービン、ポンプ、熱交換器、弁等を含む	1. 外観点検* 2. 非破壊試験	高・低 肉厚管理指針による	10V ○	○ ○	16回 16回	次系配管検査 次系配管検査
蒸気タービン	蒸気タービン及び附属設備 〔その他設備〕	1. 保安装置点検 2. 負荷点検	高 IF	IF	○	16回	蒸気タービン性能検査
蒸気タービン [その他設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検 4. 簡易点検 (グラントハッシュキン取替)	高・低 高 低 高・低	13M～2.60M 13M～2.60M 13M～2.60M 5.2M～1.30M	○ ○ ○ ○	16回 16回 16回 16回	総合負荷性能検査 2次系安全弁検査 有効性評価 No. 15 の反映
蒸気タービン [その他設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高・低 IF IF	5.2M～1.82M 1.3M～1.82M 1.3M～1.82M	○ ○ ○	16回 16回 16回	有効性評価 No. 16 の反映
蒸気タービン [その他設備] その他の機器	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	1.3M～1.30M 1.2M～2.60M	○ <td>16回 16回</td> <td>一部BMあり プラント運転中又は施設設定 検停止中</td>	16回 16回	一部BMあり プラント運転中又は施設設定 検停止中
その他AM(格納容器内注水) 機器	1式	1. 分解点検他	高	1.2M～1.82M	○	16回	プラント運転中又は施設設定 検停止中
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]	2台	1. 機能・性能試験	高 IF	IF	○	16回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査)
非常用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]	46台	1. 機能・性能試験	高 IF	IF	○	16回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の動作検査)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	( ) 内は適用する 備考 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	Aディーゼル発電機	1. 分解点検他	高	1.3M～1.0M	○	16回	
	Aディーゼル機関	1. 分解点検他	高	1.3M～1.56M	○	16回	
	Aディーゼル機関のピストン、ビストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9 No. 2, 10	1. 分解点検	高	130M	○	10回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 3, 11	1. 分解点検	高	130M	—	12回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 4, 12	1. 分解点検	高	130M	—	14回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 5, 13	1. 分解点検	高	130M	—	8回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 6, 14	1. 分解点検	高	130M	—	9回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 7, 15	1. 分解点検	高	130M	—	13回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 8, 16	1. 分解点検	高	130M	—	15回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
	Aディーゼル機関のシリンドラバーベー	No. 1～4, 9～12	1. 分解点検	高	26M	○	16回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 5～8, 13～16	1. 分解点検	高	26M	—	16回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
	Aディーゼル機関の吸気弁	No. 1～4, 9～12	1. 分解点検	高	26M	○	16回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 5～8, 13～16	1. 分解点検	高	26M	—	16回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
	Aディーゼル機関の排気弁	No. 1～4, 9～12	1. 分解点検	高	26M	○	16回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 5～8, 13～16	1. 分解点検	高	26M	—	16回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
	Aディーゼル機関の燃料噴射弁	No. 1～4, 9～12	1. 分解点検	高	26M	○	16回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 5～8, 13～16	1. 分解点検	高	26M	—	16回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
	Bディーゼル発電機						
	Bディーゼル機関						
	Bディーゼル機関のピストン、ビストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9	1. 分解点検他	高	1.3M～1.0M	○	16回
		No. 2, 10	1. 分解点検	高	1.3M～1.56M	○	16回
		No. 3, 11	1. 分解点検	高	130M	—	10回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 4, 12	1. 分解点検	高	130M	—	12回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 5, 13	1. 分解点検	高	130M	—	14回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 6, 14	1. 分解点検	高	130M	—	8回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 7, 15	1. 分解点検	高	130M	—	11回 非常用ディーゼル発電機分 解検査
		No. 8, 16	1. 分解点検	高	130M	—	13回 非常用ディーゼル発電機分 解検査

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式 又は頻度	保全の重要度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	Bディーゼル機関のシリンドラカバー	No. 1-4, 9-12 1. 分解点検	高 26M	○	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	No. 5-8, 13-16 1. 分解点検	高 26M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査			
Bディーゼル機関の吸気弁	No. 1-4, 9-12 1. 分解点検	高 26M	○	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査			
	No. 5-8, 13-16 1. 分解点検	高 26M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査			
Bディーゼル機関の排気弁	No. 1-4, 9-12 1. 分解点検	高 26M	○	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査			
	No. 5-8, 13-16 1. 分解点検	高 26M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査			
Bディーゼル機関の燃料噴射弁	No. 1-4, 9-12 1. 分解点検	高 26M	○	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査			
	No. 5-8, 13-16 1. 分解点検	高 26M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査			
ディーゼル発電機付属設備	式 1. 外観点検	高 1F	○	16回	非常用予備発電機付属設備検査			
	2. 分解点検	26M～130M	○	16回				
	3. 開放点検	26M～130M	○	16回				
	4. 非破壊試験	13M	○	16回	非常用予備発電機付属設備検査			
	5. 漏えい試験	13M	○	16回				
	6. 機能・性能試験	1F	○	16回	非常用予備発電機付属設備検査			
	7. 特性試験	13M	○	16回	非常用予備発電機付属設備検査			
空冷式非常用発電装置	2台 1. 機能・性能試験	高 1F	○	16回	その他の非常に発電装置の機能検査	平成23年9月に設置定期事業者検査は17回施設定検から実施		
	2. 取替他	120M	○	—	その他の非常に発電装置の付属設備検査	有効性評価 No. 17 の反映		
電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)	3台 1. 機能・性能試験	高 1F	○	—	可搬型代替電源設備検査	16回施設定檢時に設置		
電源車 (緊急時対策用)	3台 1. 機能・性能試験	高 1F	○	—	可搬型代替電源設備検査	16回施設定檢時に設置		
電源車 (緊急時対策用 (D B))	1台 1. 機能・性能試験	高 1F	○	—	可搬型代替電源設備検査	16回施設定檢時に設置		
電源車	3台 1. 機能・性能試験	高 1F	○	—	可搬型代替電源設備検査	16回施設定檢時に設置		
重油タンク	2台 1. 分解点検	高 10Y	—	—				
タンクローリー	3台 1. 機能点検	高 1Y	○	—				
その他発電用原子炉の附属施設〔非常用発電装置〕	1式 1. 機能・性能試験	高・低 B	○	16回	非常用予備発電機付属設備検査	16回施設定檢時に設置		
その他発電用原子炉の弁	2. 分解点検	26M～130M	○	16回				
その他発電用原子炉の附属施設〔非常用発電装置〕	1. 分解点検他	13M～130M	○	16回				
その他機器	2. 分解点検他	13M～130M	○	16回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔その他の電源装置〕	直流電源装置蓄電池 計器用電源	2組 (60個／組) 4台 1式	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 1. 分解点検他 1. 外観点検 2. 電圧測定	高 高 2M 1F 1F	○ ○ ○ ○ ○	16回 16回 16回 — —	直流水源系機能検査 直流水源系作動検査 インバータ機能検査
可搬型整流器	2個	1. 外観点検 2. 電圧測定	高 1F	○	—	—	16回施設設定検時に設置
可搬型バッテリ (加圧器逃がし弁用)	2個	1. 外観点検 2. 電圧測定	高 1F	○	—	—	16回施設設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 「その他 の電源装置」	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M～52M 13M～52M	○ ○	16回 16回	
その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～104M	○	16回	
発電機設備	1式	1. 分解点検他	高・低	13M～156M 52M～216M	○ ○	16回 16回	有効性評価 No. 18, 19 の反 映
変圧器設備	1式	1. 分解点検他	高	6M～156M	○	16回	プラント運転中又は施設定 檢停止中
しゃやす器	1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	低	13M～130M	○	16回	一部部品あり プラント運転中又は施設定 檢停止中
その他発電用原子炉の附属施設 「常用電源設備」	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	高 10Y	○ —	16回 —	—	プラント運転中又は施設定 檢停止中 西暦2022年までに実施予定
その他機器	1台	3. 分解点検 (電動機)	6V	—	16回	—	プラント運転中又は施設定 檢停止中
消火水ハシクアップポンプ	2台	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	低 130M	— —	—	—	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 16回施設設定検時に設置
煙等流入防止装置	1式	3. 分解点検 (電動機)	130M	—	—	—	16回施設設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 「火災防護設備」	1式	1. 特性試験他 1. 外観点検	低 1Y～10Y	○ ○	— —	—	16回施設設定検時に設置
浸水防止蓋	1式	1. 外観点検	高 1F	○	—	—	16回施設設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 「浸水防護設備」	1式	1. 外観点検	高 10Y	—	—	—	16回施設設定検時に設置
水密扉	1式	1. 外観点検	高 1Y	○	—	—	16回施設設定検時に設置
潮位計	2台	1. 機能・性能試験	高 1F～4F	○	16回	計測制御系監視機能検査 1台	計測制御系監視機能検査 は、17回施設設定検から実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全方程式度又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考	
							( )内は適用する設備診断技術	16回施設設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕	津波監視カメラ 2台	1. 機能・性能試験	高	1F ○	—	—	B*	取替にあわせて実施 16回施設設定検から設定
A 浸水サンプルポンプ・電動機		2. 取替	低	B*	—	—	5Y —	16回施設設定検時に設置
B 浸水サンプルポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	—	—	5Y —	取替にあわせて実施 16回施設設定検から設定
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕	1式	2. 取替	高・低	B —	—	—	5Y —	16回施設設定検時に設置
その他の弁		1. 機能・性能試験	高・低	130M —	—	—	—	17回施設設定検から設定
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕	1式	2. 分解点検	高・低	B —	—	—	—	17回施設設定検から設定
その他他の弁駆動部		1. 機能・性能試験	高・低	130M —	—	—	—	17回施設設定検から設定
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕	1式	2. 分解点検	高・低	182M —	—	—	—	17回施設設定検から設定
その他機器		1. 外観点検(他)	高・低	1F～10F ○	—	—	—	16回施設設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 〔補機駆動用燃料設備〕	106個	1. 外観点検	高	6M ○	—	—	—	16回施設設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用取水設備〕	1式	1. 外観点検	高	2Y —	—	—	—	16回施設設定検時に設置
海水ポンプ室	1式	1. 外観点検	高	1Y ○	—	—	—	16回施設設定検時に設置
土木建築設備	原子炉建屋(格納容器内壁) 原子炉建屋(格納容器外壁、格納容器 外)	1. 外観点検	高	1F ○	○	16回	16回 施設設定検時に設置	16回施設設定検時に設置
取水口設備	1式	1. 外観点検	高・低	1Y ○	○	16回	16回 施設設定検時に設置	16回施設設定検時に設置
プラント総合	原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く) 諸機器	1. 総合性能試験	高	1F ○	○	16回	総合負荷性能検査 施設設定検起動後	16回 施設設定検時に設置
全般機器		1. 分解点検(他)	低	6M～168M ○	○	16回	16回 施設設定検時に設置	16回 施設設定検時に設置

## クラス1機器供用期間中検査10年計画

1. 原子炉容器(1/2)

別紙-1(1/1)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大坂発電所 第3号機 検査計画(10万年)				備考	
									2018年 第一回	2019年 第1回	2020年 第18回	2021年 第19回		
B2. 111 B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手 下部脇ヒランジショヨンリングとの 周溶接継手	上部胴と下部胴との周溶接継手 下部脇ヒランジショヨンリングとの 周溶接継手	体積 全長の5%	1箇所 水 中 UT (内面)	100%	-	-	-	-	-	-	-	100%	(重大事故等クラス2機器)
B3. 105 B-C	トランジショヨンリングと下部鏡板との 周溶接継手 上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	トランジショヨンリングと下部鏡板との 周溶接継手 上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積 全長の5%	1箇所 水 中 UT (内面)	100%	-	-	-	-	-	-	-	100%	(重大事故等クラス2機器)
B3. 10 B-D	冷却材入口管と胴との溶接継手 冷却材出口管と胴との溶接継手	冷却材入口管と胴との溶接継手 冷却材出口管と胴との溶接継手	体積 全数の100%	4箇所 水 中 UT (内面)	各100%	-	-	-	-	-	-	-	100%	(重大事故等クラス2機器)
B3. 20 B-D	冷却材入口管内面の丸みの部分 冷却材出口管内面の丸みの部分	冷却材入口管内面の丸みの部分 冷却材出口管内面の丸みの部分	体積 全数の100%	4箇所 水 中 UT (内面)	各100%	-	-	-	-	-	-	-	A, B C, D	(重大事故等クラス2機器)
B5. 10 B-F	冷却材入口管とセーフエンドヒの 溶接継手 冷却材出口管とセーフエンドヒの 溶接継手	冷却材入口管とセーフエンドヒの 溶接継手 冷却材出口管とセーフエンドヒの 溶接継手	体積及び 表面 全数の100%	4箇所 水 中 UT (内面)	各100%	-	A (PT)	-	B (PT)	C, D (PT)	-	-	A, B C, D	(重大事故等クラス2機器)
B6. 10 B-G-1 ナット	VT-1	VT-1	体積 全数の100%	4箇所 水 中 UT (内面)	各100%	-	A (PT)	-	C (PT)	D (PT)	-	-	A, B C, D (水 中 UT)	(重大事故等クラス2機器)
B6. 30 B-G-1 スタッドボルト	VT-1	VT-1	体積 全数の100%	54個 水 中 UT	100%	-	7	7	8	7	-	7	10	(重大事故等クラス2機器)
B6. 40 B-G-1 胴フランジネジ穴のネジ部	VT-1	VT-1	体積 全数の100%	54本 水 中 UT	100%	-	7	7	8	7	-	7	10	(重大事故等クラス2機器)
B6. 50 B-G-1 上蓋用ワッシャ	VT-1	VT-1	体積 全数の100%	54個 水 中 UT	100%	-	7	7	8	-	8	7	7	(重大事故等クラス2機器)
B7. 10 B-G-2 T/Cハウジングのマーマンクランプ用 ボルト・ナット	VT-1	VT-1	全数の25%	3箇所/ ×4組 水 中 UT	25% (1組)	-	1組 #66	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
G1. 10 G-P-1 原子炉容器内部	VT-3	各検査時期毎	全範囲の7.5%	1基 水 中 TV	VT-3 約3年毎	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	-	可能範囲 100%	-	(重大事故等クラス2機器)
G1. 40 G-P-1 内部取付け物	VT-3	全範囲の7.5%	6箇所 水 中 TV	VT-3 100%	-	-	-	-	-	-	-	可能範囲 100%	-	下部応心構造物取出し時に 美施(重大事故等クラス2機器)

## クラス1機器供用期間中検査10年計画

### 1. 原子炉容器(2/2)

別紙-1(2/11)

項目番号	ガテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年			2020年			2022年			2024年			2025年			2026年		
									第一回	第19回	第一回	第一回	第18回	第一回	第20回	第一回	第21回	第一回	第22回	第一回	第23回	可能範囲	可能範囲	可能範囲	可能範囲	
G1. 40 G1. 50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物 下部炉心支持構造物	VT-3 VT-3	全範囲の 7.5% 全範囲の 7.5%	1基 1基	VT-3 (水中TV) 100% VT-3 (水中TV) 100%	可能範囲 100% 可能範囲 100%	可能範囲 100% 可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100%	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	
B14. 10 B-O	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部) 制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (下部)	体積又は 表面	最外周 20箇所 (全62箇所) 最外周 24箇所 (全66箇所)	PT	PT	最外周 可能範囲 25% (11箇所)	-	1	2	2	-	2	1	-	1	-	1	-	1	2	100%	1.構造上UTは不可 2.上部は構造的に実施困難 (重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)		
B15. 10 B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	○	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	○	○	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	
F1. 41 F-A	支持構造物	VT-3	全数の 25%	8箇所	VT-3	25% (2箇所)	-	B 出口側	-	D 出口側	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	但し、目視可能な範囲のみと する。 (重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	(重大事故等クラス2機器)	

## クラス1機器供用期間中検査10年計画

2. 加圧器(1/2)

別紙-1(3/11)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)			備考
									2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	
B2. 11	B-B	上部鏡板と上部胴との周縫手 下部胴と下部鏡板との周縫手	体積	全長の5% 全長の5%	UT UT	5% 5%	5% -	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B2. 12	B-B	上部胴の長手縫手 中間胴の長手縫手 下部胴の長手縫手	体積	全長の10% 全長の10% 全長の10%	UT UT UT	各10% 各10% 各10%	B10% A10% A10%	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B2. 13	B-B	上部胴と中間胴との周縫手 中間胴と下部胴との周縫手	体積	全長の5% 全長の5%	UT UT	5% 5%	5% -	-	A10%	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B3. 30	B-D	安全弁用管台と容器との溶接継手 逃げ弁用管台と容器との溶接継手 スプレイ用管台と容器との溶接継手 サージ用管台と容器との溶接継手	体積	全数の25% 1箇所 1箇所 1箇所	UT UT 33%(2箇所) -	3箇所 1箇所 1箇所 1箇所	スプレイ用管台 逃げ弁用管台 -	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B3. 40	B-D	安全弁用管台内面の丸みの部分 逃げ弁用管台内面の丸みの部分 スプレイ用管台内面の丸みの部分 サージ用管台内面の丸みの部分	体積	全数の25% 1箇所 1箇所 1箇所	UT UT 33%(2箇所) -	3箇所 1箇所 1箇所 1箇所	スプレイ用管台 逃げ弁用管台 -	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)

## クラス1機器供用期間中検査10年計画

2. 加圧器(2./2)

別紙-1(4./11)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)			備考
									2018年 第一回	2019年 第1回	2020年 第18回	
B5. 40	B-F	安全弁用管台とサーフェンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の25%	3箇所	UT及びPT 33% (2箇所)	スプレイ用管台 (UT,PT)	サージ用管台 (UT)	サージ用管台 (PT)	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		逃がし弁用管台とサーフェンドとの溶接継手			1箇所							
		スプレー用管台とサーフェンドとの溶接継手			1箇所							
		サージ用管台とサーフェンドとの溶接継手			1箇所							
B7. 20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	全数の25%	16本	VT-1 1箇所×1基	25% (4本)	-	1	-	1	1 (重大事故等クラス2機器)
BB. 20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)			表面又は 全長の 体積 7.5%		UT	7.5%	-	-	7.5%	- (重大事故等クラス2機器)
B15. 20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2 100%	-	○	○	○	○ (重大事故等クラス2機器)	
F1. 41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト含む)			VT-3		100%	-	-	100%	-	

## 3. 蒸気発生器(1／1)

## クラス1機器供用期間中検査10年計画

別紙1(5／11)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数 代表1基 全長の 25%	検査方法 UT	検査範囲 代表1基の 25%	大阪発電所 第3号機 検査計画(10万年)					
									2018年 第一回 第17回	2019年 第18回 第19回	2020年 第19回 第一回	2021年 第一回 第20回	2022年 第一回 第21回	2023年 第一回 第22回
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基 全長の 25%	1箇所 1箇所 ×4基 ×4基	UT	代表1基の 25%	A						
B3. 60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分 冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体積	代表1基 全長の 25%	1箇所 1箇所 ×4基 ×4基	UT	代表1基の 50% (1箇所 /1基)	-						
B5. 70	B-F	冷却材入口管台とサーフエンドとの 溶接継手 冷却材出口管台とサーフエンドとの 溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全長の 25%	1箇所 1箇所 ×4基 ×4基	UT及び PT	代表1基の 50% (1箇所 /1基)	-	A入口側 (UT,PT)	-				
B7. 30	B-G-2	1次側マンホールボルト(入口側) 1次側マンホールボルト(出口側)	VT-1	代表1基 全長の 25%	16本 16本 ×4基 ×4基	VT-1	代表1基の 50% (16本 /1基)	-	A入口側 4本	-				
B8. 30	B-H	水室鏡とサポートバンドとの溶接継手	表面	代表1基 全長の 7.5%	4箇所 4箇所 ×4基 ×4基	PT	代表1基の 25% (4箇所 /1基)	-	A1	-				
B15. 30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	○	○	-	○	○	(重大事故等クラス2機器)
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基 の25%	4箇所 4箇所 ×4基 ×4基	VT-3	代表1基の 100% (4箇所 /1基)	-	A4	-				(重大事故等クラス2機器)

\* 1:検査方法のうちUTについては、NISA文書「定期事業者検査における超音波探傷試験の代替措置計画策定について」の検査対象

クラス1機器供用期間中検査10年計画

4. 配管(1/3)

別紙-1(6/1)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第3号機 検査計画(10年)				備考		
									2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回			
B7. 50	B-G-2	直径50mm 圧力保持用 ボルト 締付け部	1次冷却材ポンプ封水注入 ライン(A、B、C、Dループ)	VT-1	全数の 25%	4組/ 1箇所 ×4箇所	VT-1	25% (1箇所)	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B9. 11	B-J	配管の 同種金属 溶接継手 (呼び径100A 以上:周辺手)	1次冷却材管	体積	全数の 25%	48箇所	UT	25% (12箇所)	-	2 A	2 B、C	1	-	2 D	2 C、D (重大事故等クラス2機器)
			加圧器サーボライン	体積	全数の 25%	8箇所	UT	25% (2箇所)	-	1	-	-	1	-	(重大事故等クラス2機器)
			加圧器安全弁ライン	体積	全数の 25%	27箇所	UT	25% (7箇所)	-	1	1	-	1	-	3 (重大事故等クラス2機器)
			加圧器逃がし弁ライン	体積	全数の 25%	6箇所	UT	33% (2箇所)	-	1	-	-	1	-	(重大事故等クラス2機器)
			加圧器スプレイライン	体積	全数の 25%	58箇所	UT	25% (15箇所)	-	1	2	1	-	1	3 (重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ入口ライン	体積	全数の 25%	32箇所	UT	25% (8箇所)	-	1	1	1	-	2	1 (重大事故等クラス2機器)
			SIS蓄圧注入ライン	体積	全数の 25%	56箇所	UT	25% (14箇所)	-	2	1	2	-	3	2 (重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側低圧注入ライン	体積	全数の 25%	20箇所	UT	25% (5箇所)	-	1	1	-	1	-	1 (重大事故等クラス2機器)
			SIS低温側低圧注入ライン	体積	全数の 25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	-	1	-	-	1	-	1 (重大事故等クラス2機器)
			加圧器逃がし弁ライン	表面	全数の 25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	-	1	-	-	1	-	1 (重大事故等クラス2機器)
B9. 21	B-J	配管の 同種金属 溶接継手 (呼び径100A 未満:周辺手)	加圧器補助スプレイライン	表面	全数の 25%	22箇所	PT	27% (6箇所)	-	1	-	-	-	2	1 (重大事故等クラス2機器)
			抽出及びドレンライン	表面	全数の 25%	33箇所	PT	27% (9箇所)	-	1	1	-	1	-	2 (重大事故等クラス2機器)
			CVCS充てんライン	表面	全数の 25%	10箇所	PT	30% (3箇所)	-	1	-	-	-	1	(重大事故等クラス2機器)
			CVCS充てんライン 閉止分岐管	表面	全数の 25%	1箇所	PT	100% (1箇所)	-	-	1	-	-	1	1 (重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の 25%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-	-	1	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
			1次冷却材ポンプ封水 注入ライン	表面	全数の 25%	11箇所	PT	27% (3箇所)	-	1	1	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 25%	29箇所	PT	27% (8箇所)	-	1	1	-	1	-	2 (重大事故等クラス2機器)
			SIS低温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 25%	6箇所	PT	33% (2箇所)	-	-	1	-	1	-	(重大事故等クラス2機器)

## 4. 配管(2./3)

## クラス1機器供用期間中検査10年計画

別紙-1(7/11)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回		2019年 第二回		2020年 第三回		2021年 第四回		2022年 第五回		2023年 第六回		2024年 第七回		2025年 第八回		2026年 第九回		2027年 第十回		備考	
			母管と管台 との溶接継手 (呼び径100A 以上)	1次冷却材管						1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)		
B9. 31	B-J	母管と管台 との溶接継手 (呼び径100A 以上)	1次冷却材管	表面	全数の 25%	32箇所	P-T	25% (8箇所)	-	1	2	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)		
B9. 32	B-J	母管と管台 との溶接継手 (呼び径100A 未満)	余熱除去ポンプ入ロライン	表面	全数の 25%	2箇所	P-T	50% (1箇所)	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)		
		SIS蓄圧注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	P-T	50% (1箇所)	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)			
		SIS高温側低圧注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	P-T	50% (1箇所)	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)			
		SIS低温側低圧注入ライン	表面	全数の 25%	2箇所	P-T	50% (1箇所)	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)			
		1次冷却材管	表面	全数の 25%	2箇所	P-T	28% (7箇所)	-	1	1	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)			
		加圧器補助スプレイライン	表面	全数の 25%	1箇所	P-T	100% (1箇所)	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)			
		抽出及びドレンライン	表面	全数の 25%	6箇所	P-T	33% (2箇所)	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)			
B9. 40	B-J	ソケット 溶接継手	1次冷却材ポンプ封水 注入ライン	表面	全数の 25%	62箇所	P-T	25% (16箇所)	-	2	2	2	-	2	-	2	-	3	2	-	3	2	-	3	2	-	3	2	(重大事故等クラス2機器)		
		SIS高温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 25%	30箇所	P-T	26% (8箇所)	-	2	1	1	-	1	-	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	(重大事故等クラス2機器)			
		SIS低温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 25%	16箇所	P-T	25% (4箇所)	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)			
		B10. 20 B-K	耐圧部分への 支持部材の取付 付け落接継手	余熱除去ポンプ入ロライン	表面	全数の 7.5%	P-T	50% (1箇所)	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)		
		B15. 50 B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	○	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	(重大事故等クラス2機器)			

## クラス1機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)		大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)		備考
									2018年 第一回	2019年 第二回	2020年 第三回	2021年 第四回	
F1. 10 F-A	支持構造物 注入ライン	加圧器サーボライン	VT-3	全数の25%	7箇所	VT-3	28% (2箇所)	-	1		-	1	
		加圧器逃がしサーバー	VT-3	全数の25%	10箇所	VT-3	30% (3箇所)	-	1		-	1	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器スプレーライン	VT-3	全数の25%	61箇所	VT-3	26% (16箇所)	-	2	1	2	1	
		加圧器補助スプレーライン	VT-3	全数の25%	30箇所	VT-3	26% (8箇所)	-	2	1	1	-	
		抽出及びレンジライン	VT-3	全数の25%	23箇所	VT-3	26% (6箇所)	-	1	1	-	1	2
		CVCS充てんラン	VT-3	全数の25%	5箇所	VT-3	40% (2箇所)	-	1		-	1	
		1次冷却水ポンプ封水注入ライン	VT-3	全数の25%	27箇所	VT-3	25% (7箇所)	-	1	1	-	1	
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	全数の25%	24箇所	VT-3	25% (6箇所)	-	2		-	1	2
		SIS蓄圧注入ライン	VT-3	全数の25%	30箇所	VT-3	26% (8箇所)	-	1	1	-	1	2
		SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	全数の25%	12箇所	VT-3	25% (3箇所)	-	1		-	1	
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の25%	10箇所	VT-3	30% (3箇所)	-	1		-	1	(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の25%	46箇所	VT-3	26% (12箇所)	-	1	2	3	-	2
		SIS低温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の25%	11箇所	VT-3	27% (3箇所)	-	1		-	1	(重大事故等クラス2機器)

5.1 次冷却材ポンプ(1/1)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

別紙-1(9/1)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)					
								2018年 第一回	2019年 第1回	2020年 第1回	2021年 第一回	2022年 第一回	2023年 第20回
B6. 180	主フランジボルト	体積	代表1台の2.5%	24本 /1台 ×4台	UT	代表1台の25% (6本/1台)	-	A 6	-	-	-	-	-
B6. 190	B-G-1 主フランジ表面	VT-1	代表1台の2.5%	24箇所 /1台 ×4台	VT-1	代表1台の25% (6箇所/1台)	-	A 6	-	-	-	-	-
B6. 200	主フランジナット・ワッシャ	VT-1	代表1台の2.5%	24組 /1台 ×4台	VT-1	代表1台の25% (6組/1台)	-	A 6	-	-	-	-	-
B12. 20	B-L-2 ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%	4台	VT-3	漏えい 検査時 100%	100% (1台)	A	-	-	-	-	-
B15. 60	B-P 圧力保持範囲	VT-2	-	1式	VT-2	100%	-	○	○	-	○	○	○
F1. 41	F-A 支持構造物	VT-3	代表1台の2.5%	3箇所 /1台 ×4台	VT-3	代表1台の100% (3箇所/1台)	-	A 3	-	-	-	-	-

## クラス1機器供用期間中検査10年計画

6. 井(1/2)

別紙-1(10/11)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)						備考	
								2018年 第一回 第17回	2019年 第一回 第18回	2020年 第一回 第19回	2021年 第一回 第20回	2022年 第一回 第21回	2023年 第一回 第22回	2024年 第一回 第23回	
			加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	3台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	3V-RC-056	-	-	-	-	
			加圧器逃がし弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	3V-RC-054A	-	-	-	-	3V-RC-054A・B (重大事故等クラス2機器)
			加圧器スプレイライン	VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	3PCV-452B	-	-	-	-	3PCV-452A・B (重大事故等クラス2機器)
			加圧器補助スプレイライン	VT-1	代表1台 の25%	1台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	3PCV-451A	-	-	-	-	3PCV-451A・B (重大事故等クラス2機器)
B7. 70	B-G-2 直径50mm 以下の 圧力保持用 ボルト 締付け部		抽出及びドレンライン	VT-1	代表1台 の25%	1台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	3V-RC-017	-	-	-	-	3V-RC-017
			CVCS充てんライン	VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	3LCV-451	-	-	-	-	3LCV-451 3LCV-452
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-1	代表1台 の25%	4台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	3V-CS-164	-	-	-	-	3V-CS-166 (重大事故等クラス2機器)
			SIS蓄圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	8台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	3PCV-420	-	-	-	-	3PCV-420・3POV-430 (重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	4台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	3V-SI-134C	-	-	-	-	3V-SI-134A・B・C・D 3V-SI-136A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	4台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	-	3V-RH-051B	-	-	-	-	3V-RH-051B (重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	代表1台 の100%	3台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-	3V-RC-055	-	-	-	-	3V-RC-055A・B・C・D 3V-RC-056 (重大事故等クラス2機器)
			加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-	3PCV-420	-	-	-	-	3V-RC-055A・B・C・D 3V-RC-056 (重大事故等クラス2機器)
B12. 50	B-M-2 呼び名 超える弁箱		SIS蓄圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	8台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-	3V-SI-134B	-	-	-	-	3V-SI-134A・B・C・D 3V-SI-136A・B・C・D (重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-	3V-RH-051A	-	-	-	-	3V-RH-051A (重大事故等クラス2機器)
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)	-	3V-RH-050C	-	-	-	-	3V-RH-050A・B・C・D 3V-RH-050D (重大事故等クラス2機器)
B15. 70	B-P	圧力保持範囲		VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	○	○	○	○	○	(重大事故等クラス2機器)

## クラス1機器供用期間中検査10年計画

6. 井(2/2)

別紙-1(11/11)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)					
								2018年 第一回	2019年 第二回	2020年 第三回	2021年 第四回	2022年 第五回	2023年 第六回
F1. 4.1	F-A	加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台	1箇所／1台 × 3台	VT-3	代表1台	3V-RC-055 (1箇所)	-	-	-	-	-
			VT-3	代表1台	2箇所／1台 × 2台	VT-3	代表1台	3V-RC-054B (2箇所)	-	-	-	-	-
			VT-3	代表1台	2箇所／1台 × 2台	VT-3	代表1台	3PCV-452A (2箇所)	-	-	-	-	-
		支持構造物スフレイライン	VT-3	代表1台	2箇所／1台 × 2台	VT-3	代表1台	3PCV-451B (100% (2箇所))	-	-	-	-	-
			VT-3	代表1台	1箇所／1台 × 2台	VT-3	代表1台	3PCV-451B (100% (2箇所))	-	-	-	-	-
			VT-3	代表1台	1箇所／1台 × 1台	VT-3	代表1台	3V-CS-169 (1箇所)	-	-	-	-	-
		抽出及びドレンライン	VT-3	代表1台	2箇所／1台 × 2台	VT-3	代表1台	3LCV-451 (100% (2箇所))	-	-	-	-	-
			VT-3	代表1台	1箇所／1台 × 4台	VT-3	代表1台	3LCV-452 (100% (1箇所))	-	-	-	-	-
		余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	代表1台	1箇所／1台 × 4台	VT-3	代表1台	3PCV-420 (100% (1箇所))	-	-	-	-	-

1. 余熱除去冷却器

**クラス2機器供用期間中検査10年計画**

別紙-2(1/10)

項目番号	カテゴリー	准拠規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)						備考	
							2012年 第一次回	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
C1. 10	C-A	管側端板と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基	UT	代表1基の 7.5%	-	A 7.5%				-	
C1. 20	C-A	管側端板と管側端板との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基	UT	代表1基の 7.5%	-				-		(重大事故等クラス2機器)
C2. 21	C-B	管側入口管合と管側端板との溶接継手 管側出口管合と管側端板との溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全数の 7.5%	1箇所/1 基×2基	UT及び PT	代表1基の 50% (1箇所/1基)	-		A 入口側		-		(重大事故等クラス2機器)
C4. 10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全数の 7.5%	48本/1基 ×2基	UT	代表1基の 100% (48本/1基)	-	A 16本		16本	-		A 16本 (重大事故等クラス2機器)

## クラス2機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		第一回	第17回	2019年	2020年	2021年	備考	
					全数の 7.5%	6箇所	PT	16% (1箇所)	第一回	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
C3. 2.0	C-C	高圧注入ポンプ出ロライン	表面	全数の 7.5%	6箇所	-	1								-		
		高圧注入ポンプ出ロ連絡ライ ン	表面	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-						-			(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプヘロライン	表面	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-						-	1		(重大事故等クラス2機器)
		支持部材取 付け溶接継 手	表面	全数の 7.5%	1箇所	PT	100% (1箇所)	-						-	1		(重大事故等クラス2機器)
		SIS高温側低圧注入冷却器出ロライン	表面	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-						-			(重大事故等クラス2機器)
		SIS低温側低圧注入ライン	表面	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-						-	1		(重大事故等クラス2機器)
		格納容器再循環サンブ 出ロライン	表面	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-						-			(重大事故等クラス2機器)
		充てんポンプ出ロライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	4箇所	UT及び PT	25% (1箇所)	-						-		1	(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ入ロライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	67箇所	PT	8% (6箇所)	-						-			(重大事故等クラス2機器)
		余熱除去ポンプ出ロライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-						-			(重大事故等クラス2機器)
C5. 11	C-F	呼び径 100φを超え る管で公称 厚さが 9.5mmを超 える溶接継 手	体積及び 表面	全数の 7.5%	44箇所	UT及び PT	9% (4箇所)	-						-		1	(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去冷却器出ロライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	16箇所	UT及び PT	12% (2箇所)	-					-	1		
			SIS高温側低圧注入ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	38箇所	UT及び PT	7.8% (3箇所)	-					-	1		(重大事故等クラス2機器)
			SIS低温側低圧注入ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	40箇所	UT及び PT	7.5% (3箇所)	-					-	1		(重大事故等クラス2機器)
			高压注入ポンプ出ロライン	体積及び 表面	全数の 7.5%											1	(重大事故等クラス2機器)

## 2. 配管(2/3)

## クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-2(3/10)

項目番号	カテゴリ	維持規格: ISME S NAT-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)					備考	
								2012年 第一回	2013年 第二回	2014年 第三回	2015年 第四回	2016年 第五回		
C5. 11	C-F	呼び径100Aを超える管で公称壁厚さが9.5mmを超える溶接手	栓納容器再循環サンプル出ロライン、燃料取替用水ピット出ロライン	体積又は表面	全数の7.5%	2箇所	-	-	-	-	-	-	-	全箇所 格納容器実通部のため検査不可(重大事故等クラス2機器)
C5. 12	C-F	呼び径100Aを超える管で公称壁厚さが9.5mmを超える溶接手	余熱除去ポンプ出ロライン	体積又は表面	全数の7.5%	6箇所	PT (1箇所)	16% -	1				-	(重大事故等クラス2機器)
			燃料取替用水ピット出ロライン	体積又は表面	全数の7.5%	6箇所	PT (1箇所)	16% -				-		(重大事故等クラス2機器)
			高压注入ポンプ出ロライン	表面	全数の7.5%	4箇所	PT (1箇所)	25% -		1		-		(重大事故等クラス2機器)
			封水注入ライン	表面	全数の7.5%	44箇所	PT (4箇所)	9% -	1	1	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)
			高压注入ポンプ出ロ連絡ライン	表面	全数の7.5%	12箇所	PT (1箇所)	8% -				-	1	
C5. 21	C-F	呼び径50A以上100A以下の管で公称壁厚さが5mmを超える溶接継手	SIS低温劇高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	17箇所	PT (2箇所)	1.1% -	1			-	1	(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温劇高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	40箇所	PT (4箇所)	10% -	1		2	-	1	(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温劇高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	36箇所	PT (3箇所)	8% -	1		1	-	1	(重大事故等クラス2機器)
			封水注入ライン	表面	全数の7.5%	19箇所	PT (2箇所)	10% -	1			-	1	
			SIS低温劇高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	20箇所	PT (2箇所)	10% -	1			-	1	(重大事故等クラス2機器)
C5. 30	C-F	ソケット溶接継手	SIS高温劇高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	20箇所	PT (2箇所)	10% -	1			-	1	
			SIS低温劇高圧補助注入ライン	表面	全数の7.5%	20箇所	PT (2箇所)	10% -	1			-	1	(重大事故等クラス2機器)
C5. 41	C-F	呼び径50Aを超える母管と管材管との溶接継手	高压注入ポンプ出ロライン	表面	全数の7.5%	2箇所	PT (1箇所)	50% -				-	1	(重大事故等クラス2機器)

## クラス2機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万件)						備考	
								2012年 第一回	2013年 第一回	2014年 第16回	2015年 第16回	2016年 第17回	2017年 第17回	2018年 第1回	
F1. 21	F-A	支持構造物	充てんポンプ出入口ライン	VT-3	全数の7.5%	1箇所	VT-3	100% (1箇所)	-	1				-	
			余熱除去ポンプ出入口ライン	VT-3	全数の7.5%	47箇所	VT-3	8% (4箇所)	-	1	1	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ出入口ライン	VT-3	全数の7.5%	15箇所	VT-3	13% (2箇所)	-	1			-	1	(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	全数の7.5%	20箇所	VT-3	10% (2箇所)	-	1			-	1	(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	全数の7.5%	43箇所	VT-3	9% (4箇所)	-	1	1	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去冷却器バイパスライン	VT-3	全数の7.5%	4箇所	VT-3	25% (1箇所)	-		1		-	1	(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	全数の7.5%	2箇所	VT-3	50% (1箇所)	-				-	1	
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の7.5%	8箇所	VT-3	12% (1箇所)	-				-	1	(重大事故等クラス2機器)
			高压注入ポンプ出入口ライン	VT-3	全数の7.5%	40箇所	VT-3	7.5% (3箇所)	-	1	1	1	-	1	
			封水注入ライン	VT-3	全数の7.5%	23箇所	VT-3	8% (2箇所)	-	1			-	1	
			高压注入ポンプ出入口連絡ライン	VT-3	全数の7.5%	11箇所	VT-3	9% (1箇所)	-		1		-		(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の7.5%	14箇所	VT-3	14% (2箇所)	-	1			-	1	
			SIS低温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の7.5%	44箇所	VT-3	9% (4箇所)	-	1	1	1	-	1	(重大事故等クラス2機器)
			格納容器再循環サンプル出口ライ	VT-3	全数の7.5%	16箇所	VT-3	12% (2箇所)	-	1			-	1	(重大事故等クラス2機器)
			燃料取替用水ヒット出口ライン	VT-3	全数の7.5%	8箇所	VT-3	12% (1箇所)	-	1			-		(重大事故等クラス2機器)

3. 充てんポンプ

**クラス2機器供用期間中検査10年計画**

別紙-2(5／10))

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備 考						
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年 第16回	2014年 第16回	2015年 第16回	2016年 第16回	2017年 第16回	2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	備 考
C3. 30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接 継手	表面	全数の 7. 5%	16箇所/ 1台×2 合	PT	全数の9% (3箇所)	-	A 1箇所	A 1箇所	A 1箇所	-	-	A 1箇所	A 1箇所	A 1箇所	(重大事故等クラス2機器)	
C4. 30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台 の7. 5%	16本/1 台×2台	UT	代表1台の 12% (2本/1台)	-	A 1本	-	-	-	-	A 1本	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7. 5%	1箇所/1 台×2台	PT	代表1台の 100% (1箇所/1台)	-	-	-	-	-	-	A 100%	A 100%	A 100%	(重大事故等クラス2機器)	
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7. 5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	-	-	-	-	-	-	A 100%	A 100%	A 100%	(重大事故等クラス2機器)	

4. 充てんポンプ(往復動式)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備 考						
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年 第16回	2014年 第16回	2015年 第16回	2016年 第16回	2017年 第16回	2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	備 考
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	全数の 7. 5%	1箇所/ 1台	VT-3	100% (1箇所/ 1台)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	

5. 余熱除去ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備 考						
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年 第16回	2014年 第16回	2015年 第16回	2016年 第16回	2017年 第16回	2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	備 考
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7. 5%	2箇所/1 台×2台	PT	代表1台の 50% (1箇所/ 1台)	-	B 1箇所	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7. 5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/ 1台)	-	-	-	-	-	-	-	B 100%	B 100%	(重大事故等クラス2機器)	

## 6. クラス2弁

## クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙一2(6／10)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S N A - 2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万円)					備考	
								2012年 第一回	2013年 第16回	2014年 第17回	2015年 第二回	2016年 第一回		
F1. 4.3	F-A 支持構造物	余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	代表1台 Ø7.5% 合×2台	2箇所/1 合×2箇 所／1台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所／1台)	-						3HCV-603、3HCV-613 (重大事故等クラス2機器)
		余熱除去冷却器出ロライン	VT-3	代表1台 Ø7.5% 合×2台	2箇所/1 合×2箇 所／1台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所／1台)	-						3V-RH-043A・B (重大事故等クラス2機器)
		余熱除去冷却器バインダスライン	VT-3	代表1台 Ø7.5% 合×2台	2箇所/1 合×2箇 所／1台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所／1台)	-						3FCV-614 3FOV-604、3FCV-614
		封水注入ライン	VT-3	代表1台 Ø7.5% 合×2台	1箇所/1 合×2台	VT-3	代表1台の 100%(1箇 所／1台)	-						3V-SI-026A・B 3V-SI-026A・B
		格納容器再循環サンプ出ロライ	VT-3	代表1台 Ø7.5% 合×2台	2箇所/1 合×2箇 所／1台	VT-3	代表1台の 100%(2箇 所／1台)	-						3V-SI-093A・B (重大事故等クラス2機器)

## クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-2(7/10)

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第3号機 檢査計画(10年)										備考		
項目番号	カテゴリ	系統名	検査の対象箇所	運転圧力又は最高使用圧力(MPa)		検査方法	第16回									
				圧力(MPa)	ライン名		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
C7.30 C7.70	C-H	一次冷却材系統 化学体積制御系統	加圧器逃がしタンクPMW供給ライン	0.98	0.98	VT-2	-		●				-			
			抽出ライン(1)	15.41	15.41	VT-2	-	●	※1				-			ROCS漏えい検査時実施
			抽出ライン(2)	2.06	2.06	VT-2	-	●	※1				-			
			抽出ライン(3)	0.34	0.34	VT-2	-	●					-			
			体積制御タンク入ロライン	0.27	0.27	VT-2	-	●	※1				-			
			体積制御タンク及び出入口ライン	0.11	0.11	VT-2	-	●					-			一部気圧検査
			A充てんポンプ出ロライン及び封水注入ライン	18.0	18.0	VT-2	-						-	○		
			B充てんポンプ出ロライン	18.0	18.0	VT-2	-	●	※1				-	○		
			C充てんポンプ出ロライン	17.36	17.36	VT-2	-						-	○		
			ほう酸混合器及び出入口ライン	0.11	0.11	VT-2	-	●					-	○		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	化学体積制御系統	ほう酸ポンプ連絡ライン	0.11	0.11	VT-2	-	●					-	○		
			Aほう酸ポンプ入ロライン			水張り	VT-2	-	●	※1			-			一部気圧検査
			日ほう酸ポンプ入ロライン			水張り	VT-2	-	●	※1			-			一部気圧検査
			Aほう酸ポンプ出ロライン	0.87	0.87	VT-2	-	●	※1				-			
			Bほう酸ポンプ出ロライン	0.87	0.87	VT-2	-	●	※1				-			
			A、B高压注入ポンプ入ロライン	0.19	0.19	VT-2	-	●	※1				-			
			A高压注入ポンプ出ロライン(1)	10.01	10.01	VT-2	-						-	○		
			A高压注入ポンプ出ロライン(2)	10.01	10.01	VT-2	-						-	○		RCOS漏えい検査時実施

※1: プラント長期停止に伴い、プラント起動時(H29)に検査を実施

## 7. クラス2機器漏えい検査(2/4)

## クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-2(8/10)

項目番号	カテゴリー	系統名	検査の対象箇所	規格・規格	JISME S NA1-2008	運転圧力又 は最高使用 圧力(MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万kW)		2018年 第1回	2019年 第1回	2020年 第1回	2021年 第1回
									第一回	第16回				
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	安全注入系統	A高压注入ポンプ出ロロライン(1) B高压注入ポンプ出ロロライン(2) 格納容器再循環サンプ出ロライン 蓄圧タンク及び出入ロライン 燃料取替用水ビット出入口ライン 蓄圧タンク窒素充てんライン 蓄圧タンク注入ライン	B高压注入ポンプ出ロロライン(1)	10.01	10.01	VT-2	-	●			-			
			B高压注入ポンプ出ロロライン(2)	10.01	10.01	VT-2	-	●※1			-			
			格納容器再循環サンプ出ロライン	水張り	水張り	VT-2	-	●			-			
			蓄圧タンク及び出入ロライン	4.42	4.42	VT-2	-				-	○		一部気圧検査
			燃料取替用水ビット出入口ライン	水張り	水張り	VT-2	-	●			-			
			蓄圧タンク窒素充てんライン	4.42	4.42	VT-2	-				-	○		
			蓄圧タンク注入ライン	10.01	10.01	VT-2	-				-	○		
			A余熱除去ポンプ入ロライン	2.75	2.75	VT-2	-				-	○		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	余熱除去系統	B余熱除去ポンプ入ロライン A余熱除去ポンプ出ロロライン B余熱除去ポンプ出ロロライン A余熱除去ポンプ出ロロライン B余熱除去ポンプ出ロロライン A格納容器スプレイボンブヘロライン B格納容器スプレイボンブヘロライン A格納容器スプレイボンブ出ロライン(1) A格納容器スプレイボンブ出ロライン(2) B格納容器スプレイボンブ出ロライン(1) B格納容器スプレイボンブ出ロライン(2) C7.30 C7.50 C7.70	B余熱除去ポンプ入ロライン	2.75	2.75	VT-2	-				-	○		
			A余熱除去ポンプ出ロロライン	3.78	3.78	VT-2	-				-	○		
			B余熱除去ポンプ出ロロライン	3.78	3.78	VT-2	-				-	○		
			A余熱除去ポンプ出ロロライン	0.19	0.19	VT-2	-	●			-	○		
			B余熱除去ポンプ出ロロライン	0.19	0.19	VT-2	-	●			-	○		
			A格納容器スプレイボンブ出ロライン(1)	1.97	1.97	VT-2	-	●			-	○		
			A格納容器スプレイボンブ出ロライン(2)	1.97	1.97	VT-2	-	●			-	○		気圧検査
			B格納容器スプレイボンブ出ロライン(1)	1.97	1.97	VT-2	-	●			-	○		気圧検査
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	格納容器スプレイ系統	B格納容器スプレイボンブ出ロライン(2) C7.30 C7.50 C7.70	B格納容器スプレイボンブ出ロライン(2)	1.97	1.97	VT-2	-				-	○		気圧検査
			よう素除去薬品タンク及び出入口ライン	0.03	0.03	VT-2	-	●			-	○		一部気圧検査
			Aよう素除去薬品タンク出ロライン	水張り	水張り	VT-2	-				-	○		
			Bよう素除去薬品タンク出ロライン	水張り	水張り	VT-2	-				-	○		

※1:プラント長期停止に伴い、プラント起動時(H29)に検査を実施

## クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-2(9/10))

項目番号	カテゴリ	維持規格	JISME S NA1-2008 検査の対象箇所	ライン名	運転圧力又 は最高使用 圧力(MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)			大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)			大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)			
								2012年 第一回	2013年 第一回	2014年 第一回	2015年 第一回	2016年 第一回	2017年 第一回	2018年 第一回	2019年 第一回	2020年 第18回	2021年 第19回
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	格納容器スプレイ系	PH調整剤タンク及び出入口ライン		0.03	0.03	VT-2	-					-	-	○	○	一部気圧検査
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	主蒸気系統	A蒸気発生器蒸気出口ライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器蒸気出口ライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器蒸気出口ライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器蒸気出口ライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
C7.30 C7.70	C-H	主給水系統	A蒸気発生器給水入口ライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器給水入口ライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器給水入口ライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器給水入口ライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			A蒸気発生器プローダウンライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器プローダウンライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器プローダウンライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器プローダウンライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
C7.30 C7.70	C-H	蒸気発生器プローダウン系統	A蒸気発生器プローダウンサンブルライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			B蒸気発生器プローダウンサンブルライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			C蒸気発生器プローダウンサンブルライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			D蒸気発生器プローダウンサンブルライン		4.62	4.62	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気系統	A制御用空気ライン		0.74	0.74	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
			B制御用空気ライン		0.74	0.74	VT-2	-					-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
C7.30 C7.70	C-H	所内用空気系統	所内用空気ライン		0.7	0.7	VT-2	-					-	-	○	○	

## クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-2(10/10)

項目番号	カテゴリー	維持規格	検査の対象箇所	検査方法	運転圧力又は最高使用圧力(MPa)										運転圧力又は最高使用圧力(MPa)									
					2012年 第一回	2013年 第一回	2014年 第一回	2015年 第一回	2016年 第16回	2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第18回	2020年 第19回	2021年 第19回	2020年 第19回	2021年 第19回	2020年 第19回	2021年 第19回	2020年 第19回	2021年 第19回		
C7.30 C7.70	C-H	試料採取系統	加圧器液相部、気相部サンプル及び1次冷却材サンブルライン	VT-2	15. 41	15. 41	15. 41	15. 41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			Dループ高温側サンブルライン	VT-2	15. 41	15. 41	15. 41	15. 41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水系統	蓄圧タンクサンブルライン	VT-2	4. 42	4. 42	4. 42	4. 42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			原子炉キャビティ淨化ライン(1)	水張り	水張り	水張り	水張り	水張り	VT-2	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C7.30 C7.70	C-H	廃棄物処理系統	原子炉キャビティ淨化ライン(2)	水張り	水張り	水張り	水張り	水張り	VT-2	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			格納容器冷却材ドレンボップ出ロライン	VT-2	0. 6	0. 6	0. 6	0. 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C7.30 C7.70	C-H	1次系洗浄水系統	格納容器サンプルポンプ出ロライン	VT-2	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			1次系洗浄水ライン	VT-2	0. 7	0. 7	0. 7	0. 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C7.30 C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	CRDM冷却ユニット他冷却水入ロライン	VT-2	0. 7	0. 7	0. 7	0. 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			CRDM冷却ユニット他冷却水出ロライン	VT-2	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C7.30 C7.70	C-H	RCP冷却水入ロライン	RCP冷却水出ロライン	VT-2	0. 7	0. 7	0. 7	0. 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			封水戻りライン	VT-2	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C7.30 C7.70	C-H	化学体積制御系統	封水戻りライン	VT-2	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			消火水系統	VT-2	0. 6	0. 6	0. 6	0. 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## クラス3機器供用期間中検査10年計画

### 1. 余熱除去冷却器(胴側)

		維持規格 JISME S NA1-2008		検査方法		検査範囲		設備数		検査方法		検査範囲		大飯発電所 第3号機 検査計画(10万kW)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所													2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	備考		
D1. 10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 ×2基	第一回	-	A				-			第17回	第18回	第19回									
F1. 44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 ×2基							-														

### 2. 格納容器スプレイ冷却器(胴側)

		維持規格 JISME S NA1-2008		検査方法		検査範囲		設備数		検査方法		検査範囲		大飯発電所 第3号機 検査計画(10万kW)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所													2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	備考		
D1. 10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 ×2基	第一回	-		A			-			第17回	第18回	第19回									
F1. 44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 ×2基							-														

3. 配管 クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-3(2/7)

維持規格 JSME S NAI-2008			大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)																									
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		備考
								第一回	第16回	第一回	第17回	第一回	第18回	第一回	第19回	第一回	第18回	第一回	第19回	第一回	第17回	第一回	第18回	第一回	第19回			
D 1. 20	D-A	配管の支持部材 取付け溶接継手	原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	58箇所	VT-3	8% (5箇所)	-	1			2			-		1	1									
F 1. 31	F-A	支持構造物	原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	401箇所	VT-3	7.7% (31箇所)	-	6			5	10		-		5	5									

4.弁

維持規格 JSME S NAI-2008			大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)																									
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		備考
								第一回	第16回	第一回	第17回	第一回	第18回	第一回	第19回	第一回	第18回	第一回	第19回	第一回	第17回	第一回	第18回	第一回	第19回			
F 1. 31	F-A	支持構造物	原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	1箇所／ 1台 ×2台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所)	-							-		1										
						2箇所／ 1台 ×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所)	-							-		2										

## 5. クラス3機器漏えい検査

## クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-3(3/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格	JSME S NA1-2008	大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)								備考					
				運転圧力 又は 最高使用 圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
項目番号	系統名	検査の対象箇所	ライン名	第一回	第16回								第一回	第17回	第18回	第19回	
D2. 10 D2. 30	D-B 新	原子炉補機冷却水系	A, B原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	0. 34	0. 34	VT-2	-			●			-	-	-	-	
			C, D原子炉補機冷却水サージタンク 入口ライン	0. 34	0. 34	VT-2	-						-	O			
			原子炉補機冷却水サージタンク 及び出入口ライン	0. 02	0. 02	VT-2	-	●					-	-			一部気圧検査
			A, B原子炉補機冷却水ポンプ 出口ライン	0. 96	0. 96	VT-2	-						-	O			
			C, D原子炉補機冷却水ポンプ 出口ライン	0. 96	0. 96	VT-2	-						-	O			
			使用済燃料ピットポンプ入りロライ ン	0. 18	0. 18	VT-2	-	●					-		O		
			A使用済燃料ピットポンプ出ロライ ン	0. 76	0. 76	VT-2	-						-				
			B使用済燃料ピットポンプ出ロライ ン	0. 76	0. 76	VT-2	-						-	O			
			A制御用空気出ロライン	0. 64	0. 64	VT-2	-						-		O		気圧検査
			B制御用空気出ロライン	0. 64	0. 64	VT-2	-						-		O		気圧検査
D2. 30	D-B	燃料ピット冷却净化系 新															

## クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙一3(4／7)

### 6. 原子炉補機冷却水冷却器

		維持規格 JSME S NA1-2008		検査範囲	検査方法	設備数	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)						備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法					2012年 第1回	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3 代表1基 の7.5%	3箇所/1基 ×2基	VT-3 代表1基 の7.5%	VT-3 代表1基 の7.5%	VT-3 代表1基 の100% (3箇所)							第17回 第18回 第19回	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3 代表1基 の7.5%	3箇所/1基 ×2基	VT-3 代表1基 の7.5%	VT-3 代表1基 の7.5%	VT-3 代表1基 の100% (3箇所)							A A	

### 7. 海水ストレーナ

		維持規格 JSME S NA1-2008		検査範囲	検査方法	設備数	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)						備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法					2012年 第1回	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
D1.10	D-A	鏡板とスカートとの溶接継手	VT-3 代表1基 の7.5%	1箇所/1基 ×4基	VT-3 代表1基 の7.5%	VT-3 代表1基 の100% (1箇所)								第17回 第18回 第19回	
F1.44	F-A	支持構造物(スカート)	VT-3 代表1基 の7.5%	1箇所/1基 ×4基	VT-3 代表1基 の7.5%	VT-3 代表1基 の100% (1箇所)								A A	

### 8. 非常用ディーゼル発電機清水冷却器

		維持規格 JSME S NA1-2008		検査範囲	検査方法	設備数	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)						備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法					2012年 第1回	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
D1.10	D-A	胴と当板脚との溶接継手	VT-3 代表1基 の7.5%	2箇所/1基 ×2基	VT-3 代表1基 の7.5%	VT-3 代表1基 の100% (2箇所)								第17回 第18回 第19回	
F1.44	F-A	支持脚	VT-3 代表1基 の7.5%	2箇所/1基 ×2基	VT-3 代表1基 の7.5%	VT-3 代表1基 の100% (2箇所)								A A	

## クラス3機器供用期間中検査10年計画

### 9. 非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器

維持規格 JSME S NA1-2008

項目番号	力テゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	20112年 第1回	2013年 第16回	2014年 第17回	2015年 第18回	2016年 第19回	2017年 第17回	2018年 第18回	2019年 第19回	2020年 第18回	2021年 第19回	備考
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基 の7.5%	2箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基 の100% (2箇所)											
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基 の7.5%	2箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基 の100% (2箇所)											

### 別紙-3(5/7)

### 大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)

維持規格 JSME S NA1-2008

### 10. 配管

項目番号	力テゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	20112年 第1回	2013年 第16回	2014年 第17回	2015年 第18回	2016年 第19回	2017年 第17回	2018年 第18回	2019年 第19回	2020年 第18回	2021年 第19回	備考
D1.20	D-A	配管の支持 部材取付 溶接継手	原子炉補機 冷却海水系統	VT-3 全数 の7.5%	78箇所	VT-3 7.6% (6箇所)				2			1			1	1	1
F1.31	F-A	支持構造物	原子炉補機 冷却海水系統	VT-3 全数 の7.5%	434 箇所	RH 140 VT-3 7.8% (34箇所)				3			3			2	3	

## クラス3機器供用期間中検査10年計画

11.弁

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)														
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年 第16回	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	備考
F1.31	F-A	支持構造物 原子炉構機 冷却海水系統	VT-3	全数 の7.5%	3箇所	RH: 3	VT-3 (1箇所) 33% (1箇所)								1 (V- PMPW- 501)			

別紙-3(6/7)

12.原子炉補機冷却水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)														
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年 第16回	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	備考
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	4箇所/1台 ×4台	VT-3 代表1台 の100% (4箇所)									A			

クラス3機器供用期間中検査10年計画

### 13. クラス3機器漏えい検査

別紙—3(7/7)

クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査10年計画

NRA文書(原規技発第1408063号)				大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考	
機器名	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査頻度		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	
				第一回	第二回	第17回	第18回	第19回	第一回	第20回	第21回	第一回	第22回	第23回	
原子炉容器	原子炉容器底部の表面	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計装用貫通部溶接継手	BMV	58箇所	100%/5年	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	重大事故等クラス2機器

別紙-4(1/1)

クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画

別紙-5(1/1)

NRA文書 原規技発第1408063号 ※1				大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)												備考									
項目番号	カゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		検査方法	設備数	大飯発電所 第3号機								第一回	第16回	第15回	第一回	第17回	第8回	第19回	第一回	第20回	第21回
				2010年	2011年			2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年					
	配管	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	抽出水ライン(3B)	体積	25%	19箇所	UT	5	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	充てんライン(3B)	体積	25%	35箇所	UT	9	—	2	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	再生熱交換器連絡管	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	抽出水ライン連絡管(3E)	体積	25%	12箇所	UT	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	充てんライン連絡管(3B)	体積	25%	12箇所	UT	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1:2014年8月以降は「NRA文書 原規技発第1408063号」を適用

原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

## 1. 原子炉格納容器

別紙-6(1/1)

大販送電所 第3号機 檢査計画(10万kW)																								
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年			2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	備考
								第16回			第一回	第17回	第18回	第二回	第三回	第四回	第五回	第六回	第七回	第八回	第九回	第十回	第十一回	第十二回
E8_10	E-G	圧力保持用ボルト締付け部 (PEN #540)	VT-4	25%	1箇所	VT-4	25%	VT-4			VT-4			VT-4			VT-4			VT-4			O	

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 格納容器スプレイ冷却器(管側)

別紙-7(1／32)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NAI-2008	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)												
			検査の対象箇所		検査方法		検査範囲		検査方法		検査範囲		検査方法		検査範囲
C1. 10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×2基	UT	代表1基の 7.5%	UT	代表1基の 7.5%	UT	代表1基の 7.5%	UT	代表1基の 7.5%	UT	代表1基の 7.5%
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×2基	UT	代表1基の 7.5%	UT	代表1基の 7.5%	UT	代表1基の 7.5%	UT	代表1基の 7.5%	UT	代表1基の 7.5%
C4. 10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全数の 7.5%	48本/1基 ×2基	UT	代表1基の 100% (48本/1基)	-	A	16本	A	16本	-	A	16本

## 2. 配管(1／2)

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-7(2／32)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲 (10万年)						備考	
							2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第18回	2020年 第19回	2021年 第20回	2023年 第21回	2024年 第21回	2025年 第22回
C3. 20	C-C	原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	表面	全数の 7. 5%	1箇所	PT	100% (1箇所)	-	1	-	-	-	-	-
		原子炉補機冷却水ポンプ 出口ライン	表面	全数の 7. 5%	1箇所	PT	100% (1箇所)	-	1	-	-	-	-	-
C5. 11	C-F	主蒸気大気放出ライン	表面	全数の 7. 5%	4箇所	PT	25% (1箇所)	-	-	-	1	-	-	-
		原子炉補機冷却水冷却器 入口ライン	体積又は 表面	全数の 7. 5%	11箇所	PT	9% (1箇所)	-	1	-	-	-	-	-
C5. 12	C-F	原子炉補機冷却水冷却器 主蒸気大気放出ライン	体積又は 表面	全数の 7. 5%	14箇所	PT	14% (2箇所)	-	1	-	1	-	-	-
		原子炉補機冷却水冷却器 入口ライン	体積及び 表面	全数の 7. 5%	8箇所	UT及び PT	12% (1箇所)	-	-	-	-	1	-	-
F1. 21	F-A	原子炉補機冷却水冷却器 入口ライン	体積又は 表面	全数の 7. 5%	11箇所	PT	9% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-
		原子炉補機冷却水ポンプ VT-3	体積又は 表面	全数の 7. 5%	18箇所	PT	11% (2箇所)	-	1	-	-	-	-	-
F1. 21	F-A	原子炉補機冷却水ポンプ VT-3	全数の 7. 5%	19箇所	VT-3	10% (2箇所)	-	1	1	-	-	-	-	-
		格納容器再循環ユニット VT-3	全数の 7. 5%	10箇所	VT-3	10% (1箇所)	-	1	1	-	-	-	-	-
F1. 21	F-A	格納容器再循環ユニット VT-3	全数の 7. 5%	54箇所	VT-3	9% (5箇所)	-	1	1	-	1	1	-	-
		格納容器再循環ユニット VT-3	全数の 7. 5%	82箇所	VT-3	8% (7箇所)	-	2	1	1	-	1	-	-
F1. 21	F-A	格納容器スプレイボンブ VT-3	全数の 7. 5%	12箇所	VT-3	8% (1箇所)	-	-	-	-	1	-	-	-
		格納容器スプレイボンブ VT-3	全数の 7. 5%	6箇所	VT-3	16% (1箇所)	-	-	-	-	1	-	-	-
F1. 21	F-A	格納容器スプレイ冷却器 VT-3	全数の 7. 5%	13箇所	VT-3	7. 6% (1箇所)	-	-	-	-	1	-	-	-
		RHR-CSS連絡ライン	全数の 7. 5%	7箇所	VT-3	14% (1箇所)	-	-	1	-	-	-	-	-

## 2. 配管(2/2)

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-7(3/32)

		維持規格 JSME S NA1-2008										大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)		備考				
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第18回	2020年 第19回	2021年 第20回	2022年 第21回	2023年 第22回	2024年 第23回	2025年 第24回	2026年 第25回
		恒設代替低圧注水ポンプ 出口ライン	VT-3															
F1. 21	F-A	可搬式代替海水注入 ライン	VT-3	全数の 7.5%	2箇所	VT-3	50% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
		主蒸気大気放出ライン	VT-3	全数の 7.5%	4箇所	VT-3	25% (1箇所)	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

### 3. 格納容器スプレイボンブ

別紙-7(4／32.)

維持規格 JSME S NA1-2008																		
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第18回	2020年 第19回	2021年 第20回	2022年 第21回	2023年 第22回	2024年 第21回	2025年 第22回	2026年 第22回	備考
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	PT	代表1台の 50% (1箇所／1台)	-										
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所／1台)	-										A 100%

### 4. 恒設代替低圧注水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008																		
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第18回	2020年 第19回	2021年 第20回	2022年 第21回	2023年 第22回	2024年 第21回	2025年 第22回	2026年 第22回	備考
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/1 台×1台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所／1台)	-										A 100%

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

		維持規格 JSME S NAI-2008										大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		2017年 第16回	2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第20回	2023年 第21回	2024年 第21回	2025年 第21回	2026年 第22回
F1. 43	F-A	格納容器再循環ユニット 出口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×1台	代表1台の 100% (2箇所/1台)	-	-	3TCV- 2392A 2	-	-	-	-	-	3TCV-2392A	
		格納容器スプレイ冷却器 出口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×1台	代表1台の 100% (1箇所/1台)	-	-	3V-CP- 024A 1	-	-	-	-	-	3TCV-2392D	
		RHR-CSS連絡ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×1台	代表1台の 100% (2箇所/1台)	-	-	3V-RH -061 2	-	-	-	-	-	3V-RH-061	
		主蒸気大気放出ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×4台	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×1台	代表1台の 100% (2箇所/1台)	-	-	3PCV- 3610 2	-	-	-	-	-	3PCV- 3610 2	



## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-7(7/32)

項目番号	カテゴリー	維持規格	JSME S NA1-2008	検査の対象箇所		検査方法 (工芸記載値)	検査圧力 (MPa)	大鋸盤所 第3号機 検査計画(10万年)			
				系統名	ライン名			2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第18回	2020年 第19回
C7. 30 C7. 70	換気空調系統	C-H	Aアニラス空気浄化ファン出ロライン	0. 0048	0. 0048	VT-2	-	-	-	-	-
			Bアニラス空気浄化ファン出ロライン	0. 0048	0. 0048	VT-2	-	-	-	-	-
			中央制御室空調設備出ロライン	-0. 00392	-	※1	-	-	-	-	-
			中央制御室空調設備出ロライン	0. 00392	-	※1	-	-	-	-	-
			緊急時対策所指揮所ライン	0. 005	0. 005	VT-2	-	-	-	-	-
			緊急時対策所待機所ライン	0. 005	0. 005	VT-2	-	-	-	-	-
			体積制御タンク出ロライン	0. 98	0. 11	VT-2	-	○	-	-	-
			A充てんポンプ出ロライン	20. 0	18. 0	VT-2	-	-	○	-	-
			B充てんポンプ出ロライン	20. 0	18. 0	VT-2	-	○	-	-	-
			C充てんポンプ出ロライン	20. 0	17. 36	VT-2	-	-	○	-	-
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	化学体積制御系統	C-H	B充てんポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ出ロ側)	20. 0	18. 0	VT-2	-	-	○	-	-
			B充てんポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ入ロ側)	0. 98	0. 98	VT-2	-	-	○	-	-
			ほう酸ポンプ及び充てんポンプ連絡ライン	0. 98	0. 11	VT-2	-	○	-	-	-
			Aほう酸ポンプ入ロライン	1. 4	水張り	VT-2	-	○	-	-	-
			Bほう酸ポンプ出ロライン	1. 4	水張り	VT-2	-	○	-	-	-
			Aほう酸ポンプ出ロライン	1. 4	0. 87	VT-2	-	○	-	-	-
			Bほう酸ポンプ出ロライン	1. 4	0. 87	VT-2	-	○	-	-	-

※1:技術基準第58条第2項の記載の「他の方法」により外観点検を実施

## 6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(3/4)

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-7(8/32)

項目番号	カテゴリ	系統名	維持規格 JISME S NATE-2008		検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)						備考	
			SA時最高使用圧力 (MPa) (工芸記載値)	検査の対象箇所 ライン名		2017年 第16回	2018年 第-回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第20回	2023年 第21回	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	安全注入系統	A、B高压注入ポンプハロライン	0.39	0.19	VT-2	-			-	○		-	
		A高压注入ポンプ出ロライン(1)	16.7	10.01	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	
		A高压注入ポンプ出ロライン(2)	16.7	10.01	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	RCS漏えい検査時実施
		B高压注入ポンプ出ロライン(1)	16.7	10.01	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	
		B高压注入ポンプ出ロライン(2)	16.7	10.01	VT-2	-	○	-	-	-	-	-	RCS漏えい検査時実施
		格納容器再循環サンプル出ロライン	0.43	水張り	VT-2	-			-	○	-	-	ガードパイプ内包部分は 検査不可
		蓄圧タンク及び出ロライン	4.9	4.42	VT-2	-			○	-	-	-	一部気圧検査
		燃料取替用水ピット出ロライン	0	水張り	VT-2	-			-	○	-	-	
		A余熱除去ポンプ出ロライン	4.5	2.75	VT-2	-			-	○	-	-	
		B余熱除去ポンプ出ロライン	4.5	2.75	VT-2	-			-	○	-	-	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	余熱除去系統	A余熱除去ポンプ出ロライン	4.5	3.78	VT-2	-			-	○	-	-	
		B余熱除去ポンプ出ロライン	4.5	3.78	VT-2	-			-	○	-	-	

6. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(4/4)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-7(9/32)

項目番号	カテゴリー	維持規格	JSMIE S NA1-2008	検査の対象箇所		SA時最高使用圧力 (工芸記載値) (MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10方年)				備考
				系統名	ライン名			2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第18回	2020年 第19回	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	格納容器ブレイシステム	A格納容器スプレイポンプ入ロライン	A格納容器スプレイポンプ入ロライン	0.39	0.19	VT-2	-	○	-	-	-	
			日格納容器スプレイポンプ入ロライン	0.39	0.19	VT-2	-	○	-	-	-	
			A格納容器スプレイポンプ出ロライン(1)	2.7	1.97	VT-2	-	○	-	-	-	
		A格納容器スプレイポンプ出ロライン(2)	A格納容器スプレイポンプ出ロライン(2)	2.7	1.97	VT-2	-	○	-	-	-	気圧検査
			日格納容器スプレイポンプ出ロライン(1)	2.7	1.97	VT-2	-	-	○	-	-	
			日格納容器スプレイポンプ出ロライン(2)	2.7	1.97	VT-2	-	-	○	-	-	気圧検査
		A蒸気発生器蒸気出ロライン	A蒸気発生器蒸気出ロライン	8.8	7.4	VT-2	-	-	○	-	-	
			日蒸気発生器蒸気出ロライン	8.8	7.4	VT-2	-	-	○	-	-	プラント起動時実施
			C蒸気発生器蒸気出ロライン	8.8	7.4	VT-2	-	-	○	-	-	プラント起動時実施
C7.10 C7.30 C7.70	主蒸気系統	D蒸気発生器蒸気出ロライン	D蒸気発生器蒸気出ロライン	8.8	7.4	VT-2	-	-	○	-	-	プラント起動時実施
			A蒸気発生器給水入ロライン	8.8	7.4	VT-2	-	-	○	-	-	プラント起動時実施
			B蒸気発生器給水入ロライン	8.8	7.4	VT-2	-	-	○	-	-	プラント起動時実施
		C蒸気発生器給水入ロライン	C蒸気発生器給水入ロライン	8.8	7.4	VT-2	-	-	○	-	-	プラント起動時実施
			D蒸気発生器給水入ロライン	8.8	7.4	VT-2	-	-	○	-	-	プラント起動時実施
			格納容器水素ガス試料採取系統 入口ライン	0.98	0.98	VT-2	-	-	○	-	-	○ 気圧検査
		C7.30 C7.70	格納容器水素ガス試料採取系統 出口ライン	0.98	0.98	VT-2	-	-	○	-	-	○ 気圧検査

**重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)**

1. 原子炉容器(1／2)

別紙-7(10／32)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	大飯発電所 第3号機 検査計画(10年)		
			検査方法	検査範囲	備考
B2. 111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手 下部胴とトランジショナリングとの 周溶接継手	体積	全長の 5%	
B3. 105	B-C	トランジショナリングと下部鏡板との 周溶接継手	体積	全長の 5%	
B3. 10	B-D	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手 冷却材入、出口管合と胴との溶接継手	体積	全長の 100%	
B3. 20	B-D	冷却材出口管合と胴との溶接継手 冷却材入口管合内面の丸みの部分	体積	全数の 100%	
B5. 10	B-F	冷却材出口管合内面の丸みの部分 冷却材入口管合とサーフエンドとの 溶接継手	体積及び 表面	全数の 100%	クラス1機器供用期間中検査で管理
B6. 10	B-G-1	冷却材出口管合とサーフエンドとの 溶接継手	体積及び 表面	全数の 100%	
B6. 30	B-G-1	ナット	VT-1	全数の 100%	
B6. 40	B-G-1	スタッドボルト	体積	全数の 100%	
B6. 50	B-G-1	VT-1	全数の 100%		
B7. 10	B-G-2	上蓋用ワッシャ T/Cハウジングのマークランプ用 ボルト・ナット	VT-1	全数の 25%	
G1. 10	G-P-1	原子炉容器内部	VT-3	全範囲の 7.5% 各検査時期毎	
G1. 40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	全範囲の 7.5%	

## 1. 原子炉容器(2/2)

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(111/32)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NA1-2008		天販発電所 第3号機 検査計画(10万千瓦)		備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
G1. 40	G-P-1	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%		
G1. 50	G-P-2	下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%		
B14. 10	B-O	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部) 制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (下部)	体積又は 表面	最外周 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
B15. 10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%		
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	全数の 25%		

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

2. 加圧器(1／2)

別紙-7(12／32)

維持規格 JSME S NA1-2008						大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲			
B2. 11	B-B	上部鏡板と上部胴との周繼手	体積	全長の5%			
		下部胴と下部鏡板との周繼手	体積	全長の5%			
B2. 12	B-B	上部胴の長手繼手	体積	全長の10%			
		中間胴の長手繼手	体積	全長の10%			
		下部胴の長手繼手	体積	全長の10%			
B2. 13	B-B	上部胴と中間胴との周繼手	体積	全長の5%			
		中間胴と下部胴との周繼手	体積	全長の5%			
B3. 30	B-D	安全弁用管台と容器との溶接継手					クラス1機器供用期間中検査で管理
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手	体積	全数の25%			
		スプレイ用管台と容器との溶接継手					
		サージ用管台と容器との溶接継手					
B3. 40	B-D	安全弁用管台内面の丸みの部分					
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分	体積	全数の25%			
		スプレイ用管台内面の丸みの部分					
		サージ用管台内面の丸みの部分					

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

2. 加圧器(2／2)

別紙-7(13／32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)		備考
			検査方法	検査範囲	
B5. 40	B-F	安全弁用管台とサーフェンドとの溶接継手			
		逃がし弁用管台とサーフェンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の25%	
		スプレイ用管台とサーフェンドとの溶接継手			
		サージ用管台とサーフェンドとの溶接継手			クラス1機器供用期間中検査で管理
B7. 20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	全数の25%	
B8. 20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手)	表面又は体積	全長の7.5%	
B15. 20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	
F1. 41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト含む)	VT-3	全数の25%	

## 3. 蒸気発生器(1／1)

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(14／32)

維持規格 JSME S NA1-2008					備 者
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基 全長の 25%	
B3. 60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分 冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体積	代表1基 全数の 25%	
B5. 70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの 溶接継手 冷却材出口管台とセーフエンドとの 溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全数の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
B7. 30	B-G-2	1次側マンホールボルト(入口側) 1次側マンホールボルト(出口側)	VT-1	代表1基 全数の 25%	
B8. 30	B-H	水室鏡鏡とサポートハッドとの溶接継手	表面	代表1基 全長の 7. 5%	
B15. 30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基 の25%	

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配管 (1/3)

別紙-7(15/32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法			検査範囲 備考
			体積	体積	全数の 25%	
B9. 11	B-J	配管の 同種金属 溶接継手 (呼び径100A 以上:周縫手)	1次冷却材管	体積	全数の 25%	
			加工器サーボライン	体積	全数の 25%	
			加工器逃がし弁ライン	体積	全数の 25%	
			加工器逃がし弁ライン	体積	全数の 25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン	体積	全数の 25%	
			SIS蓄圧注入ライン	体積	全数の 25%	
			SIS低温側低圧注入ライン	体積	全数の 25%	
			加圧器逃がし弁ライン	表面	全数の 25%	
B9. 21	B-J	配管の 同種金属 溶接継手 (呼び径100A 未満:周縫手)	CVCS充てんライン	表面	全数の 25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の 25%	
			SIS低温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 25%	

**重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)**

4. 配管(2/3)

別紙-7(16/32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		検査方法	検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査の対象箇所			
B9. 31	B-J	母管と管台 との溶接継手 (呼び径100A 以上)	1次冷却材管 1次冷却材管	体積	全数の 25%	
B9. 32	B-J	母管と管台 との溶接継手 (呼び径100A 未満)	余熱除去ポンプ入ロライン SIS蓄圧注入ライン	表面	全数の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
B9. 40	B-J	SIS低温側低圧注入ライン	SIS低温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 25%	
B10. 20	B-K	ソケット 溶接継手	耐圧部分への 支持部材の取 付け溶接継手	表面	全数の 7.5%	
B15. 50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時	100%	

**重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)**

4. 配管(3/3)

別紙-7(17/32)

維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所					大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査方法	検査範囲	検査方法	検査範囲	検査方法	
F1. 10	F-A	加圧器サージライン	VT-3	全数の 25%			
		加圧器逃がし弁ライン	VT-3	全数の 25%			
		CVCSホーンライン	VT-3	全数の 25%			
		支持構造物 余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	全数の 25%			クラス1機器供用期間中検査で管理
		SIS蓄圧注入ライン	VT-3	全数の 25%			
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 25%			
		SIS低温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の 25%			

5. 1次冷却材ポンプ(1／1)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(18／32)

維持規格 JSME S NA1-2008					大飯発電所 第3号機 検査計画(10万千瓦)		備 者
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲			
B6. 180		主フランジボルト	体積	代表1台の 25%			
B6. 190	B-G-1	主フランジ表面	VT-1	代表1台の 25%			
B6. 200		主フランジナット・ワッシャ	VT-1	代表1台の 25%			クラス1機器供用期間中検査で管理
B12. 20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の 100%			
B15. 60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%			
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の 25%			

**重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)**

6. 幷(1／2)

別紙-7(19／32)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NA1-2008		検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	備考
		直徑50mm 以下の 圧力保持用 ボルト 締付け部	CVCSS充てんライン	加圧器安全弁ライン	VT-1		代表1台 の25%	
B7. 70	B-G-2		余熱除去ポンプ入ロライン	VT-1	VT-1	代表1台 の25%	3PCV-420.3PCV-430 3V-RH-002A·B	
		SIS蓄圧注入ライン	VT-1	VT-1	代表1台 の25%	3V-SI-134A·B·C·D 3V-SI-136A·B·C·D		
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-1	VT-1	代表1台 の25%	3V-RH-050A·B·C·D		
		加圧器安全弁ライン	VT-3	VT-3	代表1台 の100%	3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057		
		余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	VT-3	代表1台 の100%	3PCV-420.3PCV-430 3V-RH-002A·B		
		SIS蓄圧注入ライン	VT-3	VT-3	代表1台 の100%	3V-SI-134A·B·C·D 3V-SI-136A·B·C·D		
B12. 50	B-M-2	呼び径 100Aを 超える弁箱	SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	3V-RH-050A·B·C·D		
B15. 70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	VT-2	漏えい 検査時 100%			

**重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)**

6. 幷(2./2)

別紙-7(20/32)

維持規格 JSME S NA1-2008						大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)		備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲				
F1. 4.1	F-A	支持構造物	加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台 の25%				
			加圧器逃がし弁ライン	VT-3	代表1台 の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理			
			余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	代表1台 の25%				

**重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査範囲)**

別紙-7(21／32)

NRA文書(平成26.8.6 原規技発第1408063号)				大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)			備考
機器名	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査頻度			
原子炉容器	原子炉容器底部の表面	—	—	100%/5年			クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査で管理
	計装用貫通部溶接継手	BMV	58箇所				

**重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査範囲)**

別紙-7(22/32)

NRA文書(平成26.8.6 原規技発第1408063号)			大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
—	配管	充てんライン(3B)	—	—	クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査で管理
—	—	再生熱交換器連絡管	—	—	
—	充てんライン連絡管(3B)	—	体積	25%	
—	—	充てんライン連絡管(3B)	—	—	
—	—	—	体積	25%	

## 1. 余熱除去冷却器

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(23/32)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		備考
					代表1基 全長の 7.5%	代表1基 全長の 7.5%	
C1. 10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%			
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%			
C2. 21	C-B	管側入口管台と管側胴との溶接継手 管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全数の 7.5%			クラス2機器供用期間中検査で管理
C4. 10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全数の 7.5%			

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

2. 配管(1／3)

別紙-7(24／32)

維持規格 JSME S NAI-2008						大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考		
C3. 20	C—C 支持部材取付け溶接継手	高压注入ポンプ出口ローライン	表面	全数の7.5%			
		高压注入ポンプ出口連絡ライ	表面	全数の7.5%			
		余熱除去ポンプ入口ローライン	表面	全数の7.5%			
		余熱除去冷却器出口ローライン	表面	全数の7.5%			
		SIS低温側低圧注入ローライン	表面	全数の7.5%			
		格納容器再循環サンプ	表面	全数の7.5%			
C5. 11	C—F 呼び径 100mmを超える管で公称 厚さが 9.5mmを超える溶接継 手	出口ローライン	充てんポンプ出口ローライン	体積及び表面	全数の7.5%		
		余熱除去ポンプ入口ローライン	充てんポンプ入口ローライン	体積及び表面	全数の7.5%		
		余熱除去ポンプ出口ローライン	余熱除去ポンプ出口ローライン	体積及び表面	全数の7.5%		
		余熱除去冷却器出口ローライン	余熱除去冷却器出口ローライン	体積及び表面	全数の7.5%		
		SIS低温側低圧注入ローライン	SIS低温側低圧注入ローライン	体積及び表面	全数の7.5%		
		高压注入ポンプ出口ローライン	高压注入ポンプ出口ローライン	体積及び表面	全数の7.5%		

## 2. 配管(2／3)

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(25／32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)		備考
			検査方法	検査範囲	
C5. 11	C-F	呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手	格納容器再循環サンプ出口 燃料取替用水ピット出口ライン 余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は表面 体積又は表面 体積又は表面	全数の7.5% 全数の7.5% 全数の7.5%
C5. 12	C-F		燃料取替用水ピット出口ライン	体積又は表面	全数の7.5%
C5. 21	C-F	呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さが5mmを超える溶接継手	高压注入ポンプ出口ライン 高压注入ポンプ出口連絡ライン SIS低温側高压補助注入ライン	表面 表面 表面	全数の7.5% 全数の7.5% 全数の7.5%
C5. 30	C-F	ソケット溶接継手	SIS低温側高压補助注入ライン	表面	全数の7.5%
C5. 41	C-F	呼び径50Aを超える母管と管台及び母管と枝管との溶接継手	高压注入ポンプ出口ライン	表面	全数の7.5%

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

### 2. 配管(3／3)

別紙-7(26／32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)			備考
			検査方法	検査範囲		
F1. 21	F-A	余熱除去ポンプ出ロライン	VT-3	全数の 7.5%		
		余熱除去ポンプ出ロライン	VT-3	全数の 7.5%		
		余熱除去冷却器出入ロライン	VT-3	全数の 7.5%		
		余熱除去冷却器出ロライン	VT-3	全数の 7.5%		
		支持構造物 SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 7.5%		
		高压注入ポンプ出ロライン	VT-3	全数の 7.5%		
		高压注入ポンプ出ロ連絡ライン	VT-3	全数の 7.5%		
		SIS低温側高压補助注入ライン	VT-3	全数の 7.5%		
		格納容器再循環サンプ出ロライ ン	VT-3	全数の 7.5%		
			燃料取替用水ヒット出ロライン	VT-3	全数の 7.5%	

### 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

3. 充てんポンプ

別紙-7(27/32)

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)	
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
C3. 30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接 継手	表面	全数の 7.5%	
C4. 30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台 の7.5%	
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	

4. 充てんポンプ(往復動式)

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)	
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	全数の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理

5. 余熱除去ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)	
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	

## 6. クラス2弁

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

別紙-7(28/32)

維持規格 JSME S NAI-2008				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F1. 43	F-A	支持構造物 余熱除去冷却器出入口ライン 格納容器再循環サンプル出口ライ ン	VT-3 VT-3 VT-3	代表1台 の7.5% 代表1台 の7.5% 代表1台 の7.5%	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)	3HCV-603 3HCV-613 3V-RH-043A・B 3V-SI-093A・B

**重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(原子炉格納容器供用期間中検査範囲)**

1. 原子炉格納容器

別紙-7(29/32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考						
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	
E8. 10 E-G	圧力保持用ボルト締付け部	機器搬入口(PEN #540)	VT-4	25%	1箇所	VT-4	25%		第16回	第一回	第17回	第18回	第一回	第20回	第一回	第21回	第一回	第22回	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙—7 (30/32)

1.原子炉補機冷却水冷却器

維持規格 JSME S NA1-2008							大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)											
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第16回	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第一回	2026年 第22回	備考
C1.10	C-A	胴側胴と胴側フランジとの周縫手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2箇所／1基 (A)	UT	代表1基の7.5% (2箇所)								A			
C1.10	C-A	胴側胴の周縫手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2箇所／1基 (A)	UT	代表1基の7.5% (2箇所)								A	7.5%		
C2.21	C-B	胴側入口管台と胴側胴との溶接継手 胴側出口管台と胴側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管合数の7.5%	1箇所／1基 (A) 1箇所／1基 (A)	UT及びPT	代表1基の50% (1箇所)								A	入口側		
C2.22	C-B	胴側入口管台内面の丸みの部分 胴側出口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管合数の7.5%	1箇所／1基 (A) 1箇所／1基 (A)	UT	代表1基の50% (1箇所)								A	入口側		
C3.10	C-C	胴と当板との溶接継手	表面	代表1基の溶接継手数の7.5%	3箇所／1基 (A)	PT	代表1基の100% (3箇所)								A	100%		
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所／1基 (A)	VT-3	代表1基の100% (3箇所)								A	100%		

2.原子炉補機冷却水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008							大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)											
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第16回	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第一回	2026年 第22回	備考
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所／1台 (A,B)	VT-3	代表1台の100% (4箇所)								A			

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙—7 (31/32)

## 3.重大事故等クラス2機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		SA時最高使用圧力(MPa) (工認記載値)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)						備考		
		検査の対象箇所 系統名	ライン名			2017年 第16回	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第一回
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	原子炉補機 冷却海水系統	A 海水ポンプライン B 海水ポンプライン C 海水ポンプライン A 海水ヘッダ出口ライン	1. 2 0. 098 1. 2 0. 098 1. 2 0. 098 1. 2 0. 098	VT-2 VT-2 VT-2 VT-2 VT-2 VT-2 VT-2 VT-2							O		
G7.30 G7.50 G7.70	C-H	補助給水系統	A、B電動補助給水ポンプ入 口ライン タービン動補助給水ポンプ入 口ライン A 電動補助給水ポンプ出ロラ イン B 電動補助給水ポンプ出ロラ イン タービン動補助給水ポンプ出 ロライン	0 0 0 0 9. 4 9. 4 12. 7 3. 2	水張り (静水頭圧) 水張り (静水頭圧) VT-2 VT-2 VT-2 VT-2							O		
C7.10	C-H	非常用ディーゼル発電機 系統	A-非常用ディーゼル発電機 起動空気ライン B-非常用ディーゼル発電 機起動空気ライン	2. 501 2. 501	VT-2 VT-2							O		O

**重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画**

1. プレストレスコンクリート格納容器

別紙-7(32/32)

検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	頻度	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)								
				2017年 第16回	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第一回
コンクリート部	目視検査	PCCV表面選定部位 検査テープ小判定着部周辺	PCCV-ISIの 頻度による ●※				○				○	
ライナブレート部	目視検査	ライナブレート表面選定部位	PCCV-ISIの 頻度による ●※				○			○		
緊張材定着部	目視検査	検査テープの緊張材定着部表面	PCCV-ISIの 頻度による ●※				○			○		
テンドン	緊張力確認検査	フープテンドン 4本 逆Uテンドン 3本	PCCV-ISIの 頻度による ●※				○			○		
防錆材	防錆材検査	検査テンドンの端部から採取	PCCV-ISIの 頻度による ●※				○			○		

※平成27年度実施のプレストレスコンクリート格納容器供用期間中検査自主検査の記録確認

## 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(1/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 準拠 検査の対象箇所	S/A時最高使用圧力 (工芸記載値)	検査方法 ※	大飯発電所 第3号機			検査計画(10カ年)			備考
					2017年 第16回	2018年 第-回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第-回	
C7.10	C-H	電源車内燃機関、冷却水ポンプ (電源車)	—	VT-2					O		
C7.30		電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用) 内燃機関、冷却水ポンプ (電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	—	VT-2					O		
C7.50		電源車(緊急時対策所用) 内燃機関、冷却水ポンプ (電源車(緊急時対策所用)(3, 4号機共用))	—	VT-2					O		
		燃料タンク (電源車)	大気圧	VT-2					O		O
		燃料タンク (電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	大気圧	VT-2					O		
		燃料タンク (電源車(緊急時対策所用)(3, 4号機共用))	大気圧	VT-2					O		O

※:技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要があり(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(2/7)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所 設備名	SA特最高使用圧力 (工芸記載値)	検査方法※	大飯発電所 第3号機		検査計画(10万年)		備考			
					2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第18回	2020年 第19回	2021年 第20回	2024年 第21回	2025年 第2回	2026年 第22回
		可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)	0.90以上	VT-2			○					
		可搬式空気圧縮機用空気だめ	1.05	VT-2			○					
		増圧装置空気だめ	1.0	VT-2			○					
		窒素ボンベ(代替制御用空気供給用)	14.7	VT-2						○		
		窒素ボンベ(代替制御用空気供給用)～ホース先端	0.98	VT-2						○		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	代替制御用空気ライン窒素供給用ホース 20m、16m、10mホース	17.16	VT-2						○		
		窒素ラインマニホールド連結用0.68mホース	0.98	VT-2			○			○		
		可搬式空気圧縮機ラインマニホールド接続用2mホース	17.16	VT-2						○		
		可搬式空気圧縮機ラインマニホールド接続用1.5mホース	0.98	VT-2			○					
		可搬式空気圧縮機ラインマニホールド接続用5mホース	0.98	VT-2								
		代替制御用空気供給ライン安全弁(3V-1A-765A、B)	吹出圧力 0.98	VT-2						○		

※:技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要があり(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

## 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(3/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 準拠 検査の対象箇所 設備名	SA時最高使用圧力 (工芸記載値) ※	検査方法				大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)				備考
				2017年 第16回	2018年 第-回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第-回	2023年 第20回	2024年 第21回	
C7. 30	C-H	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	0. 44	VT-2							O	
		可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置接続用フレキシブルホース	0. 98	VT-2							O	
		可搬型格納容器水素ガス濃度計入口側接続用フレキシブルホース	0. 98	VT-2							O	
		可搬型格納容器水素ガス濃度計出口側接続用フレキシブルホース	0. 98	VT-2							O	
		可搬式代替低圧注水ポンプ屋内送水用10mホース(2本+予備1本)	1. 55	VT-2							O	
		緊急時対策所可搬型空気浄化ファン(3・4号機共用)	-	VT-2							O	
		緊急時対策所可搬型空気浄化フィルタユニット(3・4号機共用)	-	VT-2							O	
		緊急時対策所空気浄化ライン給気用フレキシブルダクト(指揮所)(3・4号機共用)	0. 005	VT-2							O	
		緊急時対策所空気浄化ライン給気用フレキシブルダクト(待機場所)(3・4号機共用)	0. 005	VT-2							O	
		格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	0. 33	VT-2							O	
C7. 10 C7. 30 C7. 50	C-H	窒素ボンベ(原子炉補機冷却水サーチャンク加圧用)	14. 7	VT-2							O	
		日高圧注入ポンプ及び電動機冷却海水放出用ホース	1. 0	VT-2							O	
		窒素ボンベ(原子炉補機冷却水サーチャンク加圧用)～ホース先端フレキシブルホース	0. 34／17. 16	VT-2							O	
		窒素ボンベ(原子炉補機冷却水サーチャンク加圧用)窒素供給用フレキシブルホース	0. 34	VT-2							O	
		格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ吸水用フレキシブルホース	0. 33	VT-2							O	
		格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ送水用フレキシブルホース	0. 33	VT-2							O	
		格納容器水素ガス試料冷却器冷却水外排水用フレキシブルホース	0	VT-2							O	
		原子炉補機冷却水サーチャンク非常用窒素供給ライン逃がし弁	吹出圧力 0. 34	VT-2							O	
		原子炉補機冷却水サーチャンク加圧ライン圧力	測定範囲 0～1. 6	VT-2							O	

※:技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要があり(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

## 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(4/7)

項目番号	カテゴリー	維持規格	JSME S NA1-2008 準拠 検査の対象箇所	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※ (工認記載値)	第3号機			大飯発電所 第3号機			検査計画(10カ年)			備考
						2017年 第16回	2018年 第-回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第20回	2023年 第21回	2024年 第-回	2025年 第-回	
C7. 30 C7. 50	C-H	送水車(3台)		1. 6	VT-2				O						
		大量ポンプ(放水砲用)(3・4号機共用)(3台)		1. 2	VT-2							O			
		送水車吸水用ホース(28本)		0. 4	VT-2				O						
		送水車送水用ホース(149本)		1. 6	VT-2				O						
		大量ポンプ入口ライン放水砲用ホース(3・4号機共用)(5本)		0. 25	VT-2							O			
		大量ポンプ出口ライン放水砲用ホース(3・4号機共用)(29本)		1. 2	VT-2							O			
C7. 10 C7. 50	C-H	放水砲(3・4号機共用)(3台)		1. 2	VT-2							O			
		送水車燃料タンク(3基)		大気圧	VT-2				O						
		大量ポンプ燃料タンク(3・4号機共用)(6基)		大気圧	VT-2							O			
		大量ポンプ(放水砲用)燃料タンク(3・4号機共用)(6基)		大気圧	VT-2							O			
		軽油ドラム缶(3・4号機共用)(106個)		大気圧	VT-2							O			

※:技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要があり(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

## 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(5/7)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NA1-2008 準拠 検査の対象箇所	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※	第3号機 検査計画(10カ年)					備考
					2017年 第16回	2018年 第-回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	
C7.10 C7.30 C7.50	C-H	可搬式代替低圧注水ポンプ(3台)	1. 55	VT-2						O
		仮設組立式水槽(3台)	大気圧	VT-2					O	
		可搬式代替低圧注水ポンプ吸水用ホース(3本)	大気圧	VT-2					O	
		可搬式代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧注水ポンプ出口接続口(3台)	1. 55	VT-2					O	
		可搬式代替低圧注水ポンプ送水用ホース(7本)	1. 55	VT-2					O	
		タンクローリー(3・4号機共用)(3台)	0. 24	VT-2					O	
		タンクローリー給油ライン接続用ホース(燃料油貯蔵タンク用)(3・4号機共用)(3本)	0. 39	VT-2					O	
		タンクローリー給油ライン接続用ホース(重油タンク用及び燃料油貯蔵タンク用)(3・4号機共用)(6本)	0. 39	VT-2					O	
		タンクローリー給油ライン接続用ホース(空冷式非常用発電装置用)(3・4号機共用)(5本)	0. 39	VT-2					O	
		タンクローリー給油ライン接続用ホース(3・4号機共用)(3本)	1. 0	VT-2					O	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	大量ポンプ(3・4号機共用)(3台)	1. 2	VT-2					O	
		大量ポンプ入口ライン送水用ホース(3・4号機共用)(9本)	0. 25	VT-2					O	
		大量ポンプ出口ライン送水用ホース(3・4号機共用)(18本)	1. 2	VT-2					O	
		大量ポンプ出口ローラン送水用送水管(3台)	1. 2	VT-2					O	

※:技術基準第58条第7項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要があり(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

## 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(6/7)

項目番号	カテゴリー	維持規格 JISME S NA1-2008 準拠		SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考		
		検査の対象箇所				2017年 第16回	2018年 第-回			
		設備名	設備名			第19回	第20回			
C7.30	C-H	大飯3号機スプレイヘッダーA		1.6	VT-2			O		
		大飯3号機スプレイヘッダーB		1.6	VT-2			O		
		大飯3号機スプレイヘッダーC		1.6	VT-2			O		
		大飯3号機スプレイヘッダーD		1.6	VT-2			O		

※:技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要があり(今後の成立性確認ながらびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

## 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(7/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格	JSME S NA1-2008 検査の対象箇所 設置名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工芸記載値)	検査方法※	大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)						
						2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第18回	2020年 第19回	2021年 第20回	2022年 第21回	2023年 第22回
		空気供給装置(3・4号機共用)	(空気ボンベ:600本予備1本)	14. 7	VT-2						O	
		空気供給装置～マニホールド端(ボンベ側)(3・4号機共用) (150台+予備1台)		14. 7	VT-2						O	
		空気供給ライン(高压用ホース(3・4号機共用) (1本))	(150本+予備 マニホールド端(高压ホース側)～マニホールド端(低压ホース側))	14. 7	VT-2						O	
C7. 10 C7. 30 C7. 50	C-H	マニホールド端(高压ホース側)(24台+予備1台) (3・4号機共用)		14. 7	VT-2						O	
		マニホールド(5口、4口)、2口)(3・4号機共用)	(11台+予備3台)	0. 78	VT-2						O	
		空気供給装置ライン低圧用ホース(3・4号機共用) 予備5本)		0. 78	VT-2						O	
		流量調整ユニット(3・4号機共用)	(4台+予備1台)	0. 78	VT-2						O	

※:技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要があり(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜ヒの統一が必要)

## 参考資料－2

### 保全に関する実施体制

## 保全に関する実施体制

### 1. 大飯発電所の保守管理体制

大飯発電所第3号機の第17保全サイクルにおける保守管理体制を下図に示す。

